

仙台市文化財調査報告書第278集

上野遺跡

—平成15年度確認調査・第5次発掘調査報告書—

2004

仙台市教育委員会

仙台市文化財調査報告書第278集

上野遺跡

—平成15年度確認調査・第5次発掘調査報告書—

2004

仙台市教育委員会

序 文

仙台市の文化財保護行政に対しまして、日ごろから多大な御協力を賜り、まことに感謝にたえません。

市内南西部の山田・富田地区周辺は、市内でも遺跡が数多く分布する地域であり、そのなかでも上野遺跡は、「縄文の森」として整備事業が行われる山田上ノ台遺跡とともに、市内の代表的な縄文時代の集落跡のひとつです。

今回の発掘調査は、これまで竪穴住居跡が多く発見されている居住地域の東側にあたり、フラスコ状の土坑が数多く発見され、この時代の集落構造を考える上で貴重な成果が得られました。

先人たちの残した貴重な文化遺産を保護し、保存活用を図りつつ次の世代に継承していくことは、現代に生きる私たちの大きな責務であると考えております。また、文化財の保護につきましては、地域の皆様の深い御理解と御協力が必要となります。

その意味でも、今回の調査成果が地域の歴史を解き明かしていくための貴重な資料となり、多くの方々に活用されれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査ならびに本報告書の刊行に際しまして、御協力くださいました皆様に深く感謝申し上げる次第です。

平成16年3月

仙台市教育委員会
教育長 阿部芳吉

例 言

1. 本書は、宮城県仙台市太白区富田字上野西・上野中地内に所在する「上野遺跡」の平成15年度確認調査・第5次発掘調査報告書である。確認調査は当初第4次発掘調査として、確認調査及び本調査を行ったものである。平成15年度の調査が終了した時点でこれまでの本遺跡の調査履歴を検討して、調査次数を確認し、本調査には調査次数を付し、確認調査には調査次数を付さないこととした。そのために、平成15年度の第4次調査については確認調査部分を確認調査とし、本調査区は第5次調査1区、第5次調査区は第5次調査2区と改めた。
2. 本遺跡の調査は、都市計画街路富沢山田線建設に伴う事前調査として行われたものである。
3. 調査期間及び、調査面積は以下の通りである。なお、第5次調査の面積は、確認調査区120㎡(トレンチ4箇所分)を含む数値となっている。
 確認調査 平成15年10月27日～平成15年12月19日 600㎡
 第5次調査 平成15年11月26日～平成16年1月20日 410㎡
4. 本書の作成・編集は、仙台市教育委員会文化財課 工藤信一郎、株式会社玉川文化財研究所 戸田哲也が行った。
5. 本書の執筆は、工藤信一郎の責任と指導のもとに、株式会社玉川文化財研究所 中山 豊が行った。
6. 本書に係わる一切の資料は、仙台市教育委員会が保管している。

〔上野遺跡発掘調査一覧〕

調査次数	調査年度	調査原因	文 献
第1次	1976 (昭和51) 年	青少年文化財講座	上野縄文時代遺跡発掘調査市民報告会資料 (昭和51年12月)
第2次	1981 (昭和56) 年	個人住宅建築 (浄化槽)	市教委第37集 仙台平野の遺跡群 I 「上野遺跡」 (昭和57年3月)
第3次	1983 (昭和58) 年 1985 (昭和60) 年	市道十文字線整備	市教委第88集 上野遺跡—市道十文字線関係調査略報 (昭和61年3月)
第4次	1987 (昭和62) 年	電力鉄塔改築	市教委第127集 上野遺跡—電力鉄塔関係発掘調査報告書 (平成元年3月)
第5次	2003 (平成15) 年	都計街路富沢山田線建設	市教委第278集 上野遺跡—平成15年度確認調査・ 第5次発掘調査報告書 (平成16年3月)

凡 例

1. 遺構の記号は竪穴住居跡をS I、掘立柱建物跡をS B、土坑をS K、その他の遺構 (埋設土器・配石・遺構プラン) をS Xとしている。
2. 土層説明の土色は農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所 色票監修『新版 標準土色帖』1994年版を使用した。

目 次

序 文
例 言
凡 例

第Ⅰ章	調査の概要	1
第1節	調査要項	1
第2節	調査に至る経緯	1
第3節	遺跡の概観	2
第4節	調査の経過	2
第5節	基本層序	7
第Ⅱ章	確認調査	8
第Ⅲ章	第5次調査	59
第1節	掘立柱建物跡	59
第2節	土 坑	61
第3節	包含層出土遺物	81
第Ⅳ章	ま と め	84
第1節	確認調査	84
第2節	第5次調査	85
報告書抄録		巻末

挿 図 目 次

第1図 遺跡の位置と周辺遺跡	3
第2図 過去の調査地点と今年度調査地点	3
第3図 確認調査区(トレンチ)及び第5次調査区 配置図	5
第4図 1・2トレンチ平面図・土層断面図	15
第5図 3・4・5トレンチ平面図・土層断面図	16
第6図 6・7トレンチ平面図・土層断面図	17
第7図 10・11トレンチ平面図・土層断面図	18
第8図 12・13トレンチ平面図・土層断面図	19
第9図 14・15トレンチ平面図・土層断面図	20
第10図 16・17・18トレンチ平面図・土層断面図	21
第11図 19・20・21・22トレンチ平面図	22
第12図 1トレンチ包含層、2トレンチ1号土坑 (SK1)・包含層出土遺物	23
第13図 4トレンチ包含層、5トレンチ包含層 出土遺物(1)	24
第14図 5トレンチ包含層出土遺物(2)	25
第15図 5トレンチ包含層出土遺物(3)	26
第16図 6トレンチ1号住居跡(SI1)・包含層 出土遺物(1)	27
第17図 6トレンチ包含層出土遺物(2)	28
第18図 6トレンチ包含層出土遺物(3)	29
第19図 6トレンチ包含層出土遺物(4)	30
第20図 7トレンチ1号住居跡(SI1)出土遺物	31
第21図 7トレンチ2号住居跡(SI2)出土遺物	32
第22図 7トレンチ1号埋設土器(SX1)・包含層 出土遺物(1)	33
第23図 7トレンチ包含層出土遺物(2)	34
第24図 7トレンチ包含層出土遺物(3)	35
第25図 10トレンチ1号住居跡(SI1) 出土遺物(1)	36
第26図 10トレンチ1号住居跡(SI1) 出土遺物(2)	37
第27図 10トレンチ1号住居跡(SI1)(3)・包含層 出土遺物	38
第28図 11トレンチ包含層、12トレンチ包含層 出土遺物(1)	39
第29図 12トレンチ包含層出土遺物(2)	40
第30図 13トレンチ1号溝状プラン(SX1) 出土遺物(1)	41
第31図 13トレンチ1号溝状プラン(SX1) 出土遺物(2)	42
第32図 13トレンチ1号溝状プラン(SX1) 出土遺物(3)	43
第33図 13トレンチ1号溝状プラン(SX1) 出土遺物(4)	44
第34図 13トレンチ包含層出土遺物(1)	45
第35図 13トレンチ包含層出土遺物(2)	46
第36図 13トレンチ包含層出土遺物(3)	47
第37図 15・17・18トレンチ出土遺物	48
第38図 1号掘立柱建物跡(SB1)平面図・断面図	59
第39図 1号掘立柱建物跡(SB1)出土遺物	59
第40図 第5次調査区遺構配置図	60
第41図 1・2・5・10号土坑(SK1・2・5・10) 平面図・土層断面図	66
第42図 11～15号土坑(SK11～15) 平面図・土層断面図	67
第43図 16・17・19・20・27～29号土坑(SK16・17 ・19・20・27～29)平面図・土層断面図	68
第44図 18・21・22・33号土坑(SK18・21・22・33) 平面図・土層断面図	69
第45図 23・25・26・30～32号土坑(SK23・25・26 ・30～32)平面図・土層断面図	70
第46図 34・35号土坑(SK34・35) 平面図・土層断面図	71
第47図 1・5・10～12・16・18号土坑(SK1・5・ 10～12・16・18)出土遺物	75
第48図 21号土坑(SK21)出土遺物(2)	76
第49図 21号土坑(SK21)出土遺物(1)	77
第50図 25号土坑(SK25)出土遺物	79
第51図 30・31号土坑(SK30・31)出土遺物	80
第52図 包含層出土遺物	81

表 目 次

<p>第1表 上野遺跡確認調査区における確認遺構 ・プラン一覧表 8</p> <p>第2表 1トレンチ包含層出土遺物観察表 49</p> <p>第3表 2トレンチ1号土坑 (SK1) 出土遺物観察表 49</p> <p>第4表 2トレンチ包含層出土遺物観察表 49</p> <p>第5表 4トレンチ包含層出土遺物観察表 49</p> <p>第6表 5トレンチ包含層出土遺物観察表 49</p> <p>第7表 6トレンチ1号住居跡 (S11) 出土遺物観察表 50</p> <p>第8表 6トレンチ包含層出土遺物観察表 (石器については各遺構埋土出土遺物を含む) 50</p> <p>第9表 7トレンチ1号住居跡 (S11) 出土遺物観察表 52</p> <p>第10表 7トレンチ2号住居跡 (S12) 出土遺物観察表 52</p> <p>第11表 7トレンチ1号埋設土器 (SX1) 出土遺物観察表 52</p> <p>第12表 7トレンチ包含層出土遺物観察表 53</p> <p>第13表 10トレンチ1号住居跡 (S11) 出土遺物観察表 54</p> <p>第14表 10トレンチ包含層出土遺物観察表 55</p> <p>第15表 11トレンチ包含層出土遺物観察表 55</p> <p>第16表 12トレンチ包含層出土遺物観察表 55</p> <p>第17表 13トレンチ1号溝状プラン (SX1) 出土遺物観察表 56</p> <p>第18表 13トレンチ包含層出土遺物観察表 57</p> <p>第19表 15トレンチ包含層出土遺物観察表 58</p>	<p>第20表 17トレンチ包含層出土遺物観察表 58</p> <p>第21表 18トレンチ包含層出土石器 58</p> <p>第22表 1号独立柱建物跡 (SB1) ピット4出土遺物観察表 82</p> <p>第23表 1号土坑 (SK1) 出土遺物観察表 82</p> <p>第24表 5号土坑 (SK5) 出土遺物観察表 82</p> <p>第25表 10号土坑 (SK10) 出土遺物観察表 82</p> <p>第26表 11号土坑 (SK11) 出土遺物観察表 82</p> <p>第27表 12号土坑 (SK12) 出土遺物観察表 82</p> <p>第28表 16号土坑 (SK16) 出土遺物観察表 82</p> <p>第29表 18号土坑 (SK18) 出土遺物観察表 82</p> <p>第30表 21号土坑 (SK21) 出土遺物観察表 82</p> <p>第31表 25号土坑 (SK25) 出土遺物観察表 83</p> <p>第32表 30号土坑 (SK30) 出土遺物観察表 83</p> <p>第33表 31号土坑 (SK31) 出土遺物観察表 83</p> <p>第34表 包含層出土遺物観察表 83</p>
--	--

図 版 目 次

<p>図版1 遺跡近景 (1トレンチから東を望む) 遺跡近景 (6トレンチから西を望む) 遺跡近景 (15トレンチ周辺から東を望む)</p> <p>図版2 1トレンチ全景 (北から) 2トレンチ全景 (南から) 2トレンチ1号土坑 (SK1) (北西から) 3トレンチ全景 (北から) 4トレンチ全景 (南から) 5トレンチ全景 (北から)</p>	<p>5トレンチ縄文土器出土状態 (西から) 5トレンチ須恵器及び土師器坏出土状態 (西から)</p> <p>図版3 6トレンチ全景 (南から) 6トレンチ1・2号埋設土器 (SX1・2) 及び 1号配石状遺構 (SX3) 検出状況 (北東から) 6トレンチ1・2号埋設土器 (SX1・2) 検出 状況 (南東から) 6トレンチ1号住居跡 (S11) 複式扉上面検出 状況 (南東から)</p>
--	---

- 7トレンチ全景 (南東から)
- 7トレンチ1号住居跡 (S I 1) 複式炉検出状態 (南東から)
- 7トレンチ1号住居跡 (S I 1) 複式炉検出状態 (南から)
- 7トレンチ1・2号埋設土器 (S X 1・2) 及び周辺遺物検出状態 (北西から)
- 図版 4 7トレンチ2号住居跡 (S I 2) 炉跡検出状態 (南西から)
- 7トレンチ2号住居跡 (S I 2) 石器出土状態 (北から)
- 10トレンチ全景 (南から)
- 10トレンチ1号住居跡 (S I 1) 土層断面 (北東から)
- 10トレンチ1号住居跡 (S I 1) 縄文土器・石器出土状態 (東から)
- 10トレンチ土師器杯出土状態 (北東から)
- 11トレンチ全景 (南東から)
- 12トレンチ全景 (南西から)
- 図版 5 13トレンチ全景 (北から)
- 13トレンチ1号溝状プラン (S X 1) 南側遺物出土状態 (北から)
- 14トレンチ全景 (南から)
- 14トレンチ土坑状プラン検出状態 (西から)
- 15トレンチ全景 (南から)
- 16トレンチ全景 (南から)
- 17トレンチ全景 (北から)
- 18トレンチ全景 (南から)
- 図版 6 第5次調査区全景 (西から)
- 第5次調査区北側遺構集中部 (西から)
- 図版 7 1号土坑 (S K 1) 全景 (西から)
- 1号土坑 (S K 1) 土層断面 (東から)
- 2号土坑 (S K 2) 全景 (北から)
- 2号土坑 (S K 2) 土層断面 (南から)
- 5号土坑 (S K 5) 全景 (北西から)
- 5号土坑 (S K 5) 土層断面 (北西から)
- 10号土坑 (S K 10) 全景 (南から)
- 10号土坑 (S K 10) 土層断面 (北から)
- 図版 8 11号土坑 (S K 11) 全景 (南西から)
- 11号土坑 (S K 11) 土層断面 (南西から)
- 12・13号土坑 (S K 12・13) 全景 (南西から)
- 12号土坑 (S K 12) 大形把手出土状態 (南西から)
- 14~16号土坑 (S K 14~16) 全景 (北東から)
- 14号土坑 (S K 14) 土層断面 (南東から)
- 15号土坑 (S K 15) 土層断面 (南東から)
- 16号土坑 (S K 16) 土層断面 (東から)
- 図版 9 16~18・27~29・33号土坑 (S K 16~18・27~29・33) 全景 (南東から)
- 17・27号土坑 (S K 17・27) 土層断面 (南から)
- 18号土坑 (S K 18) 全景 (東から)
- 18・33号土坑 (S K 18・33) 土層断面 (南から)
- 19・20号土坑 (S K 19・20) 土層断面 (北東から)
- 21号土坑 (S K 21) 全景及び遺物出土状態 (北東から)
- 21号土坑 (S K 21) 土器・石器出土状態 (東から)
- 21号土坑 (S K 21) 土層断面 (南東から)
- 図版 10 22号土坑 (S K 22) 全景 (北東から)
- 22号土坑 (S K 22) 土層断面 (北東から)
- 23号土坑 (S K 23) 全景 (南東から)
- 23号土坑 (S K 23) 土層断面 (南から)
- 25・26号土坑 (S K 25・26) 全景及び遺物出土状態 (北東から)
- 25号土坑 (S K 25) 土器・石器出土状態 (西から)
- 25・26号土坑 (S K 25・26) 土層断面 (北西から)
- 29号土坑 (S K 29) 全景 (南西から)
- 図版 11 29号土坑 (S K 29) 土層断面 (南から)
- 30号土坑 (S K 30) 全景 (南東から)
- 30号土坑 (S K 30) 土層断面 (南東から)
- 31号土坑 (S K 31) 全景及び遺物出土状態 (南東から)
- 31号土坑 (S K 31) 土器出土状態 (南から)
- 31号土坑 (S K 31) 土層断面 (南東から)
- 32号土坑 (S K 32) 全景 (北西から)
- 32号土坑 (S K 32) 土層断面 (北西から)
- 図版 12 33号土坑 (S K 33) 北側全景 (南東から)
- 33号土坑 (S K 33) 土層断面 (南から)
- 34号土坑 (S K 34) 全景 (北西から)
- 34号土坑 (S K 34) 土層断面 (北から)
- 35号土坑 (S K 35) 全景 (西から)
- 1号掘立柱建物跡 (S B 1) 全景 (北東から)
- 第5次調査1区南東壁土層断面 (西から)
- 第5次調査風景 (南西から)
- 図版 13 2トレンチ1号土坑 (S K 1) 出土土器
- 2トレンチ包含層出土土器
- 図版 14 5トレンチ包含層出土土器
- 図版 15 6トレンチ1号住居跡 (S I 1) 出土土器
- 6トレンチ包含層出土土器
- 図版 16 7トレンチ1号住居跡 (S I 1) 出土土器

- 7トレンチ2号住居跡 (S I 2) 出土土器
 1・5・10・12・16・18号1坑 (SK1・5・10・12・16・18) 出土土器
- 図版17 7トレンチ1号埋設土器 (SX1) 出土土器
 7トレンチ包含層出土土器
- 図版18 7トレンチ包含層出土土製品
 10トレンチ1号住居跡 (S I 1) 出土土器 (1)
- 図版19 10トレンチ1号住居跡 (S I 1) 出土土器 (2)
- 図版20 11トレンチ包含層出土土器・土製品
 12トレンチ包含層出土土器 (1)
- 図版21 12トレンチ包含層出土土器 (2)
 13トレンチ1号溝状プラン (SX1) 出土土器 (1)
- 図版22 13トレンチ1号溝状プラン (SX1) 出土土器 (2)
- 図版23 13トレンチ1号溝状プラン (SX1) 出土土器 (3)
- 図版24 13トレンチ1号溝状プラン (SX1) 出土土器 (4)
 13トレンチ包含層出土土器 (1)
- 図版25 13トレンチ包含層出土土器 (2)
- 図版26 15トレンチ包含層出土土器
 17トレンチ包含層出土土器
 1号独立柱建物跡 (SB1) 出土土器
- 図版27 21号土坑 (SK21) 出土土器
- 図版28 25号土坑 (SK25) 出土土器
 30号土坑 (SK30) 出土土器
- 図版29 31号土坑 (SK31) 出土土器
 包含層出土土器
- 図版30 1トレンチ包含層出土土器
 4トレンチ包含層出土土器
 6トレンチ包含層出土土器
- 図版31 5トレンチ包含層出土土器
- 図版32 7トレンチ1号住居跡 (S I 1) 出土土器
 7トレンチ2号住居跡 (S I 2) 出土土器
 7トレンチ包含層出土土器
- 図版33 10トレンチ1号住居跡 (S I 1) 出土土器
 18トレンチ包含層出土土器
 13トレンチ1号溝状プラン (SX1) 出土土器
- 図版34 13トレンチ包含層出土土器
 5号土坑 (SK5) 出土土器
 21号土坑 (SK21) 出土土器
- 図版35 25号土坑 (SK25) 出土土器
 包含層出土土器

第I章 調査の概要

第1節 調査要項

1) 確認調査

遺跡名	上野遺跡（宮城県遺跡番号01002 仙台市文化財登録番号C-108）		
所在地	宮城県仙台市太白区富田字上野西・上野中地内		
調査主体	仙台市教育委員会（生涯学習部文化財課）		
調査担当	調査係	主査	佐藤甲二
	調査係	主事	工藤信一郎
	調査員		中山 豊（株式会社玉川文化財研究所）
	調査補助員		鈴木啓介（株式会社玉川文化財研究所）
調査期間	平成15年10月27日～同年12月19日		
調査面積	確認調査		600㎡

2) 第5次調査

遺跡名	上野遺跡（宮城県遺跡番号01002 仙台市文化財登録番号C-108）		
所在地	宮城県仙台市太白区富田字上野中地内		
調査主体	仙台市教育委員会（生涯学習部文化財課）		
調査担当	調査係	主査	佐藤甲二
	調査係	主事	工藤信一郎
	主任調査員		小林義典（株式会社玉川文化財研究所）
	調査員		中山 豊（株式会社玉川文化財研究所）
	調査補助員		鈴木啓介（株式会社玉川文化財研究所、平成15年12月8日～同年12月26日）
	調査補助員		前川昭彦（株式会社玉川文化財研究所、平成16年1月6日～同年1月19日）
調査期間	平成15年11月26日～平成16年1月20日		
調査面積	410㎡（トレンチ4ヵ所分〔120㎡〕重複）		

第2節 調査に至る経緯

今回の発掘調査は、宮城県仙台市太白区富田字上野西・上野中地内に計画された都市計画街路富沢山田線建設に伴う事前調査として実施されたものである。仙台市教育委員会と仙台市太白区建設部建設課の協議により、平成14～17年度に確認調査及び本調査を実施することとなった。

初年度の平成14年度は、遺跡範囲の西端域にあたる約1,350㎡の建設予定地内を対象とした確認調査が仙台市教育委員会によって行われている。遺構は発見されず、わずかな量の縄文土器破片が出土したのみであった。

平成15年度の調査は、仙台市教育委員会の指導により、株式会社玉川文化財研究所（所長 戸田哲也）が行った。

調査は確認調査と第5次調査に分けられ、確認調査は平成14年度確認調査区の東側全域にわたる計画街路内の約7,000㎡を対象として実施した。第5次調査では、確認調査の結果明らかとなった遺構分布範囲の東端部410㎡を対

象とした本調査を実施した。

確認調査	平成15年10月27日～平成15年12月19日	600㎡
第5次調査	平成15年11月26日～平成16年1月20日	410㎡（重複120㎡）

調査終了後は、年度末の報告書刊行に向けて図面・遺物整理を開始した。

第3節 遺跡の概観

上野遺跡は、宮城県仙台市太白区富田字上野西・上野中地内に所在し、JR東北本線仙台駅の南西約6.5km、同じく長町駅の西約3.5km、地下鉄南北線富沢駅の西約2kmに位置する。地形的には、仙台市の南側を南東方向に流れる名取川下流域の左岸にあたり、広瀬川と名取川に挟まれた通称「名取台地」の東端に立地する。名取川は本遺跡の南約700mにあり、この付近から川幅が広がる。広瀬川との合流点は遺跡の東約5kmの地点となる。遺跡は周囲との比高差約4～8m、範囲約800×700mを測る標高約30mの独立した河岸段丘上に広がる。今回調査した平成15年度確認調査・第5次調査地点は、遺跡範囲の南端を東西に横切る市道富沢山田線の北側に沿った区域である。この計画街路範囲は東西約280m・南北15～40m、平坦ながらも東側へ緩やかに傾斜する。木調査区はその東端に位置し、段丘の東側段丘崖縁にあたる。数十年前までこの段丘崖の下には湧水を溜めた「イケ」（洗い場）が点在し、生活用水として利用されていた。今回の事業予定区域の東端にも、湧水がほとんど見られなくなったが2ヵ所の「イケ」が確認できる。

上野遺跡は01002（C-108）として登録され（仙台市教育委員会 1995）、古くから知られている仙台市域を代表する縄文時代遺跡である（松本 1930、伊東 1950）。過去に行われた上野遺跡の調査は、遺跡範囲の西端を南北に延びる市道十文字線沿線域を対象とした第3次調査（金森・千葉 1986）、今回調査した地区の隣接地にあたる電力鉄塔建設に伴う第4次調査（結城 1989）があり、他に1976年、1981年にも小規模な調査が行われている（主浜 1995・結城 1989）。平成14年度には、今回の調査に先立って行われた仙台市教育委員会による市道富沢山田線の西端域での確認調査がある。

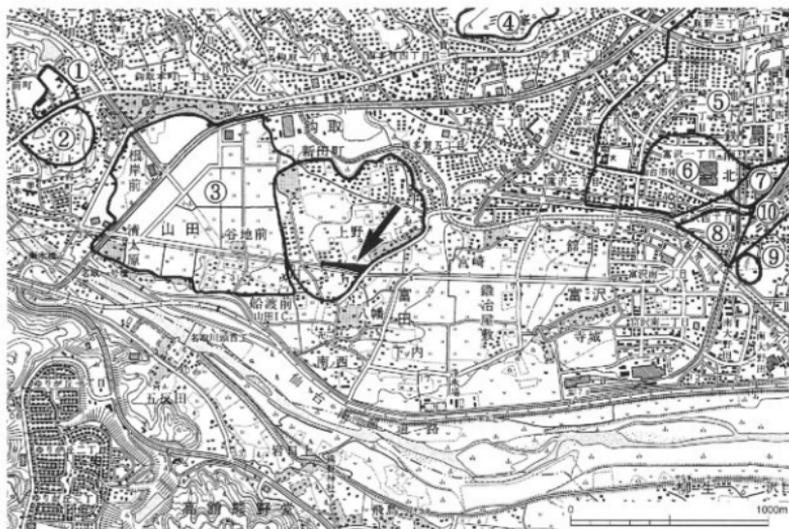
上野遺跡の周辺における縄文時代の主な遺跡は、本遺跡西方の河岸段丘上に①北前遺跡、②山田上ノ台遺跡、本遺跡が立地する段丘西側に隣接する一段低い扇状地に③山田条里遺跡、北方の丘陵地に④三神峯遺跡、東方の低地に⑤富沢遺跡、⑥山口遺跡、⑦下ノ内遺跡、⑧下ノ内遺跡、⑨伊占田遺跡、⑩六反田遺跡が位置し（仙台市史編さん委員会 1995等）、本遺跡と同じ縄文時代中期の集落遺跡は、①北前遺跡（大木9式）、②山田上ノ台遺跡（大木10式）、⑧下ノ内遺跡（大木10式）のほか下ノ内遺跡に東隣する⑩六反田遺跡（大木8b・10式）がある。

第4節 調査の経過

今回報告する上野遺跡の発掘調査は、第1節で述べたように確認調査・第5次の2回にわたり行った。本節では、その調査経過と概要について順を追って述べる。

1) 確認調査

確認調査は建設予定地内に3×10mのトレンチ（確認調査区）を22箇所設定し、西から東に向かって算用数字の1～22を付した（第3図）。調査方法は重機による表土掘削を行い、その後人力による遺構検出・精査を実施した。遺構確認が不明瞭な場合には一部を掘り下げて精査したが、将来本調査が行われることを前提とした調査であったことから、遺構の性格をある程度把握した時点までの精査にとどめた。各々のトレンチとも遺構・遺物の有無、土



- ←本遺跡 ①北前遺跡 ②山田上ノ台遺跡 ③山田桑里遺跡 ④三神峯遺跡 ⑤富沢遺跡
 ⑥山口遺跡 ⑦下ノ内浦遺跡 ⑧下ノ内遺跡 ⑨伊古田遺跡 ⑩六反田遺跡

第1図 遺跡の位置と周辺遺跡 (1 / 25,000)



第2図 過去の調査地点と今年度調査地点 (1 / 10,000)

層堆積の観察・記録を行った。平成15年11月4日、1トレンチから確認調査区の掘削を開始し、民家の入口に隣接する8・9トレンチを除いた20箇所の調査を実施した。1トレンチでは遺構の確認はなく、2～4トレンチでは散漫な遺構分布であった。5トレンチ以東で遺構プランの重複が認められ、6・7トレンチでは堅穴住居跡や埋設土器を伴う著しい遺構重複を確認するに至った。平成15年11月14日、仙台市教育委員会との協議・指導により、本遺跡の遺構分布の東限域を確定するため、10トレンチ以東は東端部の22トレンチから西側に向けて、調査を進めることとなった。その結果、遺構は6～10トレンチにかけて特に高い密度で分布し、粗密はあるものの最東端の22トレンチまで遺構の分布が広がることが明らかとなった。

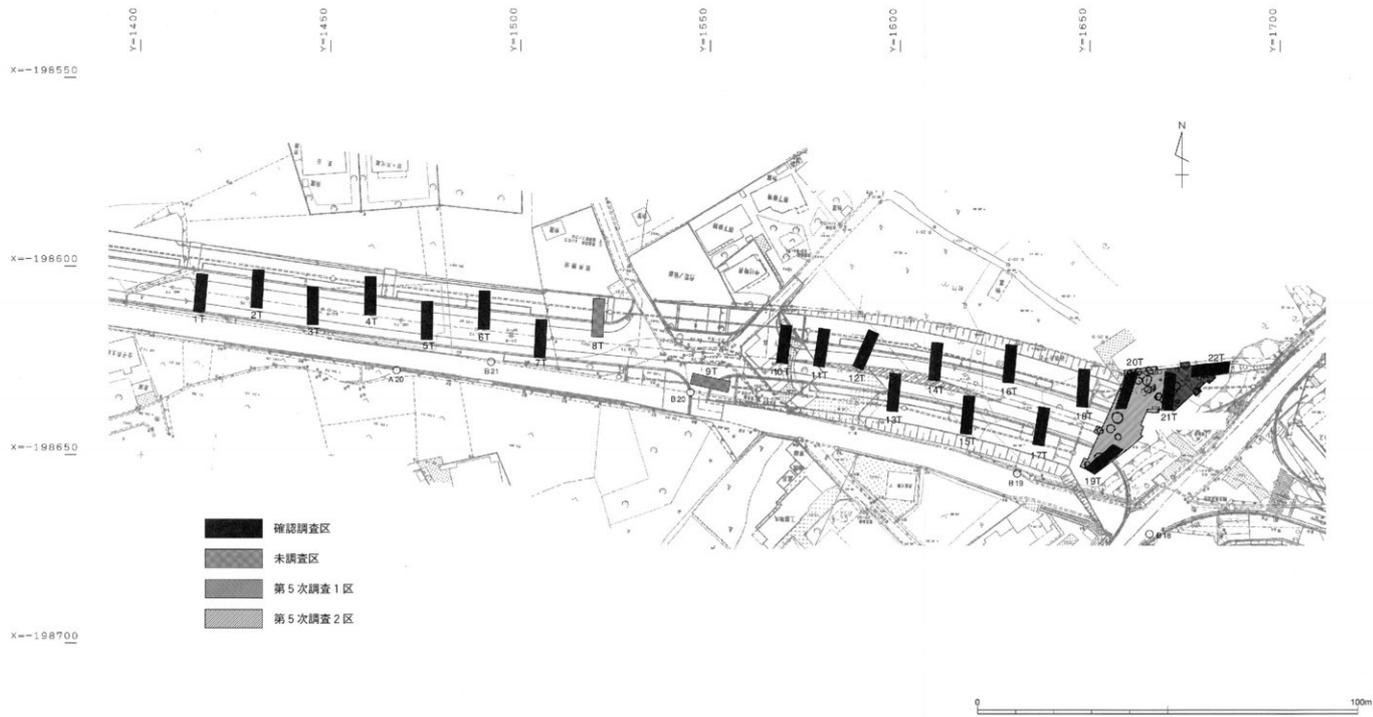
平成15年11月19日、仙台市教育委員会との確認調査の内容検討・協議により、本調査区が確定した。(第5次調査1区)。街路建設計画の関係上、遺跡東端の21・22トレンチ部分を中心とした150㎡である(第3図)。本調査に先立ち、その排土置き場と重機通路確保のため、13～18トレンチを先行して調査を完了させ、埋め戻しを行った。また、本調査と平行して5～7、10～12トレンチの調査を継続し、遺物集中出土部分や一部検出した遺構・伊跡等の付帯施設は土嚢袋やビニールシートで養生して埋め戻した。特に遺構・遺物の確認が著しかった6・7トレンチでは、それらを保護するため山砂によって埋め戻した。

2) 第5次調査

第5次調査は、前述のとおり確認調査の結果を受けて遺跡東端部に調査区を設定し、平成15年11月26日に開始した(1区)。確認調査の結果通りにフラスコ状1坑を主体とする土坑7基(フラスコ状土坑は6基)、ビット数基を検出し、西側の確認調査19・20トレンチ方向へ遺構の分布が展開する状況が認められた。このことから、1区の西側に260㎡の調査区を設定し、2区とした(第3・40図)。平成15年12月8日、1区を西側に拡張する形で2区の調査を開始した。調査方法は1・2区ともに確認調査と同様に重機によって表土掘削し、人力によって遺構・遺物の精査を行った。調査グリッドは座標軸に合わせた5㎡方眼を基本として東-西、南-北方向に設定した。グリッド呼称は調査区内を東から西へ算用数字の1～9、北から南へアルファベットのA～Fを付し、その組み合わせで表した。遺構番号は第5次調査の1区から2区へ通し番号を付した(第40図)。

2区での検出遺構は土坑22基(フラスコ状土坑は21基)、ビット数基である。このうち1坑1基は1・2区にまたがって検出されたものである(SK13)。調査区の壁にかかった遺構については仙台市教育委員会と協議の上、一部を拡張して調査することとなった。第5次調査で最終的に検出した遺構は、掘立柱建物跡1棟、土坑28基(フラスコ状土坑は26基)である。

平成16年1月16日、仙台市教育委員会との現地調査終了立会いを行い、同日20日までに埋め戻し及び現場撮収・片付けを終了し、同日仙台市教育委員会との完了立会いを行った。現地撮収後は遺物整理・報告書作成作業に入り、平成16年3月31日に報告書発行となった。



第3図 確認調査区（トレンチ）及び第5次調査区配置図（1/1,000）

第5節 基本層序

遺跡の上層堆積状態は、遺跡の現況に関連した擾乱が著しい部分も存在した。遺構確認面はV層上面としたが、状況に応じてN層、M層で行った箇所もある。確認調査域の西側にあたる1～5トレンチは耕作による擾乱が著しく、表土直下が遺構検出面となる。現況の等高線は西から東に向かって緩やかな傾斜を示し、これに関連して総じて西側が浅く東側に向かうに従い確認面までの深度は深くなる傾向が認められる。確認調査域の中央部にあたる6・7・10トレンチと東側の14トレンチは良好な土層堆積が観察された。確認調査域東側の11～13・15～22トレンチは耕作に加え建物建設・解体、木根痕による擾乱が著しかった。良好な土層堆積が残る6・7・10トレンチでは黒色土中に埋設土器や配石状遺構が検出されている。土層断面の観察では住居跡の掘り込みがⅢ層上面にまで達していた。今後行われる本調査に際し、良好な土層堆積が認められた確認調査域中央部では、黒色土中（Ⅲ層上位）での遺構確認が想定できよう。

本遺跡の基本層序は、以下のとおりである。なお、各確認調査区の報告中に土層堆積図を示したことから、柱状図は図示しなかった。

- I a 層** 褐色砂質シルト(10YR4/4～6) 現表土・耕作土層である。締まり、粘性に欠く。
- I b 層** 暗褐色砂質シルト(10YR3/4) 旧耕作土層である。締まり、粘性は弱い。
- I c 層** しぶい黄褐色粘土質シルト(10YR4/3) 黄色(V層)のブロックを多量に含み、締まり、粘性弱い。耕作に伴うトレンチャー等を主体とする擾乱土層である。
- Ⅱ 層** 黒褐色粘土質シルト(10YR2/3) 締まりは強く、粘性あり。縄文時代中期の土器片を多量に含む遺物包含層である。遺構の堆積土も本土層に類似したものが多量にあり、なお、6トレンチではⅡ層に対比される土層をa・bの2層に細分した。Ⅱa層は黒褐色(10YR2/3)で締まり・粘性とも強いが、擾乱気味の土層であり、ボソボソしている。Ⅱb層は暗褐色(10YR3/3)で締まり・粘性とも強い土層である。いずれも多量の土器片を含んでいる。第5次調査では、Ⅲ層のブロックを含むⅡb層下位をc層として分層できる。
- Ⅲ 層** 暗褐色粘土(10YR3/4) 締まり強く硬い。粘性あり。遺構の掘り込み面は、土層堆積の観察から本土層上面となる。上端に遺物が含まれる箇所もあったが、基本的に無遺物である。本土層も6トレンチのⅢ層対比土層がa・bの2層に細分した。Ⅲa層は暗褐色(10YR3/4)で締まり・粘性とも強く、層上端にわずかながら土器片が見られる。Ⅲb層は褐色(10YR4/4)で、締まりは非常に強く硬い。粘性も強い。土器片等の遺物は含まない。いずれも層下端にV層の淡い斑紋が集中し、Ⅳa層に分層することも可能な状態が観察された。
- Ⅳ 層** 褐色シルト(10YR4/6) 締まり、粘性とも強く、明褐色シルト(V層)の斑紋を主体とする漸移層である。層全体が淡い斑紋状を呈し、締りが強く、硬い場合も認められた。
- V 層** 明褐色シルト(10YR6/8) 締まり、粘性ともあり。
- Ⅵ 層** 黄褐色砂礫(10YR5/8) 粗い砂粒の中に径1～3cm・5～10cmの円礫を主体的に含む。
- Ⅶ 層** 黄褐色砂(10YR5/6) 比較的細かい砂粒を主体とし、水平・斜位のラミナが観察される。

第Ⅱ章 確認調査

本章では、各トレンチごとに土層堆積状況、検出したプラン・遺構と遺物について報告するが、第5次調査区と重複する19～22トレンチの土層断面図については割愛した。また、明らかに現代の擾乱と確認できたものについてはトレンチ平面図から除外してある。

遺構の調査はプラン確認を前提としたため、サブトレンチを含めた掘り下げや半截による遺構精査は一部の遺構を除いて基本的に行っていない。従って、遺構の性格・種別まで把握していないものについては「坑状プラン」、ビット状プランのように想定される遺構名称に「～状プラン」と呼称し、複数の遺構が重複する不整形のプランについては、「遺構重複状プラン」と呼称した。こうしたことから、プラン確認段階の遺構には遺構番号を付していない。出土遺物があった場合や遺構の性格(種類)が掴めたものについてはトレンチごとに通し番号を付した。第5次調査区となった19～22トレンチについては、本調査時の遺構番号を使用した。なお、トレンチ別の検出遺構一覧は第1表として示してある。

第5次調査において、風倒木痕・その他不明瞭な平面形態や堆積土を持つプランに縄文時代の土坑が含まれていることが分かった。従って、風倒木痕等の疑いのあるプランについても遺構に含めた。

配石を伴う遺構や遺構に関連する状態の遺物については、限られた調査範囲内では帰属遺構や新旧関係の詳細が掴みにくいことから取り上げを行っていない。これらは将来の本調査に委ねることとし、ブルーシートや山砂、土嚢袋等による養生を施して埋め戻した。

第1表 上野遺跡確認調査区における確認遺構・プラン一覧表

トレンチ名	確認遺構・プラン
1トレンチ	無し
2トレンチ	フラスコ状土坑1基、土坑状プラン1ヵ所
3トレンチ	土坑状プラン1ヵ所
4トレンチ	土坑状プラン1ヵ所、ビット状プラン12ヵ所
5トレンチ	遺構重複状プラン1ヵ所、ビット状プラン9ヵ所
6トレンチ	住居跡1軒、埋設土器2基、配石状遺構1ヵ所、ビット状プラン3ヵ所
7トレンチ	住居跡2軒、埋設土器2基、ビット状プラン14ヵ所
8トレンチ	未調査
9トレンチ	未調査
10トレンチ	住居跡1軒、土坑状プラン1ヵ所、ビット状プラン9ヵ所
11トレンチ	土坑状プラン1ヵ所
12トレンチ	遺構重複状プラン2ヵ所、ビット状プラン4ヵ所
13トレンチ	溝状プラン1ヵ所、ビット状プラン3ヵ所
14トレンチ	土坑状プラン4ヵ所、ビット状プラン5ヵ所
15トレンチ	遺構重複状プラン1ヵ所、土坑状プラン7ヵ所
16トレンチ	遺構重複状プラン1ヵ所、土坑状プラン2ヵ所
17トレンチ	土坑状プラン2ヵ所
18トレンチ	遺構重複状プラン1ヵ所
19トレンチ	フラスコ状土坑2基、土坑状プラン1ヵ所
20トレンチ	土坑状プラン3ヵ所
21トレンチ	フラスコ状土坑1基、土坑状プラン3ヵ所
22トレンチ	フラスコ状土坑1基

1 トレンチ (第4図、図版2)

1 トレンチは10×3 m (30㎡)、V層までの深度は約50cmを測る。土層堆積状態は耕作に伴う攪乱が著しく、I層直下にV層が露出する状況である。確認した遺構は、円形土坑状プラン2ヵ所である。そのうち南東隅のプランについては、サブトレンチによって壁が内傾して立ち上がるフラスコ状土坑 (SK1) であることを確認した。遺物は縄文時代中期の土器・石器が少量出土した。

包含層出土遺物 (第12図、第2表、図版30)

2点の石器が出土し、内訳はスクレイパー1点、剥片1点である。その内スクレイパーを図がした。

2 トレンチ (第4図、図版2)

2 トレンチは10×3 m (30㎡)、V層までの深度は約60cmを測る。土層堆積状態は耕作に伴う攪乱が著しく、I層直下にV層が露出する状況である。確認した遺構は、円形土坑状プラン2ヵ所である。そのうち南東隅のプランについては、サブトレンチによって壁が内傾して立ち上がるフラスコ状土坑 (SK1) であることを確認した。遺物は縄文時代中期の土器・石器が少量出土した。

1号土坑 (SK1) 出土遺物 (第12図、第3表、図版13)

土器は縄文時代中期の大木8 a～9式土器が出土している。

包含層出土遺物 (第12図、第4表、図版13)

土器は縄文時代中期の大木8 b～9式土器が出土している。13は小形土器の破片である。

石器は2点が出土し、内訳は砥石1点、剥片1点である。

3 トレンチ (第5図、図版2)

3 トレンチは10×3 m (30㎡)、V層までの深度は約50cmを測る。土層堆積状態は耕作に伴う攪乱が著しく、I層直下にM層が露出する状況で、V層は一部に薄く残存するのみである。確認した遺構は円形土坑状プラン1ヵ所である。遺物は縄文時代中期の土器破片が少量、剥片1点が出土した。

4 トレンチ (第5図、図版2)

4 トレンチは10×3 m (30㎡)、V層までの深度は約40cmを測る。土層堆積状態は、耕作に伴う攪乱によりI層直下にN・V層が露出していた。確認した遺構は、長楕円形土坑状プラン1ヵ所、ビット状プラン12ヵ所である。ビット状プランには木根痕も含まれている可能性がある。遺物は縄文時代中期の土器・石器が少量出土した。

包含層出土遺物 (第13図、第5表、図版30)

本トレンチからは1点の微細刻線痕のある剥片が出土し、それを図がした。

5 トレンチ (第5図、図版2)

5 トレンチは10×3 m (30㎡)、V層までの深度は約50cmを測る。土層堆積状態はトレンチ北側では耕作に伴う攪乱によりV層が露出する状況であったが、南側には皿層以下が残されていた。本トレンチの皿層下半はV層の淡い斑紋・粒子が見られ、N層に分層することも可能である。確認した遺構は、遺構重複状プラン1ヵ所、ビット状プラン9ヵ所である。遺構重複状プランはトレンチ南側に位置し、住居跡や複数の土坑が重複したものと考えられる。この範囲内で縄文時代中期の土器破片が集中する箇所が確認され、また土器器杯の半完形2点が出土している。これらの遺物は土嚢袋によって養生し埋め戻した。

包含層出土遺物 (第13～15図、第6表、図版14)

土器は縄文時代中期の大木8 b～9・10式土器が出土した (第13・14図)。26は漆と考えられる黒色の付着物が見

られる胴部破片、27は注口土器の注口部である。28はミニチュア土器の完形品である。図版14の写真資料としたものは焼粘土塊と考えられる。図化しなかったが、埋め戻した遺物以外にも赤焼土器（高台付きの環）1個体、黒色処理のロクロ土器器破片6点（同一個体）が出土している。

石器は20点出土した。内訳はスクレイパー6点、凹石2点、面取り状の磨面を持つ磨石2点、石皿2点、砥石1点、剝片5点（微細剝離痕のあるもの3点を含む）、珪化木破片2点である。その内8点を図示した（第14・15図）。29～32はスクレイパー、33は凹石、34は面取り状の磨面を持つ磨石、35・36は石皿である。

6 トレンチ（第6図、図版3）

6 トレンチは10×3m（30㎡）、V層までの深度は約80cmを測る。土層堆積状態は良好である。II層以下の土層堆積を観察できたが、遺物包含層と遺構堆積土の差は掴みきれなかった。本トレンチでⅢa・b層とした土層は、遺物包含層ではなく遺構堆積土になる可能性が高い。また、Ⅲb層下端にはV層の淡い斑紋が見られ、Ⅳ層に層層可能かもしれない。サブトレンチと平面での精査を繰り返した結果、確認された遺構は住居跡1軒、埋設土器2基、配石状遺構1ヵ所、ピット状プラン3ヵ所である。

住居跡はトレンチ北端に位置し、複式炉の一部を検出した（S11）。土器埋設は深鉢形土器2個体が重複し、トレンチ南西隅に位置する（SX1〔北西側〕・SX2〔南西側〕）。SX1・2とも大木9～10式土器である。配石状遺構は土器埋設と関連するようにトレンチ南側に位置し、トレンチ外へ展開する（SX3）。ピット状プランは住居跡に伴う可能性がある。複式炉とその周辺遺物、埋設土器、配石状遺構は検出した状態のままブルーシートと山砂で養生し埋め戻した。遺物は縄文時代中期の土器・石器が多量に出土した。

1号住居跡（S11）出土遺物（第16図、第7表、図版15）

土器は縄文時代中期の大木8a～10式土器が出土している。

石器は3点が出土し、内訳は凹石1点、剝片1点、珪化木破片1点である。その内凹石を図示した。

包含層出土遺物（第16～19図、第8表、図版15・30）

土器は縄文時代中期の大木8a～10式土器が出土している（第16・17図）。

石器は48点の石器が出土し、内訳はスクレイパー1点、敲石3点、凹石11点、磨石14点（面取り状の磨面を持つもの3点を含む）、石皿3点、台石4点、砥石2点、石棒1点、剝片4点（微細剝離痕のあるもの2点を含む）、石核3点、珪化木破片2点である。その内17点を図示した（第17～19図）。35は微細剝離痕のある剝片、36はスクレイパー、37は剝片素材の石核、38～40は敲石、41・42は凹石、43～46は磨石、47は面取り状の磨面を持つ磨石、48・49は台石、50は石棒、51は砥石である。

7 トレンチ（第6図、図版3・4）

7 トレンチは10×3m（30㎡）、V層までの深度は約70cmを測り、土層堆積状態は良好である。表土直下からトレンチ全体が遺構堆積土と推測でき、住居跡を中心とした著しい遺構重複を示す。サブトレンチと平面での精査により、住居跡2軒、埋設土器2基、ピット状プラン14ヵ所の遺構を確認した。

住居跡はトレンチの南端（S11）と北端（S12）に位置する。S11には埋設土器を伴う複式炉を検出した。南壁西寄りからは焼土が検出され、S12に伴う炉跡と考えられる。また、S12北壁寄りからは、複数の凹石が集積された状態で出土し、隣接して石錐も認められた。S11・2の中間域も住居跡となる可能性が高い。埋設土器は深鉢形土器2個体が接した状態でトレンチの中央部に位置し（SX1〔北西側〕・SX2〔南西側〕）、S11と重複する。重複関係は古→新の順でS11→SX2となる。ピット状のプランは住居跡に伴う柱穴の可能性がある。これらの遺構・遺物は検出した状態のままブルーシートと山砂で養生し埋め戻した。遺物は縄文時代中期の土

器・石器が多量に出土し、S X 1・2 周辺からは土偶 1 点が検出された。他に須恵器破片 2 点がある。

1号住居跡 (S I 1) 出土遺物 (第20図、第9表、図版16・32)

土器は縄文時代中期の大木 8 b ~10 式が出土している。縄文土器のほかには須恵器の鉢を含む破片 2 点が出土している。

石器は17点が出土し、内訳はスクレイパー 2 点、凹石 7 点、磨石 5 点、微細剝離痕のある割片 1 点、割片 2 点である。その内 7 点を図示した。13・15はスクレイパー、14は微細剝離痕のある割片、16・17は凹石、18は磨石、19は面取り状の磨面を持つ磨石である。

2号住居跡 (S I 2) 出土遺物 (第21図、第10表、図版16・32)

土器は縄文時代中期の大木 8 a ~10 式が出土している。

石器は10点が出土し、内訳はスクレイパー 2 点、割片 8 点 (微細剝離痕のあるもの 1 点を含む) である。その内 2 点を図示した。17はスクレイパー、18は微細剝離痕のある割片である。

1号埋設土器 (S X 1) (第22図、第11表、図版17)

1 ~ 8 は埋設土器の一部で、縄文時代中期の大木 10 式である。

包含層出土遺物 (第22~24図、第12表、図版17・18・32)

S I 3 として取り上げた S I 1 と S I 2 の中間域出土遺物も包含層遺物に含めた。

土器は縄文時代中期の大木 8 a ~10 式が出土している (第22・23図)。2・3、7・8、20・21はそれぞれ同一個体の土器である。27は土偶の脚部破片で、上面の割れ面は接合面となる。

石器は45点が出土し、内訳はスクレイパー 4 点、石匙 1 点、打製石斧 1 点、敲石 1 点、凹石 13 点、磨石 8 点、石皿 13 点、微細剝離痕のある割片 4 点、石核 1 点である。その内 13 点を図示した (第23・24図)。29は石匙、28・30はスクレイパー、31~33は微細剝離痕のある割片、34は打製石斧、35は敲石、36~38は凹石、39・40は石皿である。

10トレンチ (第7図、図版4)

10トレンチは10×3 m (30㎡)、V層までの深度は約50cmを測る。土層堆積状態は一部に現代の擾乱が見られたが、II層以下の土層堆積を観察でき、総じて良好である。確認遺構は住居跡 1軒、土坑状プラン 1ヵ所、ピット状プラン 9ヵ所である。

表土掘削時からトレンチ南半部で顕著な遺物出土があり、精査を重ねたが明瞭なプランを検出できなかった。そのため、トレンチ壁面の土層観察から遺構の有無を確認することにし、その住居跡 1軒を確認した (S I 1)。トレンチ南東部に塩化ビニール管が設置されていたが、この区域は S I 1 となることが判明したことから表土除去後、それ以下の掘削は行わなかった。トレンチ西壁の住居跡断面にかかった大形土器破片は取り上げず、ビニールで被覆・保護し埋め戻した。また、S I 1 を切り込む土層から完形の土器器坏 1 点がトレンチ西壁南端から出土したが、これも同様に埋め戻した。ピット状プランは S I 1 に伴うものを含むと考えられる。土坑状プランは二次堆積土あるいは風倒木痕となる可能性もある。遺物は縄文時代中期の土器・石器が多量に出土した。

1号住居跡 (S I 1) 出土遺物 (第25~27図、第13表、図版18・19・33)

土器は縄文時代中期の大木 8 a ~10 式が出土している (第25・26図)。

石器は12点が出土し、内訳はスクレイパー 1 点、石匙 1 点、割片 8 点、珪化木破片 2 点である。その内、石匙 1 点を図示した (第27図)。

包含層出土遺物 (第27図、第14表、図版32)

縄文時代中期の土器少量、石器 7 点 (凹石 1 点、面取り状の磨面を持つ磨石 1 点、石皿 1 点、割片 4 点) が出土している。割片以外の石器を図示した。

11トレンチ (第7図、図版4)

11トレンチは10×3m (30㎡)、V層までの平均深度は約50cmを測る。土層堆積状態は近年の建築・解体工事と耕作に伴う擾乱が著しく、一部にII層堆積が見られたもののI層直下にN層が露出する状況であった。確認した遺構は不整形土坑状プラン1ヵ所であるが、風倒木痕等の擾乱である可能性もある。遺物は縄文時代中期の土器・石器が少量出土した。

包含層出土遺物 (第28図、第15表、図版20)

土器は縄文時代中期の大木8a・8b式が出土している。11は上半身板状を呈する土偶の腕部破片である。

石器は2点が出土し、内訳は石棒1点、剥片1点である。その内石棒1点を図示した。12は石棒の基部破片である。

12トレンチ (第8図、図版4)

12トレンチは10×3m (30㎡)、V層までの深度は60cmを測る。土層堆積状態は近年の建築・解体工事と耕作に伴う擾乱が著しく、I層直下にN層が露出する箇所も見られた。現代の擾乱が位置していたトレンチ中央よりやや南寄りの約3×3mをV層中まで掘り下げ、III層以下の土層堆積を観察した。確認した遺構は遺構重複状プラン2ヵ所、ピット状プラン4ヵ所である。

トレンチの北半は全体が遺構重複状プランで、一部にIII層が認められた。プラン内には多量の縄文中期の土器破片・石器を含む。トレンチ南側の不整形な遺構重複状プランとピット状プランには、木根痕等の擾乱を含むようである。出土遺物には縄文時代遺物のほかに土師器破片3点がある。

包含層出土遺物 (第28・29図、第16表、図版20・21)

包含層遺物は、トレンチ北半の遺構重複状プラン検出時に出土したものが大半である。

土器は縄文時代中期の大木7b～9式が出土している (第28・29図)。16は小形土器の破片である。9・13は同一個体の土器である。縄文土器のほかに内面黒色処理のロクロ土師器破片2点 (坏破片1点、甕破片1点)、古墳時代に遡る可能性のある土師器小破片1点が出土している。

石器は2点が出土し、内訳は凹石1点、剥片1点である。その内、凹石1点を図示した (第29図)。

13トレンチ (第8図、図版5)

13トレンチは10×3m (30㎡)、N層までの深度は約75cmを測る。土層堆積の状態は近年の擾乱が著しいが、I層直下にIII層を確認面とする遺構堆積土が残存する。確認した遺構は溝状プラン (SX1) 1ヵ所、ピット状プラン3ヵ所である。

SX1はトレンチ中央部をほぼ南北方向に縦走し、プラン縁辺が断層状のひび割れが観察される箇所もある。複数の遺構が重複したのとも考えられ、南側からは人形破片を含む多量の縄文土器が出土した。この区域の約3×3mをN層上面まで掘り下げたが、ピット状プランを検出したにとどまった。出土遺物は多量の縄文中期の土器・石器のほかに土師器破片2点である。

1号溝状プラン (SX1) 出土遺物 (第30～33図、第17表、図版21～24・33)

土器は縄文時代中期の大木7b～8b式が出土し (第30～33図)、9・27には補修孔が見られる。図版24の写真資料としたものは焼粘土塊または土製品と考えられる。

石器は35点が出土し、内訳はスクレイパー7点、石匙2点、クサビ形石器2点、剥片22点 (微細剥離痕のあるもの4点を含む)、石核2点である。その内11点を図示した (第33図)。44・46・47は石匙、45・48・50はスクレイパー、

49・53はクサビ形石器、51・52は石錐、54は凹石である。51の刃部には錐状を呈する部分がある。53の左側縁には転用あるいは併用を示す使用痕と考えられる微細な剝離が認められる。

包含層出土遺物（第34～36図、第18表、図版24・25・33）

SX1検出時に出土したものが大半である。

1.器は縄文時代中期の大木8a・8b式が出土している（第34～35図）。16・17は同一個体、28は小形土器の破片である。縄文土器のほかに、底面に糸切り痕を持つものを含む内面黒色処理のロクロ土器器杯破片2点が出土している。

石器は13点が出土し、内訳はスクレイパー4点（二脚状を呈する石器1点を含む）、石匙2点、敲石1点、凹石1点、石皿1点、剥片3点（微細剝離痕のあるもの1点を含む）、石核1点である。その内9点を図示した（第36図）。31・32は石匙、33～36はスクレイパー、37は微細剝離痕のある剥片、39は敲石である。38は三脚状を呈する石器で、挟りの強い下部を刃部としたスクレイパーの一種と考えられる。両側縁の加工は装着に関わるものかも知れない。

14トレンチ（第9図、図版5）

14トレンチは10×3m（30㎡）、N層までの深度は約90cmを測る。土層堆積の状態は近年の擾乱が著しいが、1層直下にII層以下の土層堆積を観察でき良好である。確認した遺構は円形土坑状プラン4ヵ所、ビット状プラン5ヵ所である。

円形土坑状プランはトレンチ北側に集中し、3ヵ所が重複する。これらには風倒木痕に特有の土層堆積が認められた。ビット状プランには、木根痕も含まれている可能性がある。出土遺物はない。

15トレンチ（第9図、図版5）

15トレンチは10×3m（30㎡）、V層までの深度は約1mを測る。I層堆積状態は近年の擾乱が著しく、I層直下にN層が確認できる。トレンチ東壁中央の遺構検出部に巨木根があり、遺構保護のため無理な抜根をしなかった。確認した遺構は遺構重複状プラン1ヵ所、円形土坑状プラン7ヵ所である。

遺構重複状プランは西壁中央部にあり、擾乱気味の不整形を呈する。円形土坑状プランは東壁に位置し、7ヵ所中4ヵ所と2ヵ所が重複する。遺物は縄文時代中期の土器・石器が少量出土した。

包含層出土遺物（第37図、第19表、図版26）

1.器は縄文時代中期の大木8b式が出土した。

石器は2点が出土し、内訳は敲石1点、剥片1点である。その内、敲石1点を図示した。

16トレンチ（第10図、図版6）

16トレンチは10×3m（30㎡）、V層までの平均深度は約80cmを測る。土層堆積状態は近年の擾乱が著しく、I層直下にN・V層を検出した。確認した遺構は遺構重複状プラン1ヵ所、土坑状プラン2ヵ所である。トレンチ北側では3基以上の土坑状を呈するプランが重複する。特に擾乱が著しかったトレンチ南側の5.5×3mはV層上面まで掘り下げ、南壁から擾乱気味の土坑状プランを確認した。この区域の確認面は擾乱による凹凸が著しい。出土遺物はない。

17トレンチ（第10図、図版5）

17トレンチは10×3m（30㎡）、V層までの平均深度は約50cmを測る。土層堆積状態は近年の擾乱が著しく、I

層直下にV層が確認できる状況である。遺構確認面も攪乱による凹凸が著しい。確認した遺構は円形土坑状プラン2ヵ所である。出土遺物は少量の縄文中期の土器破片で、石器は出土しなかった。

包含層出土遺物 (第37図、第20表、図版26)

土器は縄文時代中期の大木8b式が出土した。

18トレンチ (第10図、図版5)

18トレンチは10×3m (30㎡)、V層までの深度は70cmを測る。土層堆積状態は近年の攪乱が著しく、I層直下にN・V層が存在する状況である。遺構確認面も攪乱による凹凸が著しい。トレンチ北側には民家の上間と考えられる層厚約20～35cmを測る版築状の硬い土層(1層)が見られた。確認した遺構は遺構重複状プラン1ヵ所である。一部を半載したが、2～3基の土坑が重複した可能性もある。遺物は縄文時代中期の土器・石器が少量出土した。

包含層出土遺物 (第37図、第21表、図版33)

石器は5点が出土し、内訳はスクレイパー2点、微細斜離痕のある剥片1点、磨石1点、剥片1点である。その内2点を図示した。1はスクレイパー、2は磨石である。

19トレンチ (第11図)

19トレンチは10×3m (30㎡)、V層までの深度は約80cmを測る。土層堆積状態は悪く、I層直下にV・M層が確認でき、近年の攪乱や推定木根痕も見られる。確認した遺構はフラスコ状土坑2基と土坑状プラン1ヵ所で、第5次調査のSK25・26・31である。遺物は縄文時代中期の土器破片が少量出土したが、石器は出土しなかった。

20トレンチ (第11図)

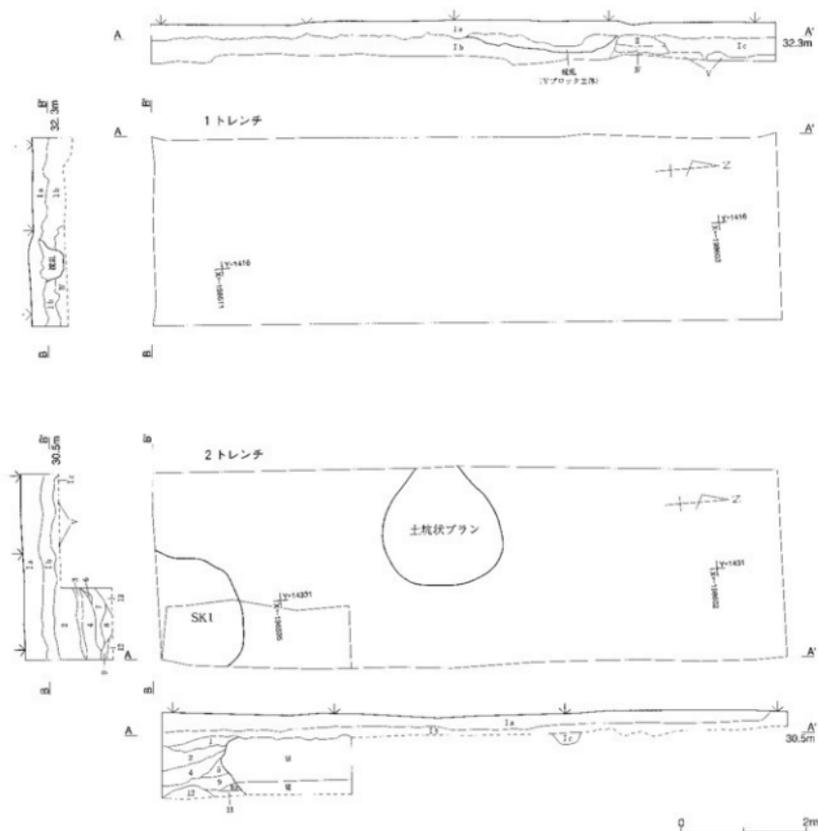
20トレンチは10×3m (30㎡)、V層までの深度は80cmを測る。土層堆積の状態は悪く、I層直下にV層が存在する状況である。旧民家への出入口斜面にあたるため、生活路や水道配管等の攪乱が著しく、ゴミ穴や木根痕も認められた。確認した遺構は土坑状プラン3ヵ所で、第5次調査のSK18・19・20である。出土遺物はない。

21トレンチ (第11図)

21トレンチは10×3m (30㎡)、V層までの深度は70cmを測る。土層堆積状態は悪く、I層直下にN・V層が存在する状況である。台地縁辺に近いことに関連してか、本トレンチでのN・V層は汚れていたため、遺構堆積土との差を掴みにくい状態であった。確認した遺構はフラスコ状土坑1基、土坑状プラン3ヵ所である。フラスコ状土坑はトレンチ西壁にサブトレンチを入れ、土層断面で確認した(第5次調査SK13)。また、土坑状プラン3ヵ所の内2ヵ所は斜面堆積(二次堆積)を成因とする「しみ」であることが第5次調査の結果明らかとなった。出土遺物はない。

22トレンチ (第11図)

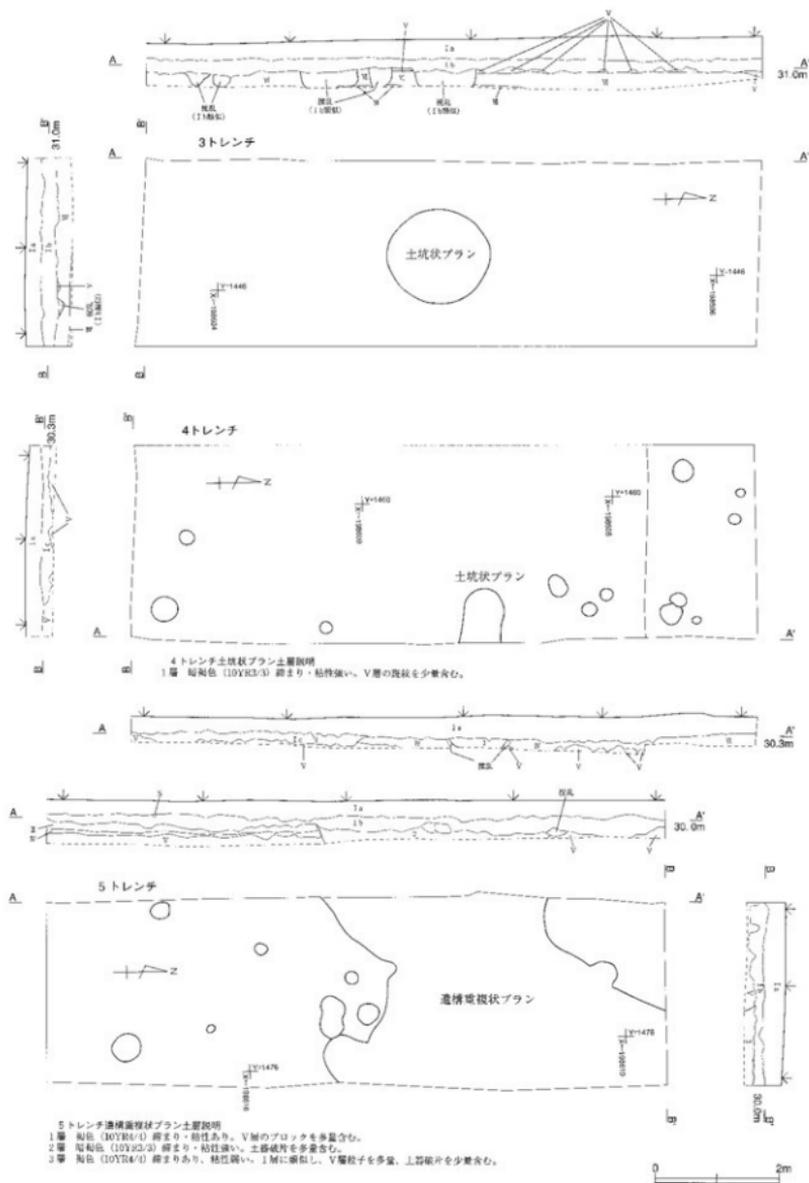
22トレンチは10×3m (30㎡)、V層までの深度は70cmを測る。土層堆積状態は悪く、I層直下にN・V層が存在する状況である。本トレンチには巨木の根も多く、木根痕による攪乱が著しかった。確認した遺構はフラスコ状土坑1基である(第5次調査SK1)。また、トレンチ東側からは台地東縁に並行する主軸を持つ近代以降の溝状を呈する攪乱が検出された。遺物は縄文中期の土器が少量、石器剥片2点が出土した。



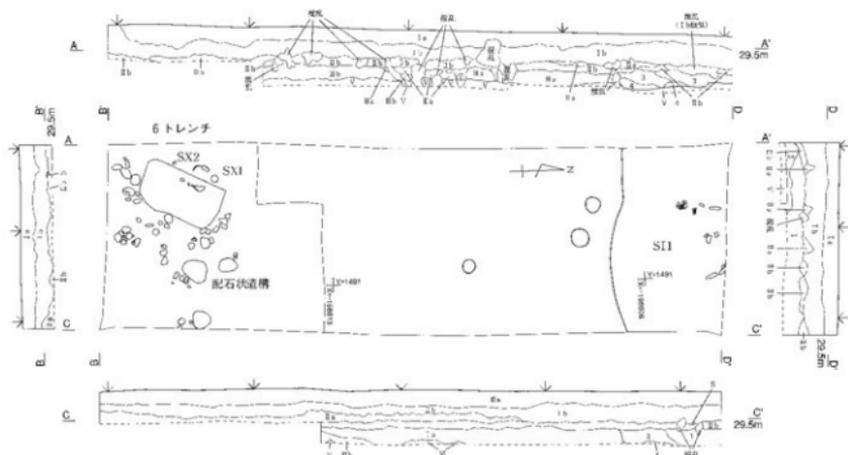
2 トレンチ1号土坑 (SK1) 土層説明

- 1層 暗褐色 (10YR2/3) 締まり・粘性強い。土器破片・炭を多量含む。
- 2層 暗褐色 (10YR2/4) 締まり・粘性強い。土器破片・炭を多量、炭化物粒子を少量。層下中にV層粒子・埋藏起源の小円礫を少量含む。
- 3層 高褐色 (10YR2/3) 締まり・粘性非常に強い。炭化物粒子を少量。層下中にV層近縁を少量含む。
- 4層 濃い黄褐色 (10YR4/3) 締まり・粘性強い。炭化物粒子を多量。右半から上下部にV層ブロック・炭粒を多量、左半に埋藏起源の砂粒を多量、土器破片少量含む。
- 5層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性強い。V層粒子・埋藏起源の砂粒・炭化物粒子を多量含む。
- 6層 褐色 (10YR4/5) 締まり・粘性強い。V・埋藏起源の砂粒を多量含む。
- 7層 暗褐色 (10YR3/3) 締まり強く、粘性強い。炭化物粒子を多量、埋藏起源の小円礫を少量。下部から右端にV層粒を多量含む。
- 8層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり・粘性強い。炭化物粒子を多量。土器破片・埋藏起源の円礫を少量含む。
- 9層 黄褐色砂質 (10YR5/5) 締まり・粘性弱い。V層ブロック・粒子、V・埋藏起源の砂粒を多量含む。
- 10層 褐色砂質 (10YR4/6) 締まり・粘性なし。9層に類似し、埋藏起源の小円礫を含む。
- 11層 褐色 (10YR3/4) 締まり強く、粘性強い。V層粒子・炭化物粒子を少量含む。
- 12層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まり・粘性弱い。V層粒子・埋藏起源の小円礫を含む。

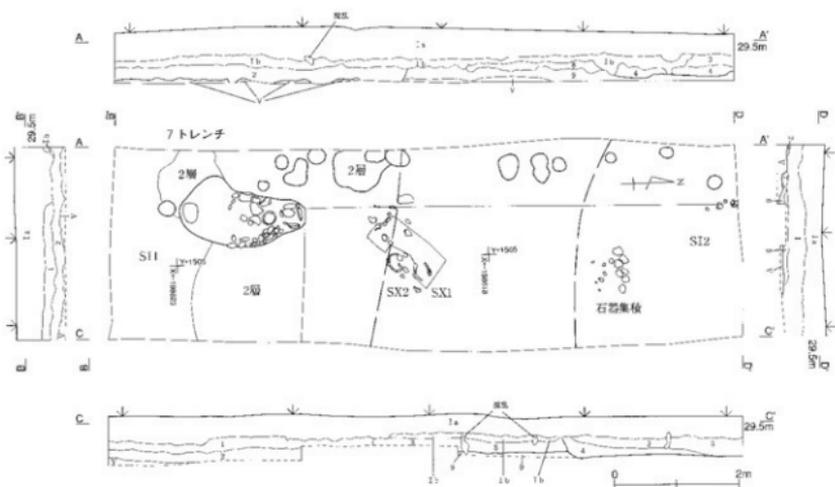
第4図 1・2 トレンチ平面図・土層断面図



第5図 3・4・5トレンチ平面図・土層断面図

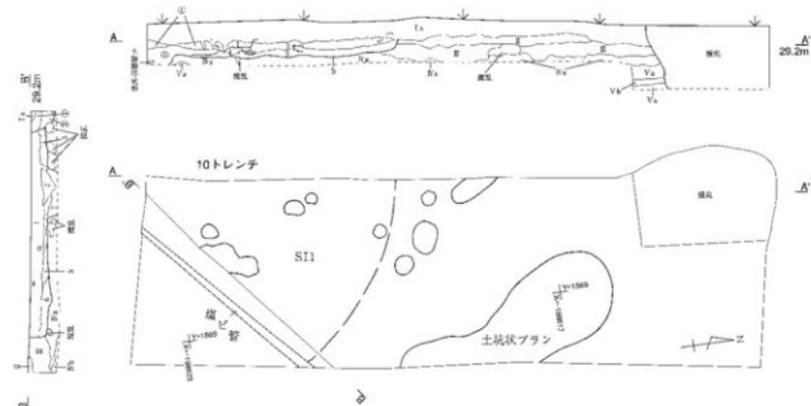


- 6トレンチ1号住居跡(S11)土層説明
- 1層 暗褐色(10YR2/3) 締まりあり、粘性強い。土器破片を多量、V層粒子・炭化物粒子を少量含む。
 - 2層 暗褐色(10YR2/4) 締まり・粘性強い。上部破片を少量、下部にV層炭粒を含む。
 - 3層 濃い赤褐色(10YR2/5) 締まり非常に強く、粘性強い。V層ブロックを少量、上部破片を少量含む。
 - 4層 褐色(10YR4/6) 締まり・粘性強い。土器破片、V層粒子・ブロック・炭粒を多量含む。
 - 6トレンチ2号住居跡(S12)土層説明
 - 1層 暗褐色(10YR2/3) 締まり非常に強く、粘性強い。上部破片を少量含む。下部にV層粒子・ブロックを多量含む。締まり弱い。



- 7トレンチ1号住居跡(S11)土層説明
- 1層 暗褐色(10YR2/4) 締まりややあり、粘性強い。土器破片を多量、V層ブロックを少量含む。3層に類似する。
 - 2層 暗褐色(10YR2/2) 締まり非常に強く、粘性強い。土器破片を多量、下部にV層粒子・炭粒を多量含む。6層に類似する。
 - 7トレンチ2号住居跡(S12)土層説明
 - 1層 暗褐色(10YR2/3) 締まり強く、粘性強い。土器破片を少量、炭化物粒子を少量含む。
 - 2層 暗褐色(10YR2/3) 締まりやや弱く、粘性強い。土器破片を少量含む。下部にV層粒子・炭粒を多量含む。
 - 3層 暗褐色(10YR2/4) 締まり非常に強く、粘性強い。上部破片を多量含む。
 - 4層 暗褐色(10YR2/5) 締まり非常に強く、粘性強い。土器破片を多量、炭化物粒子を少量含む。
 - 5層 暗褐色(10YR2/4) 締まり非常に強く、粘性強い。土器破片を多量、炭化物粒子を少量含む。
 - 6層 暗褐色(10YR2/3) 締まり非常に強く、粘性強い。土器破片を多量、炭化物粒子を少量含む。
 - 7層 暗褐色(10YR2/4) 締まり非常に強く、粘性強い。土器破片を多量、炭化物粒子を少量含む。
 - 8層 暗褐色(10YR2/3) 締まり非常に強く、粘性強い。土器破片を多量、炭化物粒子を少量含む。
 - 9層 暗褐色(10YR2/3) 締まり非常に強く、粘性強い。下部にV層粒子・炭粒、炭化物粒子を少量含む。

第6図 6・7トレンチ平面図・土層断面図

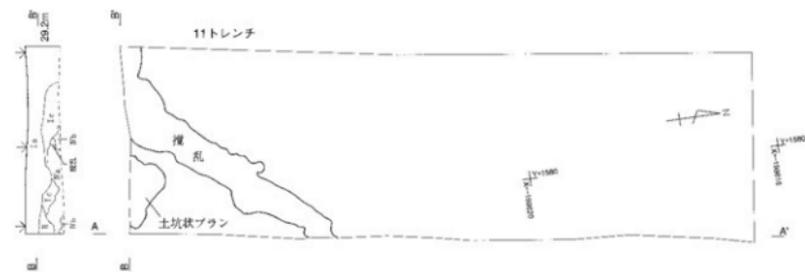


10

10トレンチ1号検出跡 (S11) 土層説明

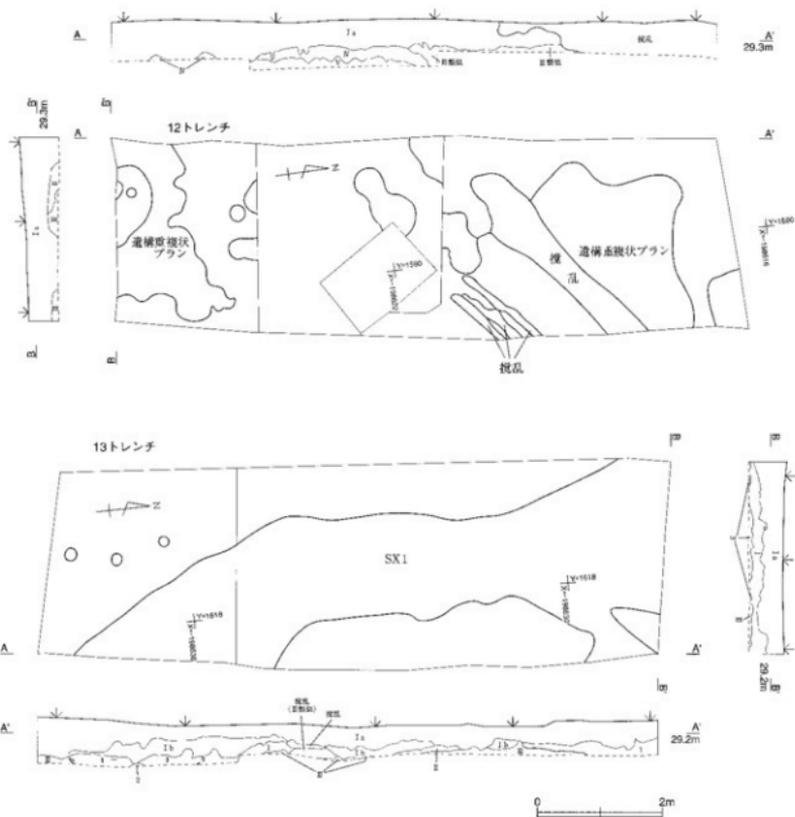
- | | |
|--|---|
| <p>1層 黒褐色 (10YR2/2) 締まり・粘性あり。上部破片多量、炭化物粒・円礫・角礫少量、焼土粒子を微量含む。①層に属する。</p> <p>2層 黒褐色 (10YR2/2) 締まりややゆるく、粘性強い。V層粒子を多量、土器破片・炭化物粒を少量、焼土粒子を微量含む。</p> <p>3層 黒褐色 (10YR2/2) 締まり・粘性強い。上部破片を多量、円礫・角礫を少量含む。B層に類似する。</p> <p>4層 黒褐色 (10YR2/2) 締まり・粘性強い。瓦層粒子・ブロックを多量、土器破片を少量含む。</p> | <p>5層 黒褐色 (10YR2/2) 締まり・粘性非常に強い。土器破片、瓦層粒子・ブロック・炭化物多量、円礫を少量含む。</p> <p>6層 黒色 (10YR4/0) 締まり・粘性非常に強い。全体が空層の塊状状を呈する。</p> <p>7層 黒色 (10YR4/0) 締まり・粘性非常に強い。中層に属す。</p> <p>⑧層 黒褐色 (10YR2/2) 締まりゆるく、粘性強い。瓦又土器小破片・V層ブロックを含む。</p> <p>⑨層 黒褐色 (10YR2/2) 締まりゆるく、粘性あり。両側にV層ブロック・炭化物を含む。下部に上層層が正位で出ず。</p> |
|--|---|

11



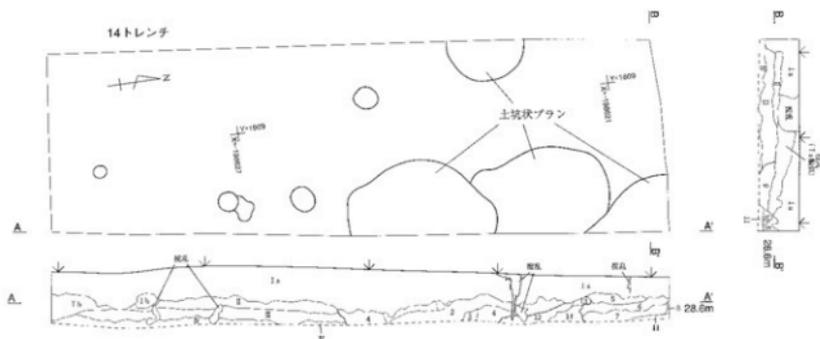
11

第7図 10・11トレンチ平面図・土層断面図



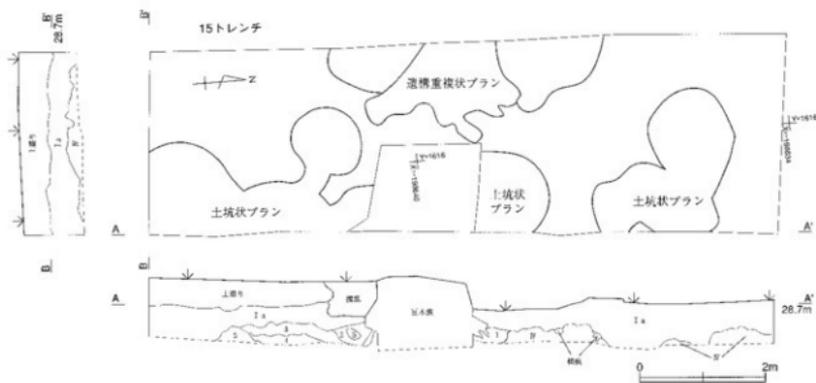
13トレンチ1号溝状プラン (SX1) 土層説明
 1層 黄褐色 (10YR2/2) 粘りあり、粘性強い。土器破片・炭・炭化物粒子を多量に含む。II層に類似。
 2層 褐色 (10YR2/1) 粘り・粘性強い。土器破片・炭化物粒子を多量含む。

第8図 12・13トレンチ平面図・土層断面図



14トレンチ土坑状プラン (3a所) 土層説明

- | | |
|--|--|
| 1層 暗褐色 (10YR5/4) 締まり・粘性あり。2層に類似する。 | 8層 暗褐色 (10YR3/0) 締まり・粘性弱い。2層に類似する。 |
| 2層 褐色 (10YR4/0) 締まり強く、硬い。粘性あり。2層に類似する。 | 9層 褐色 (10YR4/0) 締まり強く、硬い。粘性弱い。2層に類似する。 |
| 3層 褐色 (10YR4/0) 締まり強く、粘性あり。V層粒子を多量含む。互層に類似する。 | 10層 暗褐色 (10YR3/0) 締まり強く、硬い。粘性弱い。2層に類似する。 |
| 4層 暗褐色 (10YR3/0) 締まり強く、硬い。粘性弱い。B・互層が見じったような土層。 | 11層 褐色 (10YR4/0) 締まり強く、粘性あり。V層粒子を多量含む。互層に類似する。 |
| 5層 暗褐色 (10YR3/0) 締まり・粘性弱い。2層に類似する。 | 12層 暗褐色 (10YR3/0) 締まり強く、硬い。粘性弱い。4層に類似する。 |
| 6層 暗褐色 (10YR3/0) 締まり強く、粘性あり。2層に類似する。 | 13層 暗褐色 (10YR3/0) 締まり・粘性弱い。5層に類似する。 |
| 7層 暗褐色 (10YR3/0) 締まり強く、6層より硬い。粘性あり。V層粒子・炭灰を含む。 | 14層 暗褐色 (10YR5/0) 締まり強く、粘性弱い。V層粒子・ブロック主体。 |



15トレンチ土坑状プラン (4a所) 土層説明

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1層 暗褐色 (10YR2/0) 締まり・粘性弱い。炭化物を含む。 | 4層 暗褐色 (10YR3/0) 締まり・粘性弱い。V層粒子・炭灰を多量含む。 |
| 2層 暗褐色 (10YR2/0) 締まり・粘性弱い。1層に類似する。 | 5層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり・粘性やや強い。V層ブロック・炭灰を含む。 |
| 3層 暗褐色 (10YR2/0) 締まり・粘性弱い。土層破片を含む。 | |

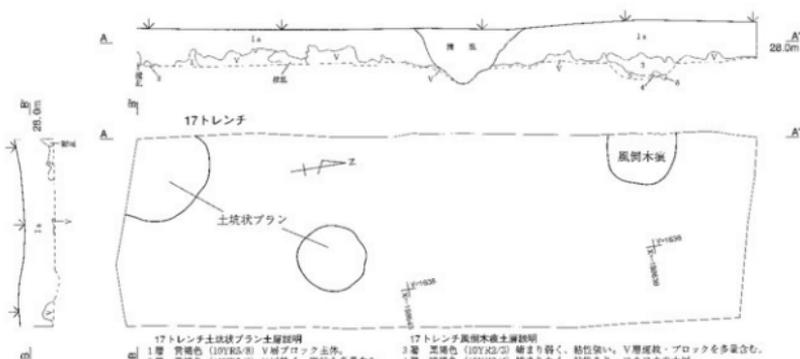
第9図 14・15トレンチ平面図・土層断面図



16トレンチ遺構並段状プラン・土坑状プラン（2ヵ所）土層説明

- 1層 褐色色 (10YR5/4) 締まり・粘り中であり、[土層]に類似する。
- 2層 褐色色 (10YR5/2) 締まり・粘り強い。土器破片・V層ブロックを多量含む。
- 3層 褐色色 (10YR5/2) 締まり・粘り中や強い。土器破片を少量含む。

- 4層 褐色色 (10YR4/4) V層粒を多量含む。
- 5層 灰褐色 (10YR5/6) 締まりあり、粘性弱い。全体にV層の深い凹痕を含む。

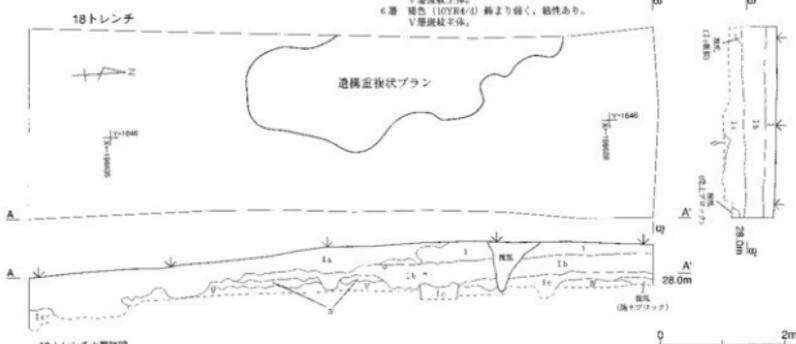


17トレンチ土坑状プラン土層説明

- 1層 黄褐色 (10YR5/8) V層ブロック主体。
- 2層 黄褐色 (10YR5/6) V層粒子・炭粒を多量含む。

17トレンチ風割木炭土層説明

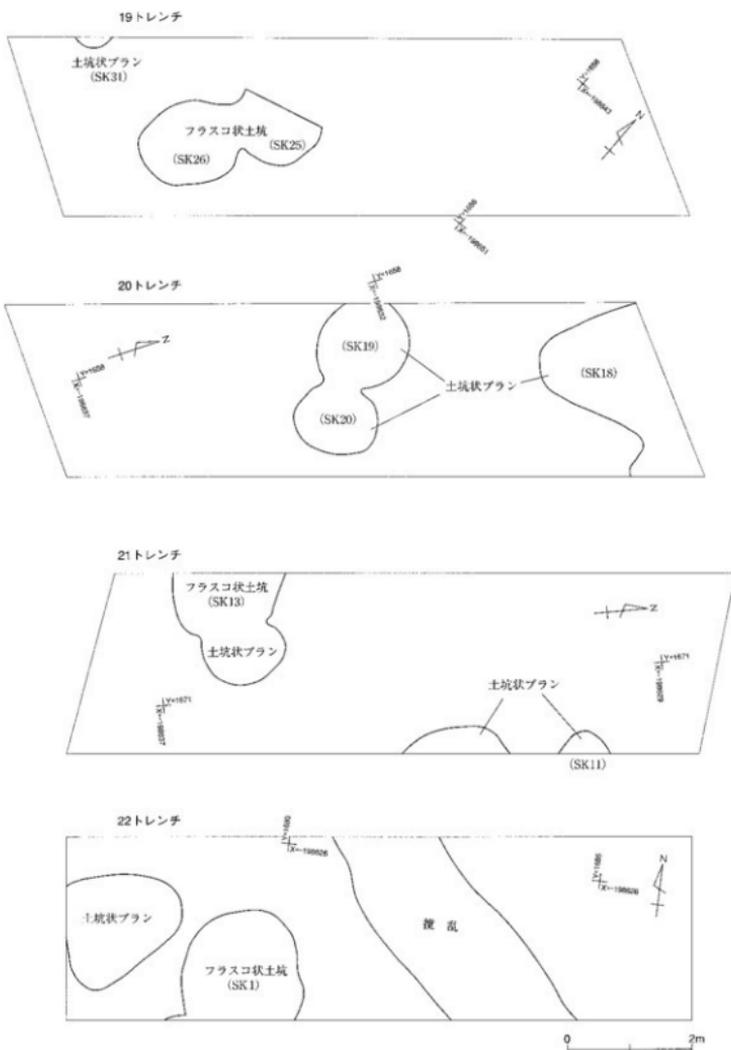
- 3層 灰褐色 (10YR5/2) 締まり弱く、粘性強い。V層底粒・ブロックを多量含む。
- 4層 褐色色 (10YR5/4) 締まり弱く、粘性あり。フコフタの土層。
- 5層 褐色色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。V層底粒主体。
- 6層 褐色色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。V層底粒主体。



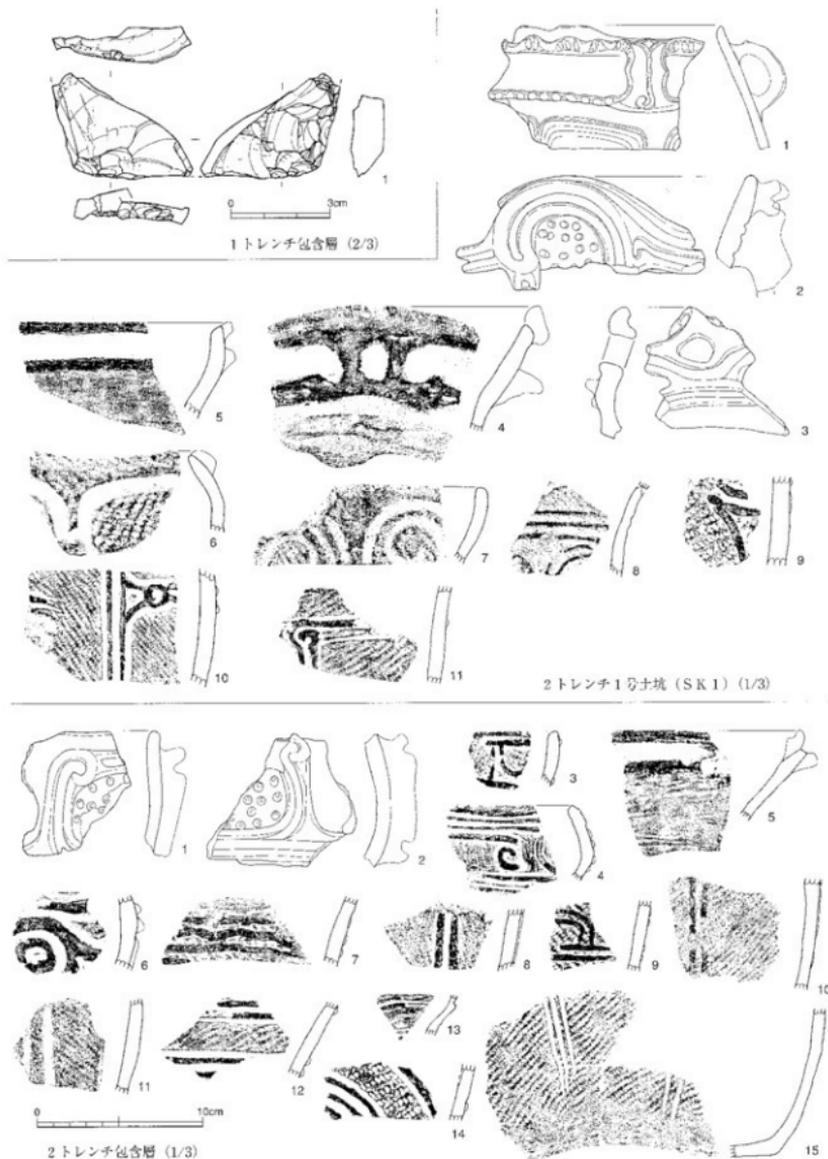
18トレンチ土層説明

- 1層 灰黄褐色粘土 (10YR5/2) と褐色色 (10YR4/6) の塊層状の互層。民家の上層跡か？

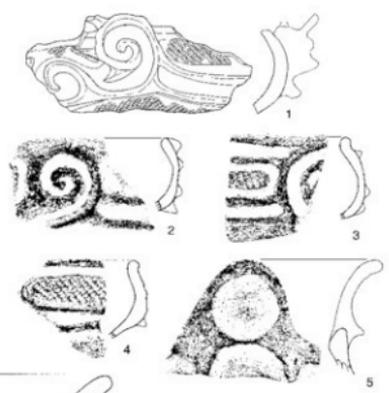
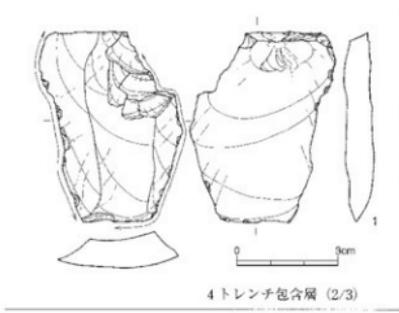
第10図 16・17・18トレンチ平面図・土層断面図



第11図 19・20・21・22トレンチ平面図

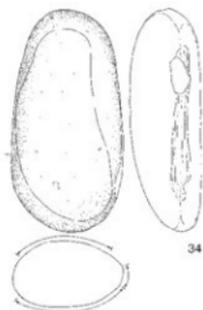
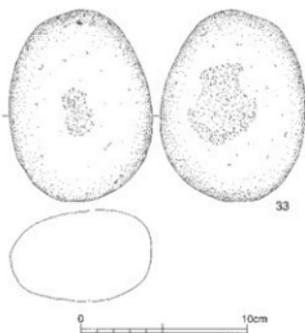
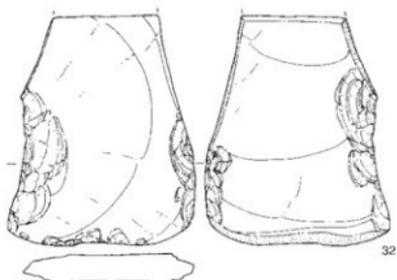
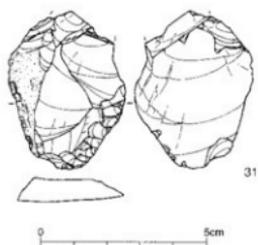
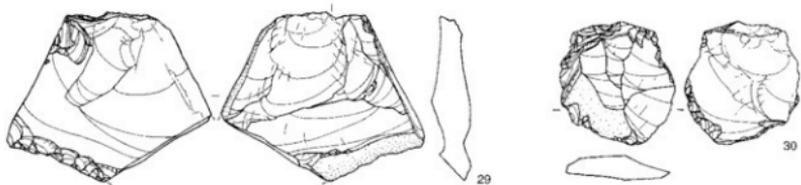
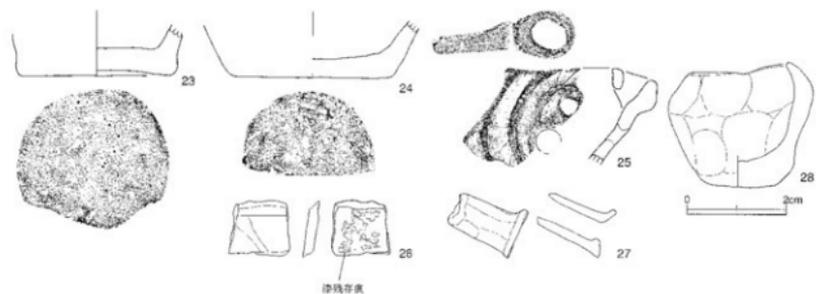


第12図 1 トレンチ包含層、2 トレンチ1号土坑 (SK1)・包含層出土遺物



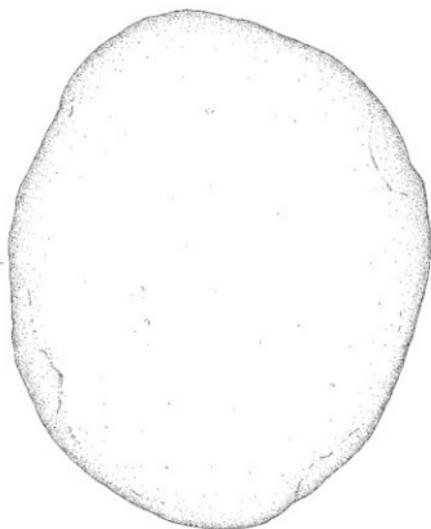
5 トレンチ包含層 (1) (1/3)

第13図 4 トレンチ包含層、5 トレンチ包含層出土遺物 (1)

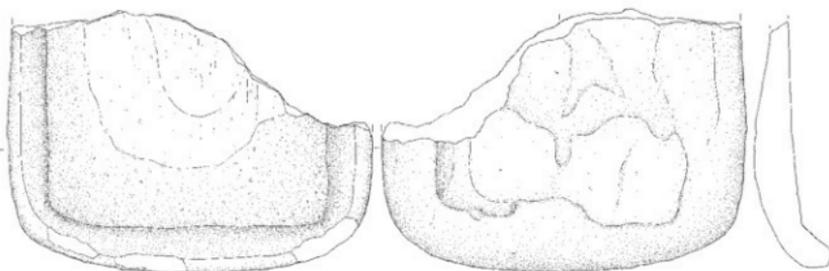


(23~27・33・34-1/3, 28-1/1, 29-32-2/3)
5 トレンチ包含層 (2)

第14図 5 トレンチ包含層出土遺物 (2)



35

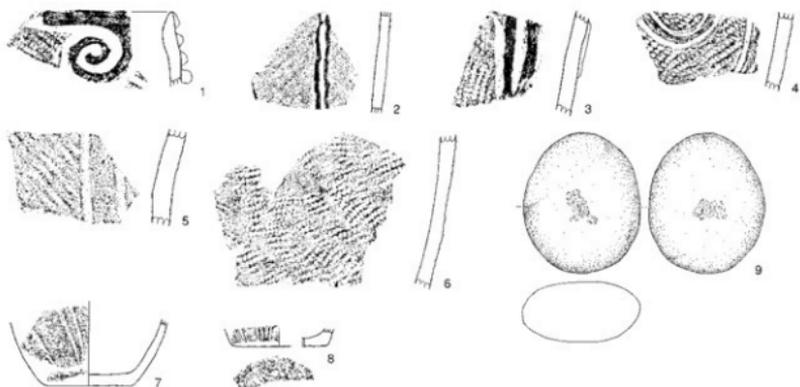


36

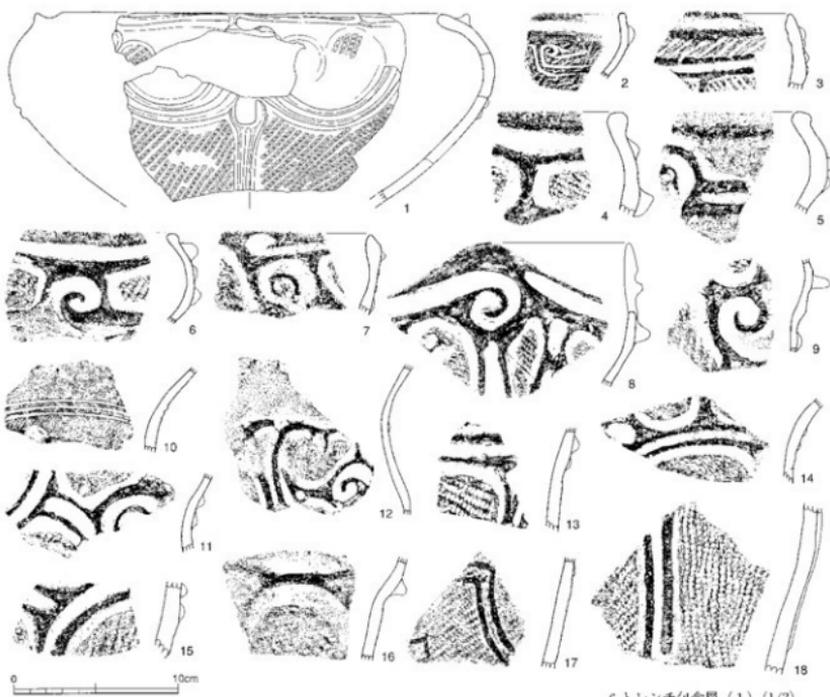


5 トレンチ包含層 (3) (1/3)

第15図 5 トレンチ包含層出土遺物 (3)

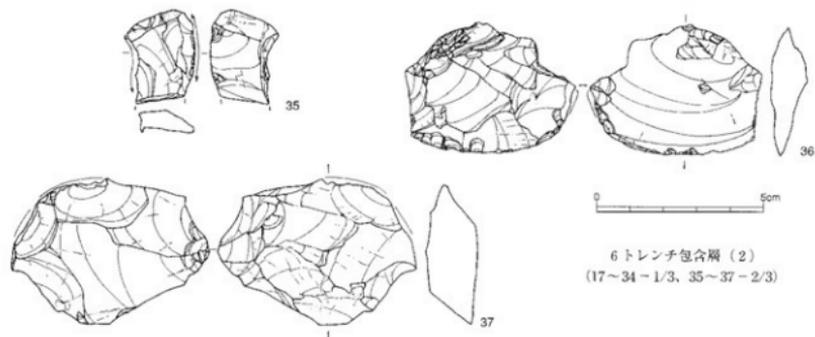
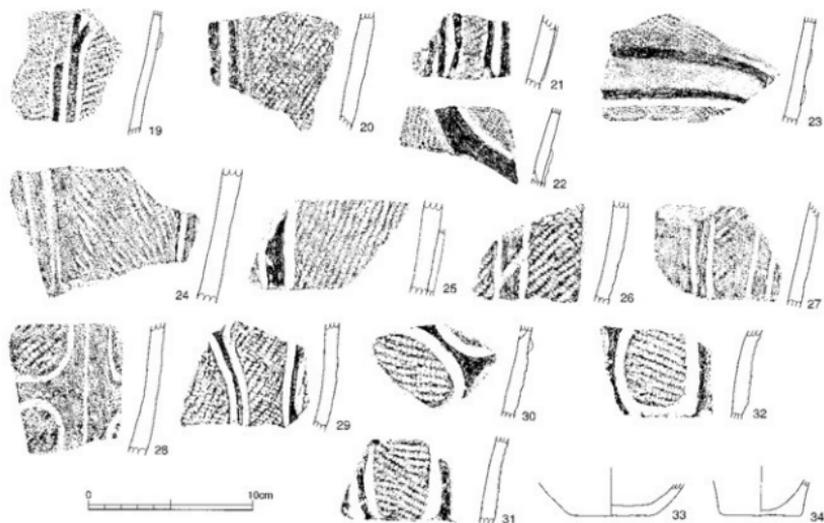


6 トレンチ1号住居跡 (S11) (1/3)



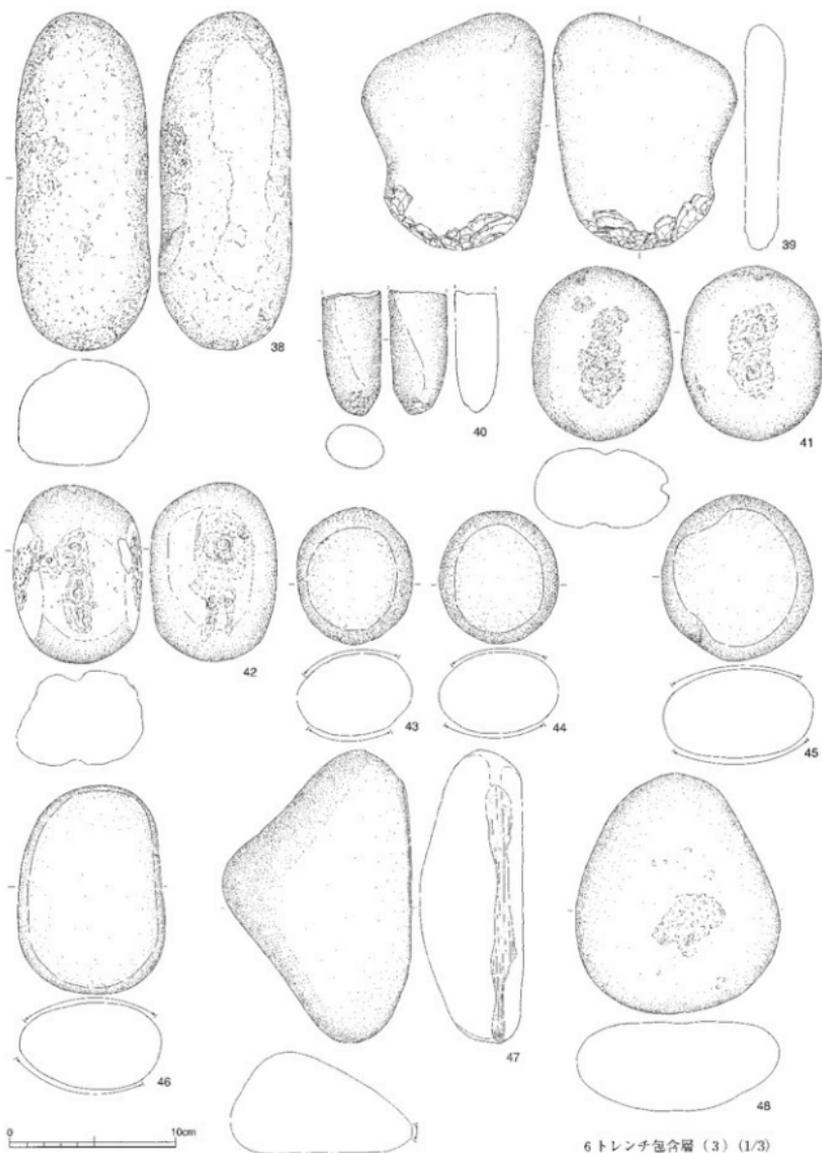
6 トレンチ包含層 (1) (1/3)

第16図 6 トレンチ1号住居跡 (S11)・包含層出土遺物 (1)

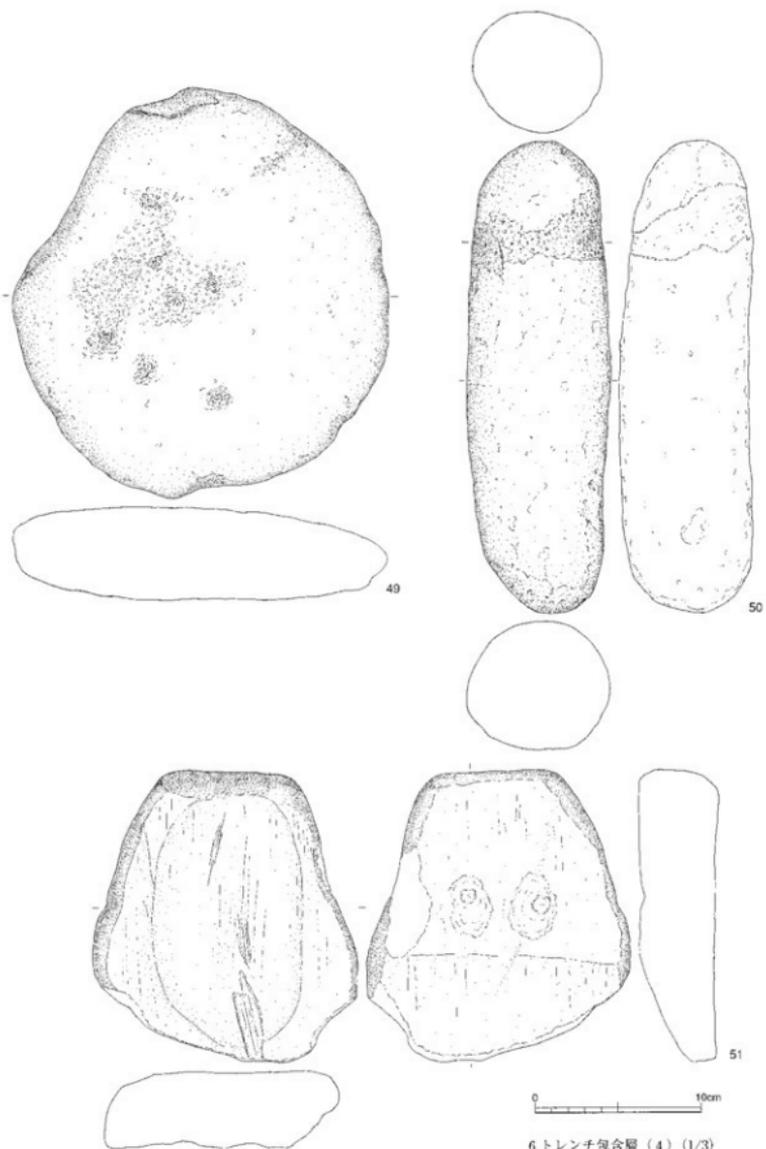


6 トレンチ包含層 (2)
(17~34-1/3, 35~37-2/3)

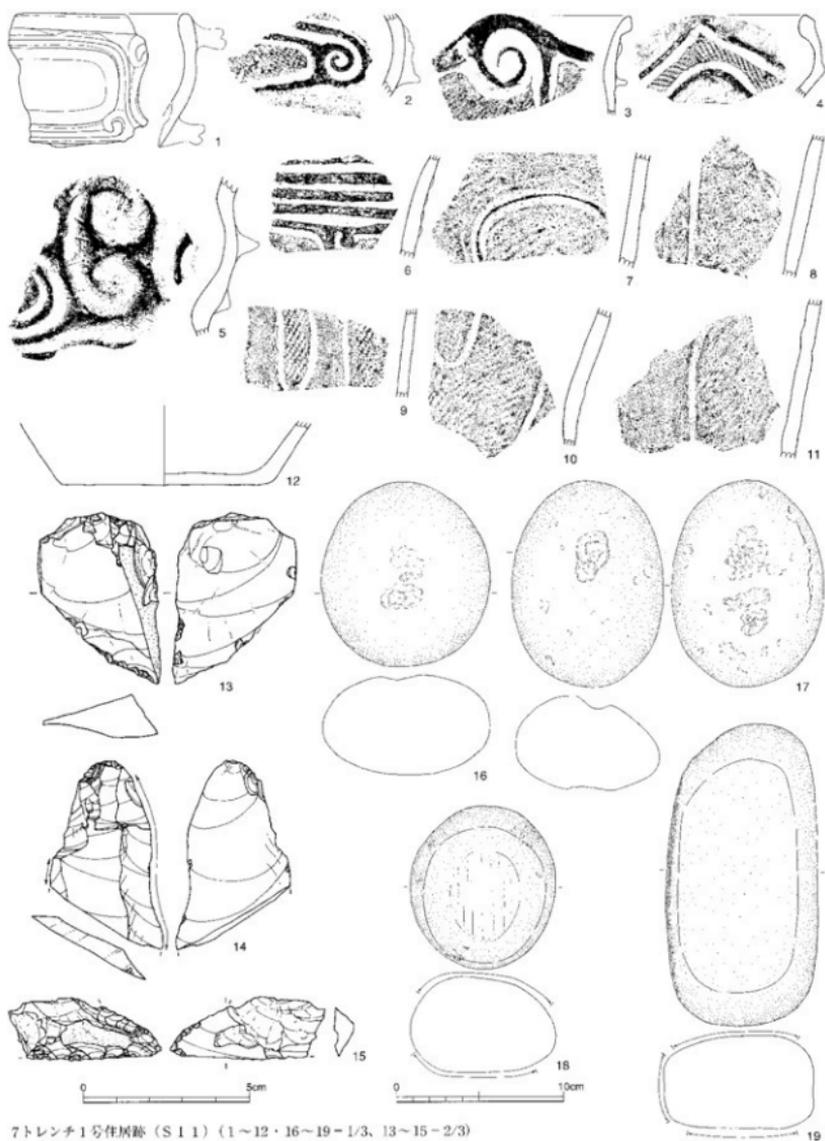
第17図 6 トレンチ包含層出土遺物 (2)



第18図 6トレンチ包含層出土遺物(3)

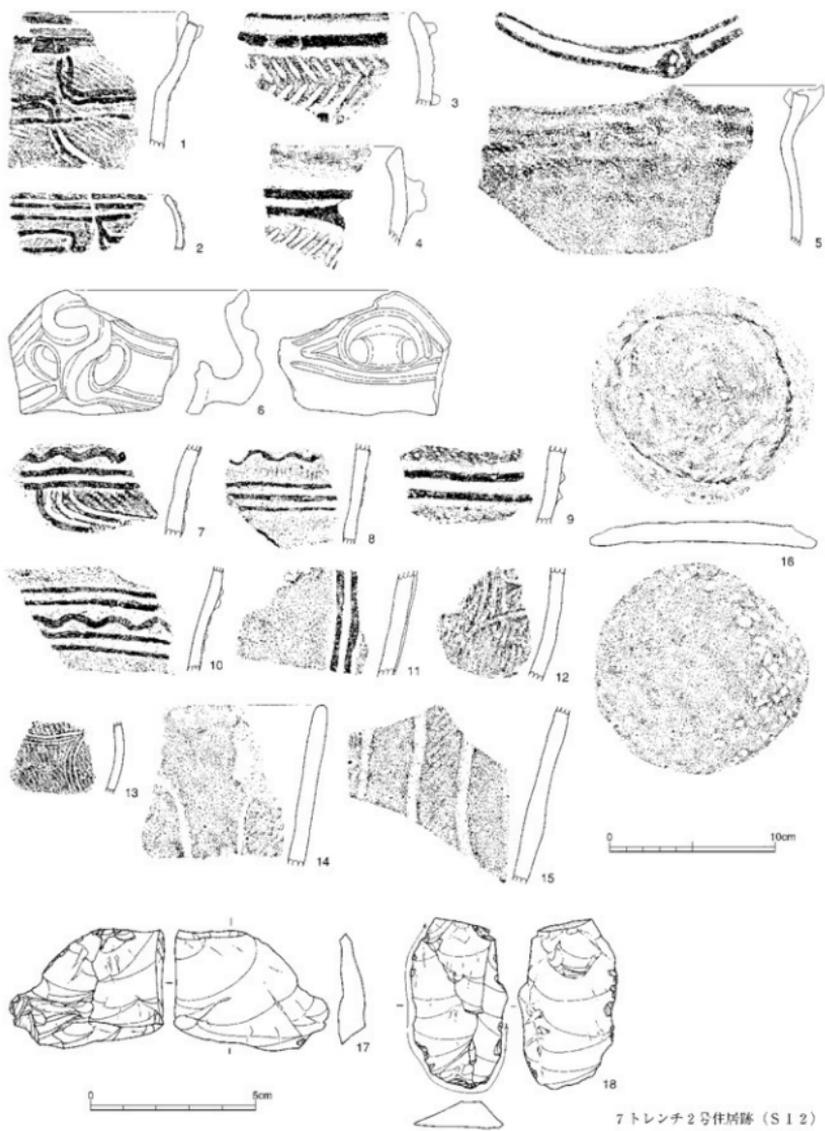


第19図 6トレンチ包含層出土遺物 (4)



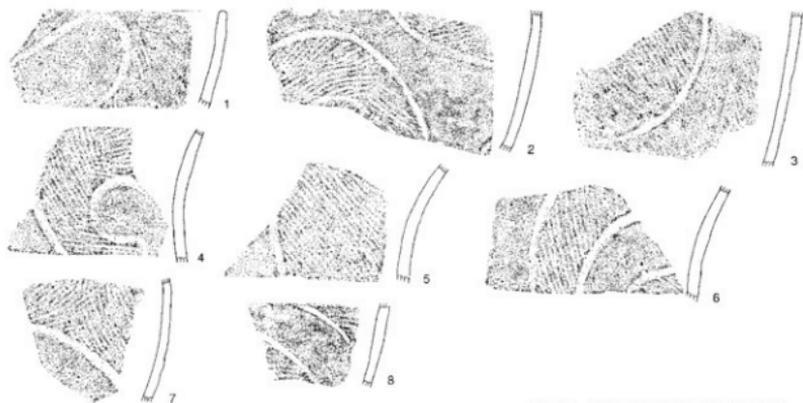
7トレンチ1号住居跡 (S11) (1~12・16~19-1/3, 13~15-2/3)

第20圖 7トレンチ1号住居跡 (S11) 出土遺物

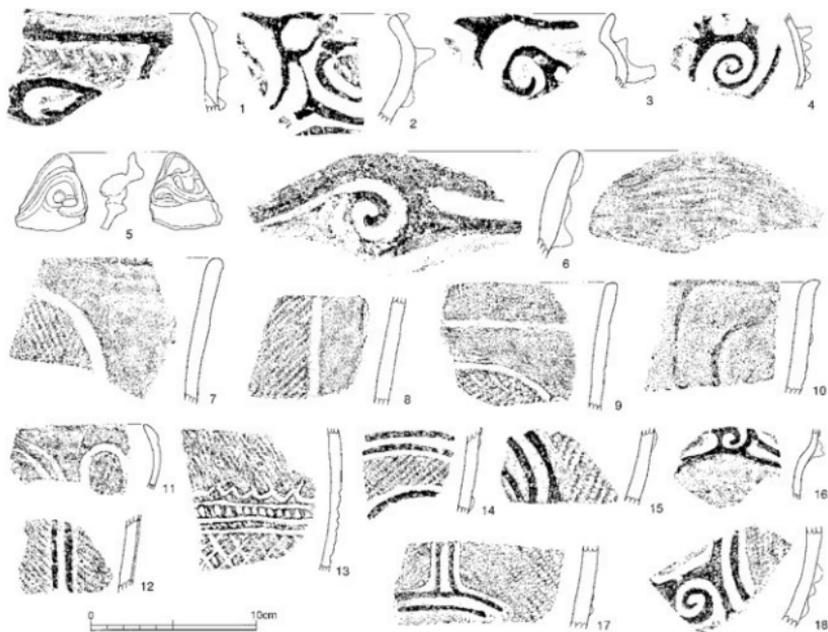


7トレンチ2号住居跡(S12)
(1~16-1/3, 17・18-2/3)

第21図 7トレンチ2号住居跡(S12)出土遺物

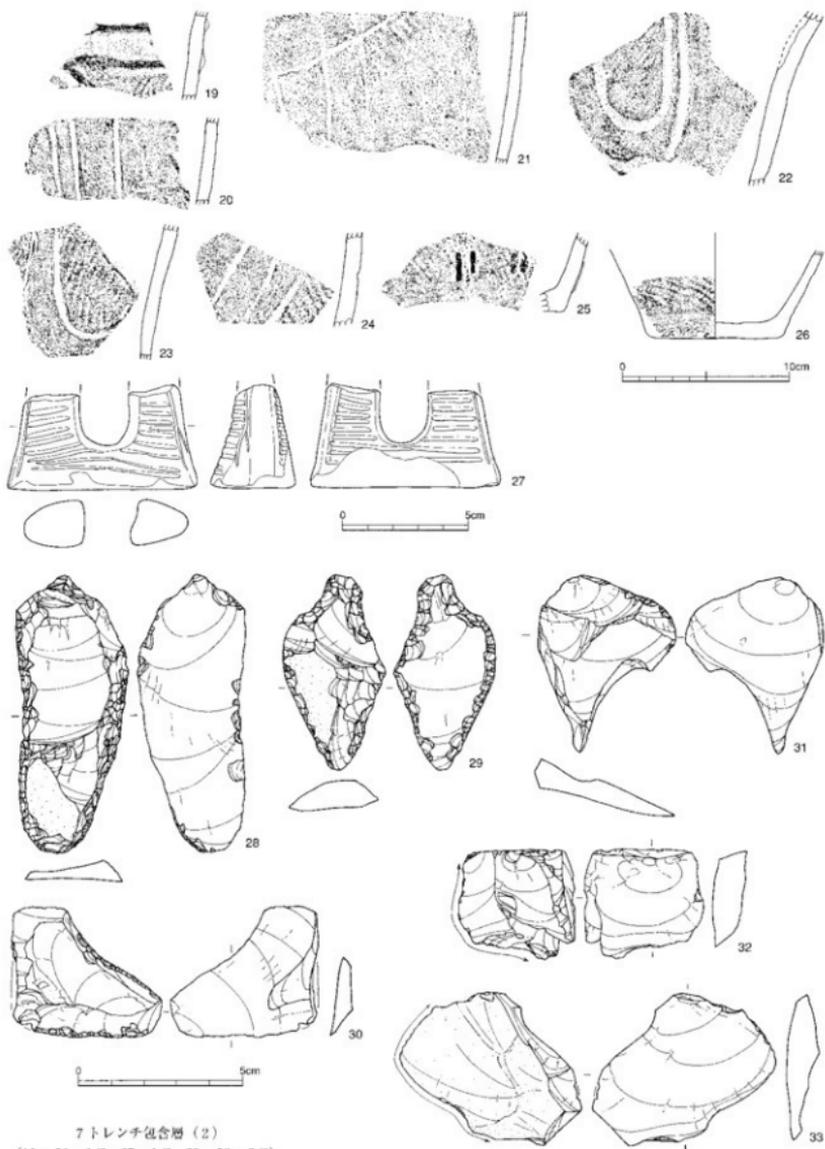


7トレンチ1号埋設土器 (SX1) (1/3)



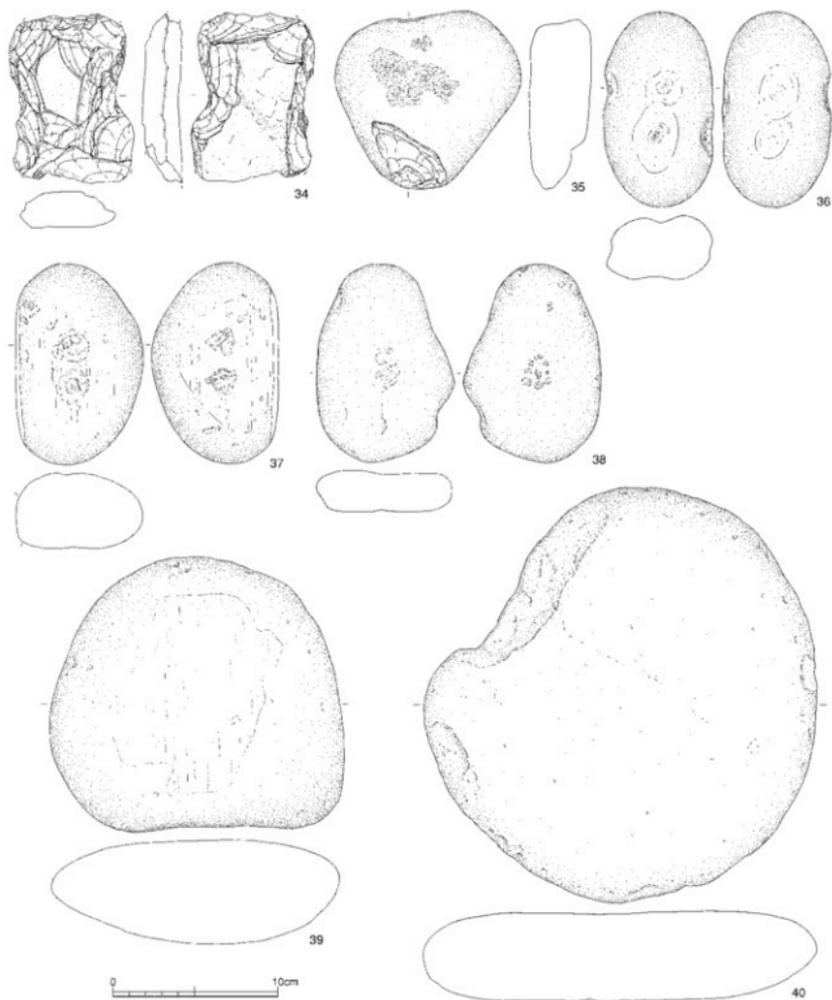
7トレンチ包含器 (1) (1/3)

第22図 7トレンチ1号埋設土器 (SX1)・包含層出土遺物 (1)



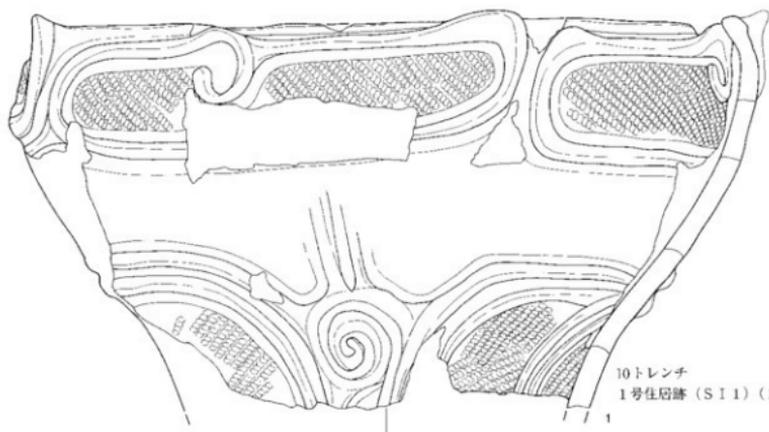
7トレンチ包含層(2)
 (19~26-1/3, 27-1/2, 28~33-2/3)

第23図 7トレンチ包含層出土遺物(2)



7トレンチ包含層 (3) (1/3)

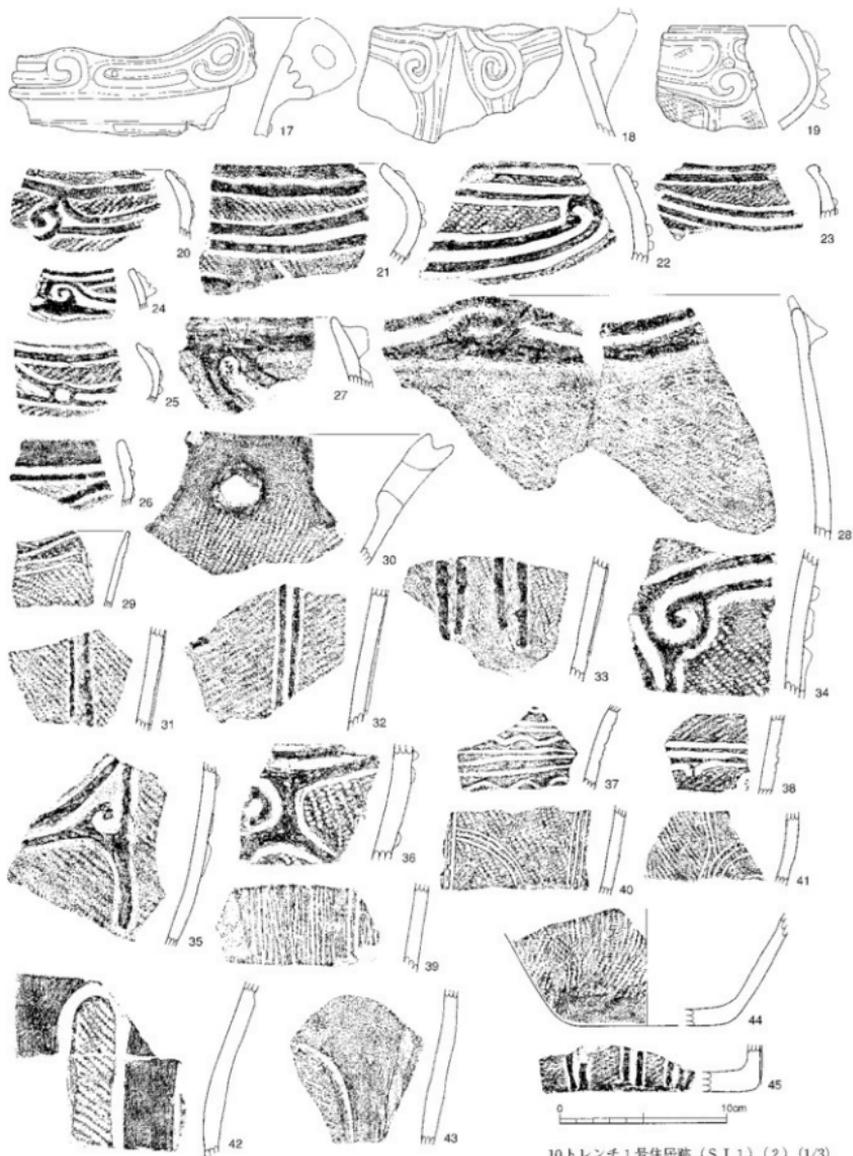
第24図 7トレンチ包含層出土遺物 (3)



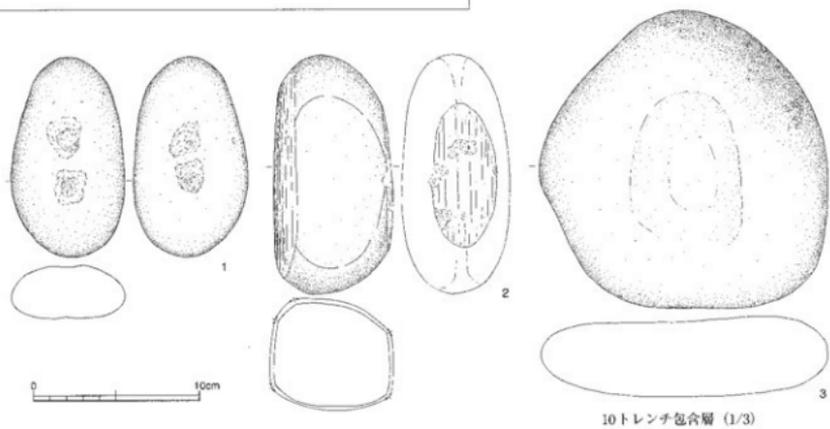
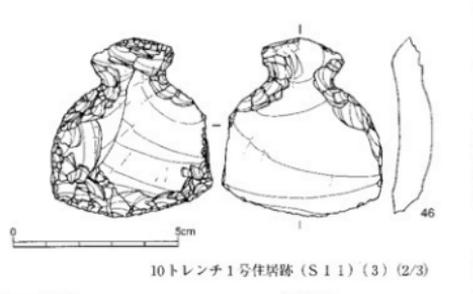
10トレンチ
1号住居跡 (S11) (1) (1/3)



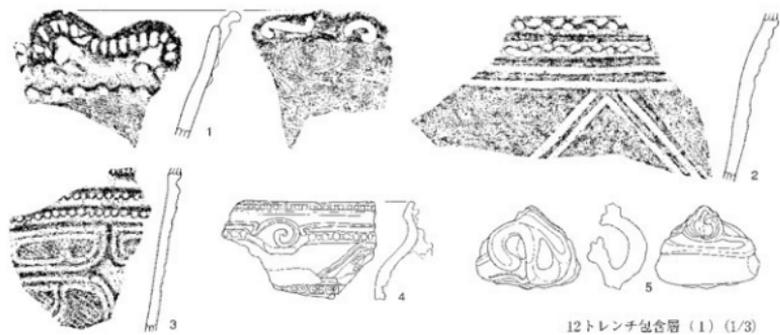
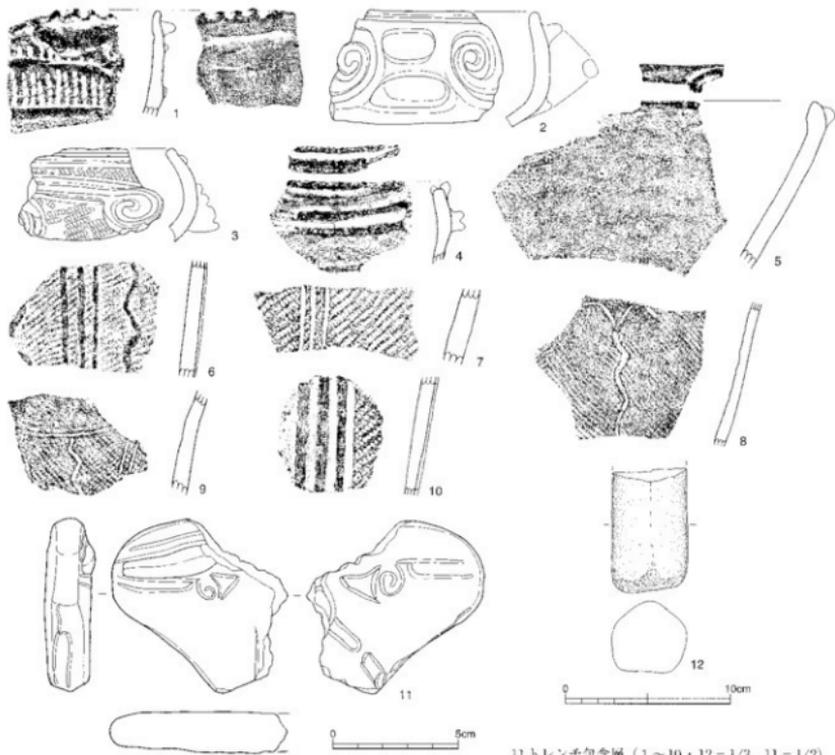
第25図 10トレンチ1号住居跡 (S11) 出土遺物 (1)



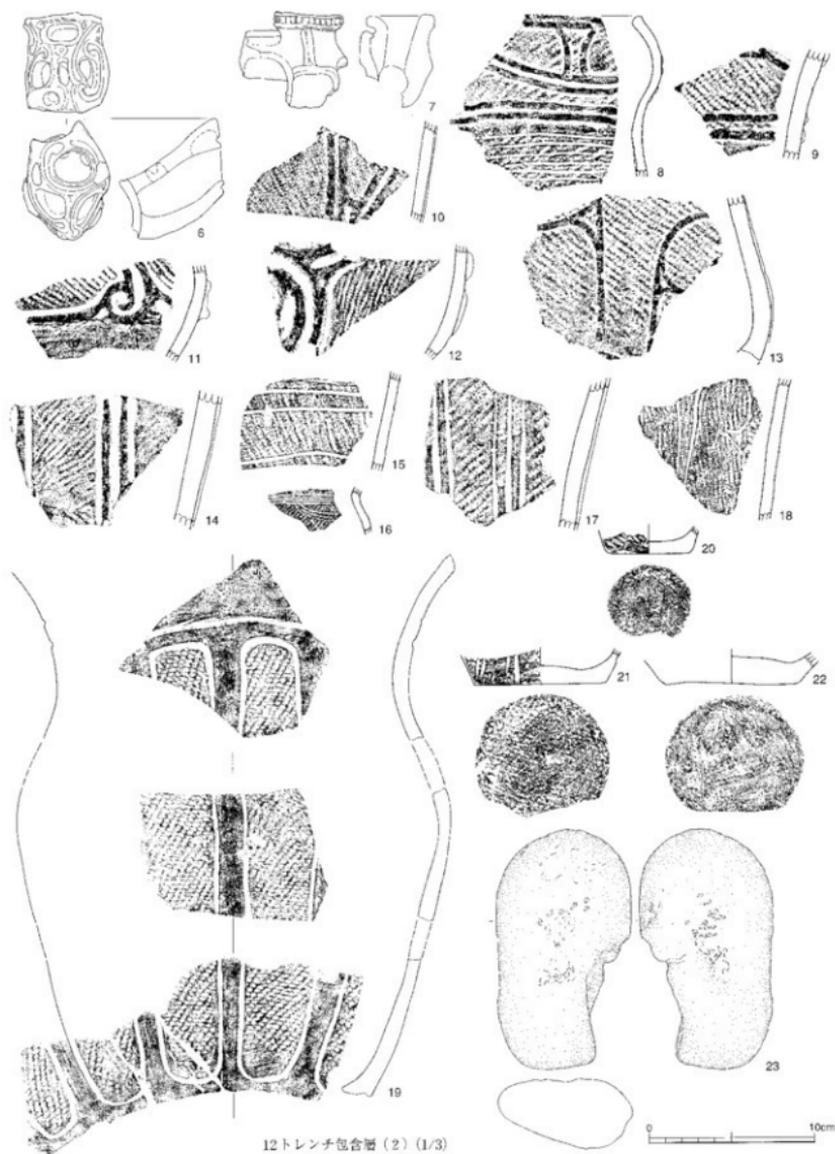
第26図 10トレンチ1号住居跡 (S11) 出土遺物 (2)



第27図 10トレンチ1号住居跡 (S11) (3)・包含層出土遺物

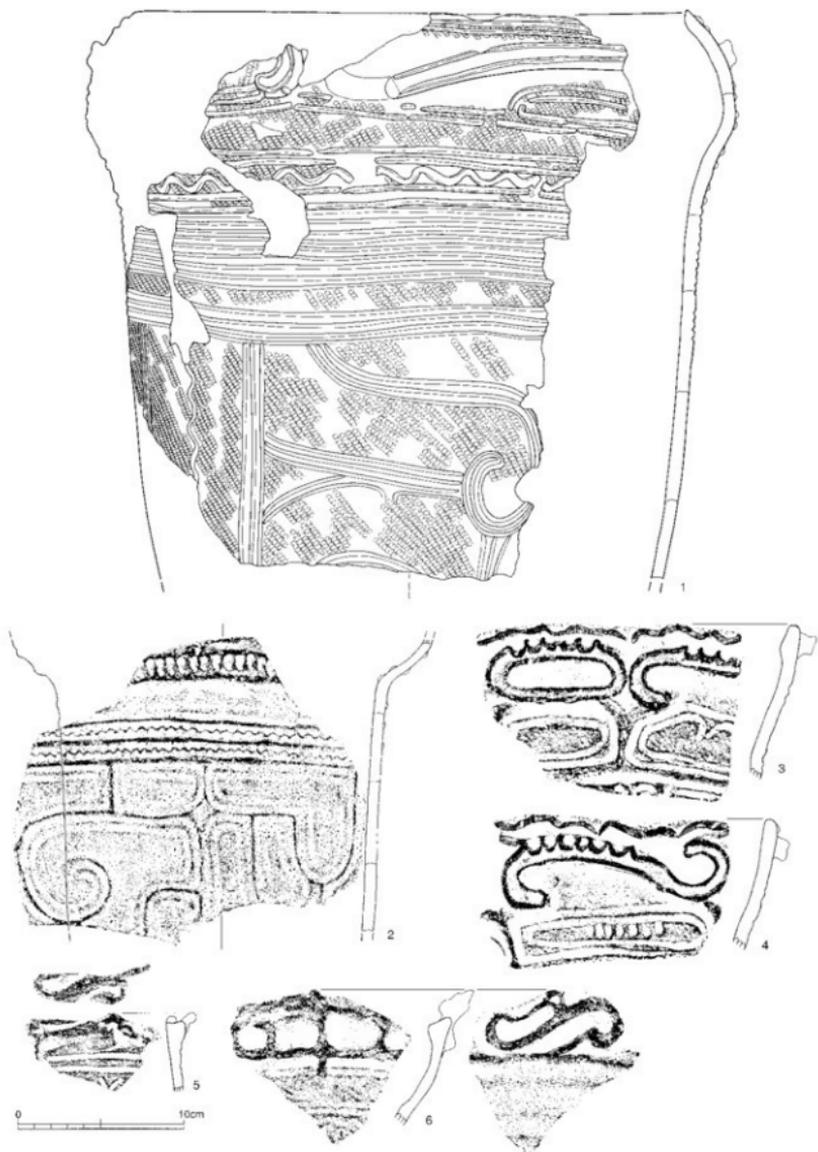


第28図 11トレンチ包含層、12トレンチ包含層出土遺物 (1)



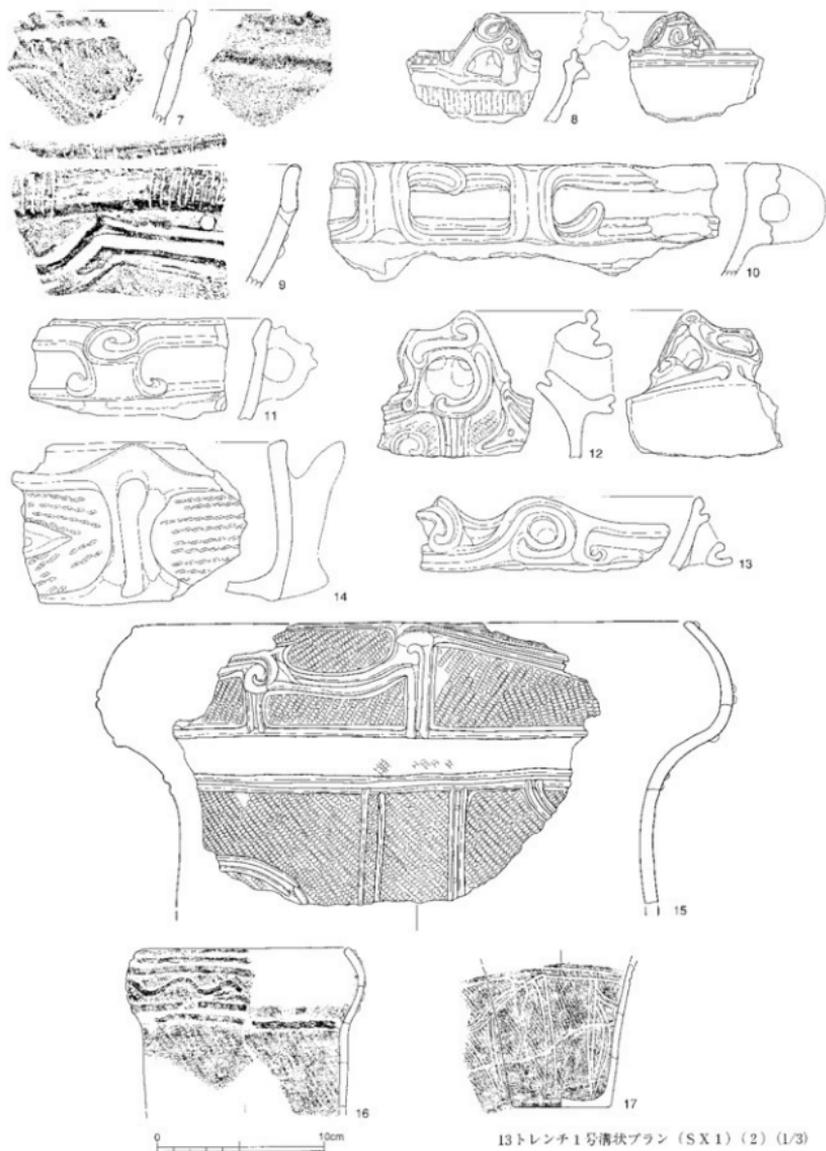
12トレンチ包含層(2)(1/3)

第29図 12トレンチ包含層出土遺物(2)

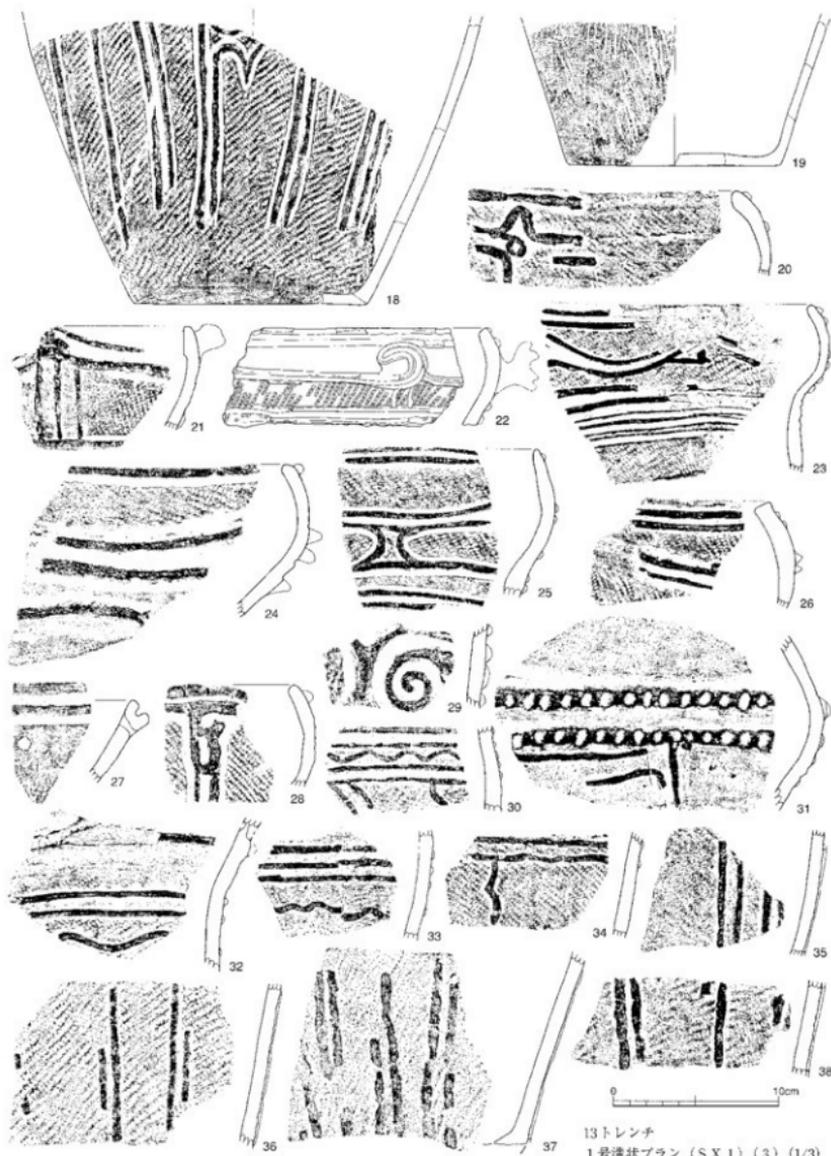


13トレンチ1号溝状プラン (SX1) (1) (1/3)

第30図 13トレンチ1号溝状プラン (SX1) 出土遺物 (1)



第31図 13トレンチ1号溝状プラン (SX1) 出土遺物 (2)



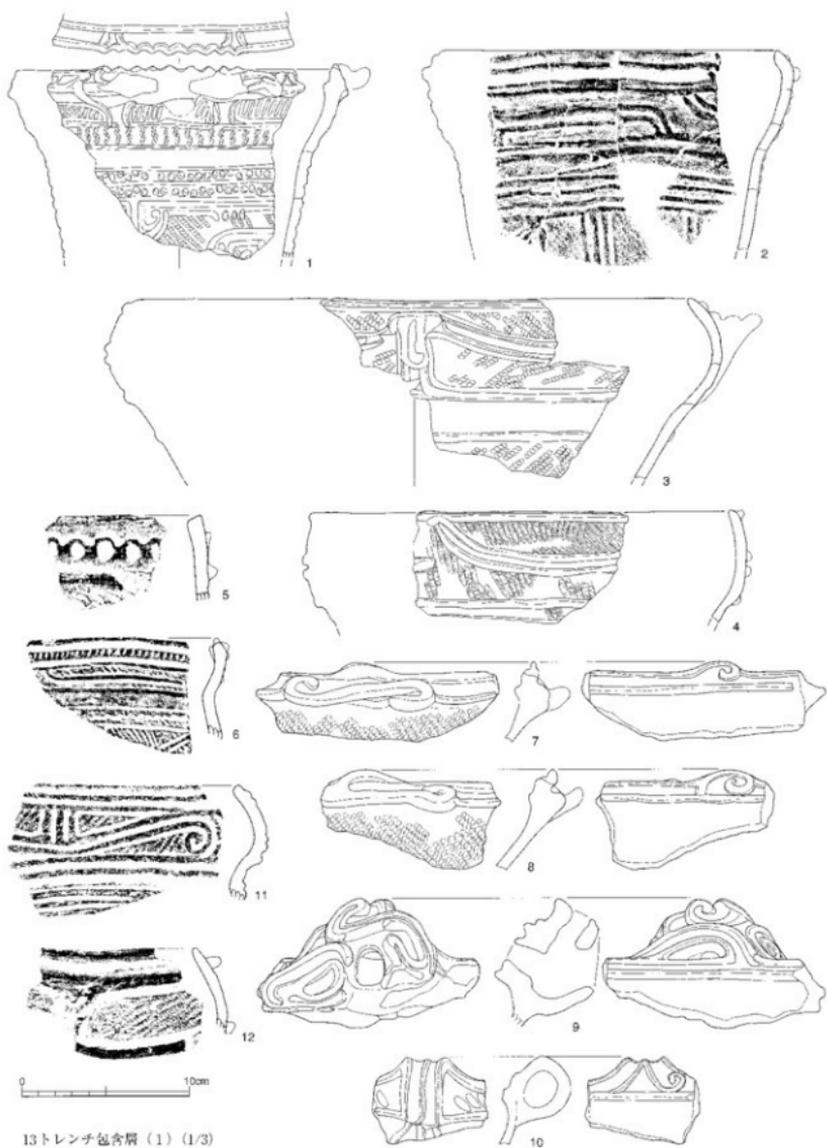
第32図 13トレンチ1号溝状プラン (SX1) 出土遺物 (3)



13トレンチ1号溝状プラン (SX1) (4)

(39~43・51-1/3, 44~53-2/3)

第33図 13トレンチ1号溝状プラン (SX1) 出土遺物 (4)



13トレンチ包含層 (1) (1/3)

第34図 13トレンチ包含層出土遺物 (1)



13トレンチ包含層 (2) (1/3)

第35図 13トレンチ包含層出土遺物 (2)

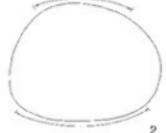
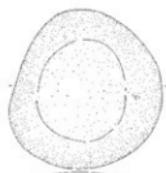
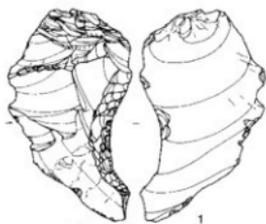


13トレンチ包含層(3) (31~38-2/3, 39-1/3)

第36圖 13トレンチ包含層出土遺物(3)



15 トレンチ包含層 (1/3)



18 トレンチ包含層 (1-2/3, 2-1/3)



17 トレンチ包含層 (1/3)

第37図 15・17・18 トレンチ出土遺物

確認調査トレンチ出土遺物観察表

第2表 1 トレンチ包含層出土遺物観察表

土層 法量: cm, (): 残存値; 推定数値
石群 大きさ: mm, 重量: g, (): 残存値

検出番号	層位	器種	石材	長	幅	厚	重量	遺存度	特徴	登録番号	写真掲載
第12図1	I層	スクレイパー	建築頁岩	(32.2)	(42.4)	10.5	13.2	右側欠損		K001	図版30-1

第3表 2 トレンチ1号土坑(SK1)出土遺物観察表

検出番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真掲載
第12図2	上層	深鉢・口縁部		割落激しい 口縁部: 隆帯による横位文様区画 隆帯隆部はひだ状微凸把手上に厚凸貼付け 頸部: 横位横凹文区画	A001	図版13-1
第12図3	上層	深鉢・口縁部		割落激しい 口縁部隆帯状の舌状突起(小舌状) 隆帯区画内凹形横突文	A002	図版13-2
第12図4	上層	深鉢・口縁部		割落激しい 口縁部隆帯状の舌状突起(小舌状) 隆帯区画内凹形横突文	A003	図版13-3
第12図5	上層	深鉢・口縁部		口縁部の間き大 隆帯による横位の逆化した渦巻文	A004	図版13-4
第12図6	上層	深鉢・胴部		口縁部下に1条太沈線	A005	図版13-5
第12図7	上層	深鉢・胴部		口縁部内凹 地文縄文Lを充満施文 横位帯形隆帯区画	A006	図版13-6
第12図8	上層	深鉢・胴部		沈線による渦巻・弧状区画文	A007	図版13-7
第12図9	上層	深鉢・胴部		横位・弧状の逆線 割落激しい	A008	図版13-8
第12図10	上層	深鉢・胴部		地文縄文L 1 部状に隆帯貼付	A009	図版13-9
第12図11	上層	深鉢・胴部		地文縄文L 1 部状に隆帯貼付 隆帯区画内に隆帯貼付による文様 縄文充満施文 割落激しい	A010	図版13-10
第12図11	上層	深鉢・胴部		地文縄文L 1 隆帯+沈線による縦・横位の文様区画	A011	図版13-11

第4表 2 トレンチ包含層出土遺物観察表

検出番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真掲載
第12図1	I層	深鉢・口縁部		隆帯+沈線による横位の渦巻・帯形隆帯区画 区画内に凹形刺突文	A012	図版13-1
第12図2	I層	深鉢・口縁部		1と同一部作	A013	図版13-2
第12図3	I層	深鉢・口縁部		割落激しい 地文縄文不明 貼付隆帯による横位文様区画 区画内濃帯・弧状の逆付隆帯	A014	図版13-3
第12図4	I層	深鉢・口縁部		割落激しい 地文縄文L 1 部状に隆帯貼付 隆帯区画内凹形横突文	A015	図版13-4
第12図5	I層	深鉢・口縁部		口縁部文様隆帯状 口縁部下に沈線1条 沈線下に凹状隆帯	A016	図版13-5
第12図6	I層	深鉢・口縁部		口縁部欠損 隆帯+沈線による横位渦巻文区画 区画内にLの縄文	A017	図版13-6
第12図7	I層	深鉢・胴部		地文に2段の縄文隆帯 頸部は不明隆帯 横位の縦位の隆帯貼付	A018	図版13-7
第12図8	I層	深鉢・胴部		帯形隆帯 地文縄文L 1 部状に隆帯貼付	A019	図版13-8
第12図9	I層	深鉢・胴部		帯形隆帯 地文縄文L 1 部状に隆帯貼付	A020	図版13-9
第12図10	I層	深鉢・胴部		帯形隆帯 地文縄文L 1 部状に隆帯貼付	A021	図版13-10
第12図11	I層	深鉢・胴部		帯形隆帯 地文縄文L 1 部状に隆帯貼付	A022	図版13-11
第12図12	I層	深鉢・胴部		地文縄文L 1 部状に隆帯貼付	A023	図版13-12
第12図13	I層	小形深鉢・胴部		地文縄文L 1 部状に隆帯貼付	A024	図版13-13
第12図14	I層	深鉢・胴部		地文縄文L 1 部状に隆帯貼付	A025	図版13-14
第12図15	I層	深鉢・底部		地文縄文L 1 部状に隆帯貼付	A026	図版13-15

第5表 4 トレンチ包含層出土遺物観察表

検出番号	層位	器種	石材	長	幅	厚	重量	遺存度	特徴	登録番号	写真掲載
第13図1	I層	段造刺突状の ある刮削	建築頁岩	58.5	44.1	10.0	25.5	完形	両側縁に微細凹縁	K002	図版30-1

第6表 5 トレンチ包含層出土遺物観察表

検出番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真掲載
第13図1	Ib-2層	深鉢・口縁部		地文縄文L 1 部状に隆帯貼付 隆帯による横位文様区画 渦巻文 渦巻凸突起 表面カーブ状付着物	A027	図版14-1
第13図2	Ib-2層	深鉢・口縁部		割落激しい 地文不明隆帯 貼付隆帯+沈線による横位渦巻文区画	A028	図版14-2
第13図3	Ib-2層	深鉢・口縁部		割落激しい 地文不明隆帯 貼付隆帯+沈線による横位渦巻文区画	A029	図版14-3
第13図4	Ib-2層	深鉢・口縁部		地文縄文L 1 部状に隆帯貼付	A030	図版14-4
第13図5	Ib-2層	深鉢・口縁部		口縁部舌状突起 18. 字状微隆帯 区画内凹文	A031	図版14-5
第13図6	Ib-2層	深鉢・口縁部		貼付隆帯+沈線による帯形文様区画 区画内横位列点文	A032	図版14-6
第13図7	Ib-2層	深鉢・口縁部		小舌状 貼付隆帯+沈線横位文様区画 波瀾部に渦巻貼付隆帯 隆帯大半剥落 区画内縄文L 1	A033	図版14-7
第13図8	Ib-2層	深鉢・口縁部		やや凹状を呈する微隆帯隆帯 区画内の縄文隆帯不明隆帯(?)	A034	図版14-8
第13図9	Ib-2層	深鉢・口縁部		帯形隆帯隆帯+沈線	A035	図版14-9
第13図10	Ib-2層	深鉢・口縁部		縦線小さい波状口縁 地文縄文L 1 1 部状に隆帯 口縁部下に沈線	A036	図版14-10
第13図11	Ib-2層	深鉢・口縁部		沈線による横位及び帯形文様区画 区画内縄文Lを充満 帯形隆帯	A037	図版14-11
第13図12	Ib-2層	深鉢・口縁部		地文縄文L 1 1 部状に隆帯	A038	図版14-12
第13図13	Ib-2層	深鉢・口縁部		地文縄文L 1 1 部状に隆帯	A039	図版14-13

棟号番号	層位	部形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真掲載					
第13図14	I b-2層	深鉢・口縁部		口縁部文様残しい 貼付隆帯+沈線 渦巻状小突起 洗状口縁	A010	図版14-14					
第13図15	I b-2層	深鉢・胴部		貼付隆帯+沈線による渦巻文	A011	図版14-15					
第13図16	I b-2層	深鉢・胴部上平		貼付隆帯+沈線横位渦巻状文様区画 区画内へラ状施文具より斜へ横位点文	A042	図版14-16					
第13図17	I b-2層	深鉢・胴部		地文横文L R 洗状隆帯縦・横貼付	A043	図版14-17					
第13図18	I b-2層	深鉢・胴部		地文横文L R 貼付隆帯+沈線による横位区画文	A044	図版14-18					
第13図19	I b-2層	深鉢・胴部		曲線的な貼付隆帯 区画内横文L R 充填	A045	図版14-19					
第13図20	I b-2層	深鉢・胴部上平		斜位点文い 地文横文L R? 太沈線による通「U」字あるいは波状垂直筋横文	A046	図版14-20					
第13図21	I b-2層	深鉢・胴部		太沈線による曲線区画 区画内横文L Rを充填	A047	図版14-21					
第13図22	I b-2層	深鉢・胴部		縦位横沈線による列点文	A048	図版14-22					
第14図23	I b-2層	深鉢・底部	- x - x (10)		A049	図版14-23					
第14図24	I b-2層	深鉢・底部	- x - x (10)		A050	図版14-24					
第14図25	I b-2層	洗鉢口部?		洋口部小突起 隆帯による渦巻文 外面赤色顔料塗付	A051	図版14-25					
第14図26	I b-2層	?・胴部		沈線 裏面に塗?付着	A052	図版14-26					
第14図27	I b-2層	洋口十部+洋口部		体部との接合面良好に残る	A053	図版14-27					
第14図28	I b-2層	字径1.5×1.5	2.1×2.5×1.5~2.9	擦痕痕	A054	図版14-28					
	I b-2層	焼結土塊		手摺	F003	図版14-29 (写真資料)					
棟号番号	層位	部形	石材	長	幅	厚	重量	遺存度	特徴	登録番号	写真掲載
第14図29	I b-2層	スタレバナー	珪質頁岩	51.9	62.0	11.8	35.1	右側欠損	下辺方部	K003	図版31-29
第14図30	I b-2層	スタレバナー	珪質頁岩	37.8	35.0	7.5	14.4	欠損	下辺方部	K004	図版31-30
第14図31	I b-2層	スタレバナー	珪質頁岩	48.2	35.6	7.2	17.6	上端欠損	下辺方部	K005	図版31-31
第14図32	I b-2層	スタレバナー	凝灰岩	70.8	56.5	8.5	60.3	上端欠損	両側下部に刃部 左側刃部は斜め切り 下辺に縦筋模様	K006	図版31-32
第14図33	I b-2層	凹石	閃緑岩	117.2	87.0	56.8	855	欠損	両面中央に磨打による深み裏面は広く斜め磨打痕	K044	
第14図34	I b-2層	磨石	安山岩	136.1	67.8	40.7	505	欠損	両面を上側縁を使用 右側縁に面取り状の磨痕	K045	
第15図35	I b-2層	石蓋	安山岩	317.9	256.8	84.4	9000	欠損	正面を使用面とする扁平石蓋	K046	図版31-35
第15図36	I b-2層	石蓋	磨石	(161.9)	221.9	29.2	1070	上半欠損	両九角方形 縁取り・裏面御座作り出し(施磨者執業者) 使用面中央部から	K047	図版31-36

第7表 6トレンチ1号住居跡(S11)出土遺物観察表

棟号番号	層位	部形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真掲載					
第16図1	I-2層	深鉢・口縁部		地文横文L R 貼付隆帯+沈線 渦巻状隆帯横位区画	A055	図版15-1					
第16図2	I-2層	深鉢・胴部		磨滅激しい 地文横文L R? 2条1組貼付隆帯横位区画	A056	図版15-2					
第16図3	I-2層	深鉢・胴部		地文横文L R 2条1組貼付隆帯+沈線縦位区画	A057	図版15-3					
第16図4	I-2層	深鉢・胴部		地文横文L R 2条1組渦巻状沈線	A058	図版15-4					
第16図5	I-2層	深鉢・胴部		磨滅激しい 地文横文L R? 2条1組縦位平沈線 磨滅横文	A059	図版15-5					
第16図6	I-2層	深鉢・胴部		地文斜方向縦横文L R	A060	図版15-6					
第16図7	I-2層	深鉢・底部	- x - x 5.5	磨滅激しい 縦文不明 2条1組縦位横沈線	A061	図版15-7					
第16図8	I-2層	深鉢・底部		3条1組縦位横沈線	A062	図版15-8					
棟号番号	層位	部形	石材	長	幅	厚	重量	遺存度	特徴	登録番号	写真掲載
第16図9	上層	凹石	閃緑岩	86.5	70.7	37.2	325	欠損	両面に磨打による浅い窪み	K068	

第8表 6トレンチ包合層出土遺物観察表

棟号番号	層位	部形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真掲載
第16図10	I	深鉢・口縁部		口縁部内溝 二重山形風 地文横文L R L? 口縁部2条1組貼付隆帯+沈線による縦帯 裏面縦位区画 器表両部までケル状物質付着	A063	図版15-1
第16図11	I b-II b, S11	深鉢・口縁部		磨滅激しい 地文横文不明 口唇部に段 2条1組横沈線縦位渦巻文	A064	図版15-2
第16図12	I b-II b, S11上層	深鉢・口縁部		2条1組の貼付隆帯隆帯+沈線区画 区画内横沈線	A065	図版15-3
第16図13	I b-II b, S11上層	深鉢・口縁部		磨滅激しい 貼付隆帯+沈線 口縁部横位窓状区画 区画内横文L R	A066	図版15-4
第16図14	I b-II b, S11	深鉢・口縁部		磨滅激しい 貼付隆帯+沈線 横位窓状窓+窓状状区画 地文不明	A067	図版15-5
第16図15	I	深鉢・口縁部		磨滅激しい 地文横文L R? 貼付隆帯+沈線 渦巻文・縦位窓状区画	A068	図版15-6
第16図16	I b-II b, S11	深鉢・口縁部		磨滅激しい 地文横文不明 6とは同様の文様構成	A069	図版15-7
第16図17	I b-II b, S11	深鉢・口縁部		口縁部垂状突起 洗状口縁 波頭部貼付渦巻文+沈線 器表以下ワラベ状貼付隆帯+沈線 地文横文L R 磨滅横文	A070	図版15-8
第16図18	I	深鉢・胴部		地文横文L R 隆帯貼付+沈線 渦巻文	A071	図版15-9
第16図19	I b-II b, S11	深鉢・胴部		胴部下3条1組横位横沈線 比較下層に地文横文L R	A072	図版15-10

押印番号	部位	器形・部位	口縁×器高×口径	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版					
第16図11	I b~II b, S I I	深鉢・胴-胴部		2条1組貼付隆帯+沈線による渦巻文	A073	図版15-11					
第16図12	I b~II b, S I I	深鉢・口縁~胴部		胴部2条1組の足付隆帯+沈線縦区画線 区画内貼付隆帯による渦巻文	A074	図版15-12					
第16図13	I b~II b, S I I	深鉢・口縁下~胴部 下平		地文L R 横文傾位 太沈線+低隆帯 傾位内区画文	A075	図版15-13					
第16図14	I b~II b, S I I	深鉢・胴部		筒状造しい 地文横文L R 傾位傾斜 2条1組貼付隆帯+沈線 柿目・佩状の文様区画傾位	A076	図版15-14					
第16図15	I 層	深鉢・胴部		筒状造しい 地文横文2段造り不明 2条1組貼付隆帯+沈線 渦巻文	A077	図版15-15					
第16図16	I 層	深鉢・口縁~胴部 上平		地文横文L R 貼付隆帯+沈線 口縁横位傾位区画 胴部縦位文様区画	A078	図版15-16					
第16図17	I b~II b, S I I	深鉢・胴部		地文横文L R 2条1組貼付隆帯渦巻文	A079	図版15-17					
第16図18	I b~II b, S I I 上層	深鉢・胴部 下平		地文横文L R 可反L 2条1組貼付隆帯+沈線 懸垂文	A080	図版15-18					
第17図19	I 層	深鉢・胴部		地文横文L R 2条1組貼付隆帯+沈線 懸垂文	A081	図版15-19					
第17図20	I b~II b, S I I 上層	深鉢・胴部 下平		地文横文L R 2条1組貼付隆帯+沈線 縦位区画線	A082	図版15-20					
第17図21	I 層	深鉢・胴部		地文横文L R ? 3条1組貼付隆帯 渦巻文?	A083	図版15-21					
第17図22	I b~II b, S I I 上層	深鉢・胴部		地文横文L R 傾位低隆帯中央を指頭により2条に分割 渦巻文	A084	図版15-22					
第17図23	I b~II b, S I I 上層	深鉢・胴部		筒状造しい 地文横文L R ? 間隔の広い2条1組の貼付隆帯+沈線	A085	図版15-23					
第17図24	I 層	深鉢・胴部 下平		筒状造しい 地文横文L R ないL R 2条1組の縦位沈線 帯渦巻文	A086	図版15-24					
第17図25	I b~II b, S I I	深鉢・胴部		地文横文L R 縦位隆帯+隆帯輪沈線	A087	図版15-25					
第17図26	I 層	深鉢・胴部		地文横文L R 縦位2条1組の沈線 帯渦巻文	A088	図版15-26					
第17図27	I b~II b, S I I	深鉢・胴部		地文横文L R	A089	図版15-27					
第17図28	I b~II b, S I I	深鉢・胴部		初鼻新しい 3条1組沈線による縦・横位文様区画 横文L R を充填 地文 帯渦巻文	A090	図版15-28					
第17図29	I b~II b, S I I	深鉢・胴部		地文横文L R 2条1組の沈線による縦位文様区画 渦巻文状文様 帯渦巻文	A091	図版15-29					
第17図30	I b~II b, S I I	深鉢・胴部		地文横文L R 2条1組の沈線+隆帯による横位文様区画 渦巻文 帯渦巻文	A092	図版15-30					
第17図31	I b~II b, S I I	深鉢・胴部		地文横文L R 2条1組の沈線+隆帯による区画文	A093	図版15-31					
第17図32	I b~II b, S I I	深鉢・胴部		地文横文L R 2条1組の沈線+隆帯による区画文	A094	図版15-32					
第17図33	I b~II b, S I I 上層	深鉢・底部	- x - x 5.2	胴部下端まるみをもち立ち上がる	A095	図版15-33					
第17図34	I b~II b, S I I 上層	深鉢・底部	- x - x 5.0	胴部下端直線的に立ち上がる	A096	図版15-34					
押印番号	部位	器 種	石 材	長	幅	厚	重量	透光度	特 徴	登録番号	写真図版
第18図35	I 層	両面割磨裏のある切片	メノウ	(28.6)	29.9	6.0	4.6	下部欠損	両側に微細な割磨痕	K007	図版30-35
第18図36	I 層	スクレイパー	津貫貞岩	39.7	51.8	10.6	20.0	完 形	下辺刃部	K008	図版30-36
第18図37	I b~II b, S I I 上層	石 核	津貫貞岩	44.8	59.5	15.9	43.5		切片を素材とする 石材に黒色雲母を含む	K009	図版30-37
第18図38	I b~II b, S I I 上層	燧 石	砂 岩	206.4	81.2	61.5	154.0	完 形	裏面に自然面残存 燧石以外の製品か?	K049	
第18図39	I b~II b, S I I	燧 石	閃緑岩	144.7	111.7	24.2	61.0	完 形	扁平で下部に割磨を伴う敲打部	K050	図版30-39
第18図40	I b~II b, S I I 上層	燧 石	凝灰岩	(76.1)	35.0	26.1	100.7	上半欠損	棒状で下部に敲打痕集中	K061	
第18図41	I 層	凹 石	閃緑岩	106.8	85.1	48.5	60.0	完 形	両面に敲打による窪み 2カ所連結	K062	
第18図42	I 層	凹 石	閃緑岩	109.8	77.2	37.5	47.0	完 形	両面・両側面に敲打による窪み 両面・左側縁2カ所連結 両側縁は磨取り状	K063	
第18図43	I 層	磨 石	安山岩	84.0	69.5	50.5	34.5	完 形	両面を使用	K064	
第18図44	I 層	磨 石	閃緑岩	81.5	73.0	49.8	41.0	完 形	両面を使用	K065	
第18図45	I 層	磨 石	閃緑岩	102	91.1	54.8	70.5	完 形	両面を使用	K066	
第18図46	I b~II b, S I I 上層, 8~9層	磨 石	安山岩	128.1	89.2	53.4	94.0	完 形	両面を使用	K067	
第18図47	I 層	磨 石	閃緑岩	179.7	113.6	62.8	150.0	完 形	両面と右側縁を使用 右側縁に凹取り状の磨痕	K068	図版30-47
第18図48	I 層	凹 石	閃緑岩	147.5	123.4	54.7	140.5	完 形	正面中央下位に弱い敲打痕集中 凹石部	K069	
第18図49	I 層	凹 石	多孔質安山岩	251.2	228.8	57.2	417.0	完 形	正面中央~左側に敲打痕集中 扁平凹石部	K060	
第18図50	I 層	石 核	砂 岩	290.0	87.1	79.6	233.0	完 形	裏面に自然面残存 全体的に弱い敲打	K061	図版30-50
第18図51	I 層	燧 石	砂 岩	179.5	160.1	49.2	173.0	完 形	片すくい 両面を使用し、正面中央に2カ所の敲打による窪みが発見	K062	

第9表 7トレンチ1号住居跡(SI1) 出土遺物観察表

探取番号	層位	器形・部位	口径×高さ×底径	文様・地文の特徴						登録番号	写真図版
第20081	1・2層	深鉢・口縁部		隆帯による横位帯状区画 隆帯中央短沈線による渦巻文						A097	図版16-1
第20082	1・2層	深鉢・口縁部		地文縄文R.L? 貼付隆帯+沈線による横位帯状区画 渦巻文						A098	図版16-2
第20083	1・2層	深鉢・口縁部		地文縄文R.L 波状口縁 波状部高きのある渦巻文帯下						A099	図版16-3
第20084	1・2層	深鉢・口縁部		波状口縁 帯状隆帯による波打U字状の文様隆帯 区画内: 波状方向を美化させた縄文R.Lを充填						A100	図版16-4
第20085	1・2層	深鉢・口縁部		高きに貫く隆帯+沈線による文様区画 渦巻文						A101	図版16-5
第20086	1・2層	深鉢・胴部		幅広い横位帯状隆帯-隆帯による縦・横位帯状区画						A102	図版16-6
第20087	1・2層	深鉢・胴部		初巻流しい 地文縄文R.L 2条1組の隆帯による渦巻文						A103	図版16-7
第20088	1・2層	深鉢・胴部		初巻流しい 2条1組の沈線による平行波状文						A104	図版16-8
第20089	1・2層	深鉢・胴部		初巻流しい 地文縄文R.L 平行波状によるヒラ・波打U字状文様構成 帯状隆帯						A105	図版16-9
第20090	1・2層	深鉢・胴部		初巻流しい 地文縄文R.L? 平行波状による垂帯の曲線的な文様						A106	図版16-10
第20091	1・2層	深鉢・胴部		胴部下帯は曲線的に外傾する 横位のヘラミダリ状文様						A107	図版16-11
第20092	1・2層	深鉢・底面		- × - × 12.5						A108	図版16-12
探取番号	層位	器形	石材	長さ	幅	厚	高さ	透き度	特徴	登録番号	写真図版
第20093	1・2層	スクレイパー	珪質頁岩	52.2	37.5	13.0	29.2	完	内側縁の部に二次加工	K010	図版32-13
第20094	1・2層	細網形磨石のある刮片	珪質頁岩	(58.0)	34.9	5.8	11.6	下端欠損	両側縁に鋭細な割痕状	K041	図版32-14
第20095	1・2層	スクレイパー	珪質頁岩	(19.3)	(46.8)	6.2	4.9	先端磨石状	横位の鋭の両部破片?	K012	図版32-15
第20096	1・2層	凹石	閃緑岩	113.4	103.6	61.2	98.5	完	正面中央に磨打による窪み 2カ所透蝕	K063	
第20097	1・2層	凹石	閃緑岩	126.8	92.4	57.0	87.0	完	正面中央に磨打による窪み 裏面2カ所	K064	
第20098	1・2層	磨石	閃緑岩	100.4	87.0	58.7	73.0	完	両面を使用 両面とも中央部が平滑化	K065	
第20099	1・2層	磨石	閃緑岩	185.1	92.6	57.5	135.0	完	両面と左側縁を使用 左側縁に両面状の磨痕	K066	

第10表 7トレンチ2号住居跡(SI2) 出土遺物観察表

探取番号	層位	器形・部位	口径×高さ×底径	文様・地文の特徴						登録番号	写真図版
第21001	3・4層	深鉢・口縁部		受け口縁+重口縁、地文縄文R.L 口縁部: 3条1組の貼付隆帯 クラック文 胴部: 2条1組波状沈線						A109	図版16-1
第21002	3・4層	深鉢・口縁部		初巻流しい 地文縄文R.L? 3条1組の貼付隆帯によるクラック文 口縁部湾曲 SI1と接合						A110	図版16-2
第21003	3・4層・9層	深鉢・口縁部		高さのある隆帯による横位帯状区画 区画内横位帯状文						A111	図版16-3
第21004	3・4層	深鉢・口縁部		高く幅広い隆帯による横位帯状区画 区画内横位帯状文						A112	図版16-4
第21005	3・4層	深鉢・口縁部		受け口縁+重口縁 口縁部に沈線 口縁部湾曲尖鋭						A113	図版16-5
第21006	3・4層	深鉢・口縁部		波状口縁 波状部高き突起 2条1組の貼付隆帯による横位帯状区画						A114	図版16-6
第21007	3・4層	深鉢・胴部		地文縄文R.L 胴部: 貼付隆帯波状沈線 胴部: 貼付隆帯+沈線 クラック文						A115	図版16-7
第21008	3・4層	深鉢・胴部		初巻流しい 胴部: 横位帯状隆帯等 3条1組横位隆帯						A116	図版16-8
第21009	3・4層	深鉢・胴部		初巻流しい 地文縄文R.L 2条1組横位帯隆帯						A117	図版16-9
第21010	3・4層	深鉢・胴部		初巻流しい 2条1組横位帯隆帯を2段 縦帯面に貼付波状隆帯						A118	図版16-10
第21011	3・4層	深鉢・胴部		初巻流しい 2条1組横位帯隆帯						A119	図版16-11
第21012	3・4層	深鉢・胴部		地文縄文R.L 3条1組沈線による縦位帯状隆帯						A120	図版16-12
第21013	3・4層	深鉢・胴部		地文縄文R.L 3条1組沈線による縦位帯状隆帯						A121	図版16-13
第21014	3・4層	深鉢・口縁部		初巻流しい 地文縄文R.L? 沈線による波打U字状文様 渦巻文						A122	図版16-14
第21015	3・4層	深鉢・胴部		初巻流しい 太沈線による曲線的な文様区画 区画内縄文R.L? 磨石文						A123	図版16-15
第21016	3・4層	深鉢・底面		- × - × 13.3						A124	図版16-16
探取番号	層位	器形	石材	長さ	幅	厚	高さ	透き度	特徴	登録番号	写真図版
第21017	3・4層	スクレイパー	珪質頁岩	36.9	47.0	8.1	13.5	完	上辺に二次加工	K013	図版32-17
第21018	3・4層	細網形磨石のある刮片	珪質頁岩	32.2	29.8	8.0	13.0	完	左側縁から右側縁にかけて磨痕が顕著	K014	図版32-18

第11表 7トレンチ1号埋設土器(SX1) 出土遺物観察表

探取番号	層位	器形・部位	口径×高さ×底径	文様・地文の特徴						登録番号	写真図版
第22001	上層	深鉢・口縁部		初巻流しい 太沈線によるC字・逆C字状の曲線的な文様区画が見られ 区画内に凹帯 凹帯を繋ぐ縄文R.LあるいはL.Rを充填した 形 形縄文 1-8は同 個体						A125	図版17-1
第22002	上層	深鉢・胴部		同上						A126	図版17-2
第22003	上層	深鉢・胴部		同上						A127	図版17-3
第22004	上層	深鉢・胴部		同上						A128	図版17-4
第22005	上層	深鉢・胴部		同上						A129	図版17-5
第22006	上層	深鉢・胴部		同上						A130	図版17-6

採掘番号	層位	器形・部位	口徑・器高×口径	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版
第22回7	上層	深鉢・胴部		同上	A131	図版17-7
第22回8	上層	深鉢・胴部		同上	A132	図版17-8

第12表 7トレンチ包含層出土器物観察表

採掘番号	層位	器形・部位	口徑・器高×口径	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版					
第22回1	I~3・4層	深鉢・口縁部		貼付隆帯 横位文様区画 削先状溝巻文 区画内横位線鈔文	A133	図版17-1					
第22回2	3・4・8・9層	深鉢・口縁部		洗状口縁 波状隆帯等・沈泥線突起 高い横位線鈔区画 3と	A134	図版17-2					
第22回3	3・4・8・9層	深鉢・口縁部		同上	A135	図版17-3					
第22回4	I層	深鉢・口縁部		地文横文L R 小波状口縁 貼付隆帯+沈泥 溝巻文	A136	図版17-4					
第22回5	1b~S11・2上層・8・9層	深鉢・口縁部		溝巻小突起 波状口縁	A137	図版17-5					
第22回6	I層	深鉢・口縁部		波状口縁 波頂部に貼付隆帯+沈泥 溝巻文 横位文様区画	A138	図版17-6					
第22回7	8・9層	深鉢・口縁部		太沈帯による曲線的な文様区画 割落痕しい 横文L Rを先導 磨消溝文	A139	図版17-7					
第22回8	8・9層	深鉢・胴部		太沈帯による曲線的な文様区画 地文横文L R	A140	図版17-8					
第22回9	8・9層	深鉢・口縁部		割落痕しい 太沈帯による曲線の文様区画 区画内横文L 磨り不明 磨消溝文	A141	図版17-9					
第22回10	1b~S11・2上層・8・9層	深鉢・口縁部		割落痕しい 貼付隆帯による曲線の文様区画 区画内横文不明	A142	図版17-10					
第22回11	8・9層	深鉢・口縁部		口縁部曲曲 単沈線・横沈線による送り字状曲線の文様	A143	図版17-11					
第22回12	8・9層	深鉢・胴部		地文横文L R 2条1和隆帯重下	A144	図版17-12					
第22回13	8・9層	深鉢・胴部		地文横文L R 平行沈隆帯に割み 以下に単沈帯による斜格子文	A145	図版17-13					
第22回14	8・9層	深鉢・胴部		割落痕しい 地文横文L R?	A146	図版17-14					
第22回15	1b~S11・2上層・8・9層	深鉢・胴部		地文横文L R 横交?隆帯+沈泥 溝巻文	A147	図版17-15					
第22回16	1b~S11・2上層・8・9層	深鉢・口縁部+胴部上半		割落痕しい 地文横文L R? 隆帯+沈泥による横位文様区画 溝巻文	A148	図版17-16					
第22回17	1b~S11・2上層・8・9層	深鉢・胴部		地文横文L R 2条1組貼付隆帯+沈泥 区画文 磨消文	A149	図版17-17					
第22回18	I層	深鉢・胴部		割落痕しい 地文横文L R? 貼付隆帯+沈泥 溝巻文・区画文	A150	図版17-18					
第22回19	1b~S11・2上層・8・9層	深鉢・胴部		地文横文L R 縦線起帯による文様構成	A151	図版17-19					
第22回20	8・9層	深鉢・胴部		割落痕しい 3条隆帯平行沈泥 磨消溝文	A152	図版17-20					
第22回21	8・9層	深鉢・胴部		割落痕しい 太沈線送り字状文様区画 区画内横文未確定 磨消溝文	A153	図版17-21					
第22回22	8・9層	深鉢・胴部		割落痕しい 2条1組字状沈泥区画 区画内横文未確定 磨消溝文	A154	図版17-22					
第22回23	8・9層	深鉢・胴部		割落痕しい 太沈線字状文様区画 区画内横文L R未定 磨消溝文	A155	図版17-23					
第22回24	8・9層	深鉢・胴部		割落痕しい 3条1組太沈線曲線の文様区画 区画内横文L R? 磨消溝文	A156	図版17-24					
第22回25	8・9層	深鉢・底部		全体の1/3程度残存 割落痕しい 地文横文未確定 2条1組貼付隆帯等 R	A157	図版17-25					
第22回26	8・9層	深鉢・底部	- x - x 8.2	地文横文L R 胴部下端から直線的に外転する	A158	図版17-26					
第22回27	8・9層	土偶・脚部		表・裏面横位平行沈泥	P001	図版18-27					
採掘番号	層位	器種	石材	長	幅	厚	重量	高さ	特徴	登録番号	写真図版
第23回28	1b~S11・2上層・8・9層	スクレイパー	珪質頁岩	84.9	33.5	6.0	25.8		突形 楔形 つまみ部の括れ深い	K015	図版32-28
第23回29	I層	石形	珪質頁岩	30.5	30.9	8.5	12.6		突形 楔形	K016	図版32-29
第23回30	I層	スクレイパー	珪質頁岩	40.3	45.0	3.4	8.8		ほぼ突形 楔形 つまみ部不明 左側縁の一部欠損	K017	図版32-30
第23回31	1b~S11・2上層・8・9層	微細刺刺痕のある刮片	珪質頁岩	54.4	41.9	8.4	12.0		突形 右側縁に微細刺刺痕	K018	図版32-31
第23回32	I層	微細刺刺痕のある刮片	珪質頁岩	33.8	35.5	9.6	11.4		突形 左側縁に微細刺刺痕	K019	図版32-32
第23回33	上層	微細刺刺痕のある刮片	頁岩	47.0	56.4	10.0	22.7		突形 左側縁に微細刺刺痕	K020	図版32-33
第24回34	8・9層	打製石斧	安山岩	(103.7)	71.9	23.0	35.5		ほぼ突形 今割み 上下縁使用に伴う欠損?	K067	図版32-34
第24回35	1b~S11・2上層・8・9層	敲石	閃緑岩	109.3	112.8	37.0	52.5		突形 下端に刺痕を伴う波打直線中正割中央に鋭い斜打痕集中 右石あるいは石台取肌	K068	
第24回36	1b~9層	凹石	安山岩	119.8	65.5	39.0	27.5		突形 両面・両側縁に窪み 両面・両側縁とも2方所迄削 風化・割れ著しい	K069	
第24回37	1b~9層	凹石	閃緑岩	123.8	77.3	46.2	68.0		突形 両面に敲打による窪み 2方所左側縁に面取り状の磨痕	K070	
第24回38	8・9層	凹石	閃緑岩	121.8	83.0	25.2	38.5		突形 両面中央に敲打による窪み 扁平磨面材	K071	
第24回39	1b~9層	右皿	閃緑岩	168.9	178.0	63.9	286.0		突形 厚みのある凹形磨面材 正面使用面 磨面痕著しく凹らぬ	K072	
第24回40	1b~S11・2上層・8・9層	右皿	閃緑岩	254.6	236.2	53.8	487.0		突形 扁平磨面材 正面使用面	K073	

第13表 10トレンチ1号住居跡(SI1)出土遺物観察表

発掘番号	層位	部材・部位	口径×壁厚×長さ	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版				
第25図1	下層	深鉢・口縁～ 胴部上平	43.7×(24.5)×-	小波状門縁 渦巻小突起 口縁部：隆帯横位窪凹区画 胴部：隆帯渦巻文・渦巻横文 地文縄文L R	A159	図版18-1				
第25図2	下層	深鉢・口縁～ 胴部上平	推18.3×(9.4)×-	地文縄文L R 口縁部：内面2条1組貼付隆帯+沈線 削先状渦巻文 横位文様区画 胴上平：3条1組貼付隆帯+横位平行沈線	A160	図版18-2				
第25図3	下層	深鉢・口縁～ 胴部上平	推18.0×(9.0)×-	割落痕しい 地文縄文未確定 口縁部：渦巻 2条1組貼付隆帯+沈線 横位文様区画 胴上平：4条1組横位平行沈線	A161	図版18-3				
第25図4	下層	深鉢・口縁～ 胴部上平	(18.0)×(11.3)×-	地文縄文L R 口縁部：内湾 貼付隆帯+沈線 横位文様区画 胴部：3条1組横位平行沈線 胴部：3条1組沈線削先状渦巻文	A162	図版18-4				
第25図5	下層	深鉢・口縁～ 胴部上平		小形 口縁部：貼付隆帯+沈線渦巻文 横位窪凹区画 胴部：横位平行沈線 地文縄文L R?	A163	図版18-5				
第25図6	下層	深鉢・口縁部		地文縄文L R 貼付隆帯+沈線 横位平行+波状文 横S字把手状隆帯	A164	図版18-6				
第25図7	下層	深鉢・口縁部		立体的な貼付隆帯+沈線 立体的な渦巻把手 横位文様区画	A165	図版18-7				
第25図8	下層	深鉢・口縁部		立体的な貼付隆帯+沈線 渦巻文による横位文様区画 渦巻文交点では文字状把手	A166	図版18-8				
第25図9	下層	深鉢・口縁部		横位貼付隆帯+凹線渦巻文	A167	図版18-9				
第25図10	下層	深鉢・口縁部		口縁部欠損 立体的な貼付隆帯+隆帯上の凹線 波状貼付隆帯 横位文様区画 横S字状渦巻文 横文横位直文L	A168	図版18-10				
第25図11	下層	深鉢・口縁部		貼付隆帯 横位文様区画 隆帯上刻み 2条1組横位貼付隆帯によるクラクク文	A169	図版18-11				
第25図12	下層	深鉢・口縁部		隆帯+割欠 隆帯面縮み 押引した縁の形・横位文様文	A170	図版18-12				
第25図13	下層	深鉢・口縁部		立体的な貼付隆帯+隆帯+横位文様区画 口縁部直下の円筒状隆帯 横位平行+波状隆帯 地文渦巻L R	A171	図版18-13				
第25図14	下層	深鉢・口縁部		貼付隆帯+沈線 口縁部貼付隆帯隆帯 2条1組貼付によるクラクク文 横位文様区画	A172	図版18-14				
第25図15	下層	深鉢・口縁部		割落痕しい 地文縄文未確定 横位平行+波状貼付隆帯	A173	図版18-15				
第25図16	下層	深鉢・口縁部		割落痕しい 地文縄文未確定 横位平行+波状貼付隆帯	A174	図版18-16				
第25図17	下層	深鉢・口縁部		口縁部文様幅広い 波状門縁 貼付隆帯+沈線渦巻文 立体的な渦巻突起	A175	図版19-17				
第25図18	下層	深鉢・胴部上平		隆帯+沈線 渦巻文把手	A176	図版19-18				
第25図19	下層	深鉢・口縁部		内湾 割落痕しい 地文縄文未確定 貼付隆帯+沈線 渦巻文による横位文様区画	A177	図版19-19				
第26図20	下層	深鉢・口縁部		内湾 地文縄文L R横位 貼付隆帯+沈線 渦巻文	A178	図版19-20				
第26図21	下層	深鉢・口縁部		内湾 地文縄文L R 貼付隆帯 渦巻文による文様区画	A179	図版19-21				
第26図22	下層	深鉢・口縁部		内湾 地文縄文L R 貼付隆帯+沈線 渦巻文による文様区画	A180	図版19-22				
第26図23	下層	深鉢・口縁部		内湾 地文縄文L R 貼付隆帯+沈線 渦巻文による文様区画	A181	図版19-23				
第26図24	下層	深鉢・口縁部		貼付隆帯+沈線 渦巻文による文様横帯 渦巻部立体的	A182	図版19-24				
第26図25	下層	深鉢・口縁部		地文縄文L R 内湾 貼付隆帯+沈線渦巻文	A183	図版19-25				
第26図26	下層	深鉢・口縁部		地文縄文L R? 貼付隆帯+沈線 渦巻文	A184	図版19-26				
第26図27	下層	深鉢・口縁部		貼付隆帯+太隆帯 渦巻文による文様区画 区画内ベン先状細突起	A185	図版19-27				
第26図28	下層	深鉢・口縁～ 胴部		口縁部文様幅広い 割落痕しい 地文縄文L R? 波状門縁 貼付隆帯+沈線渦巻文 波頂部に前帯中央	A186	図版19-28				
第26図29	下層	深鉢・口縁部		地文縄文L R 波状口縁 沈線	A187	図版19-29				
第26図30	下層	深鉢・口縁～ 胴部		地文縄文L RもしくはL R L R 波状口縁 港台形の舌状口縁 中央部に凹孔 口縁部に凹線	A188	図版19-30				
第26図31	下層	深鉢・胴部		地文縄文L R 横位平行貼付隆帯	A189	図版19-31				
第26図32	下層	深鉢・胴部		地文縄文L R 横位平行貼付隆帯+沈線	A190	図版19-32				
第26図33	下層	深鉢・胴部		地文縄文L R 横位平行貼付隆帯	A191	図版19-33				
第26図34	下層	深鉢・胴部		地文縄文L R 貼付隆帯+沈線 渦巻文	A192	図版19-34				
第26図35	下層	深鉢・胴部		割落痕しい 地文縄文L R? 貼付隆帯+沈線 渦巻文	A193	図版19-35				
第26図36	下層	深鉢・口縁部		口縁部欠損 地文縄文L R 貼付隆帯+沈線 渦巻文	A194	図版19-36				
第26図37	下層	深鉢・胴部		縦帯状突起	A195	図版19-37				
第26図38	下層	深鉢・胴部		横位平行+波状沈線	A196	図版19-38				
第26図39	下層	深鉢・胴部		地文縄文L R 3条1組縦位細沈線による縦位文様区画 区画内3条1組波状沈線	A197	図版19-39				
第26図40	下層	深鉢・胴部		地文縄文L R? 沈線	A198	図版19-40				
第26図41	下層	深鉢・胴部		地文縄文L R 3条1組の沈線による縦帯文	A199	図版19-41				
第26図42	下層	深鉢・胴部		地文縄文L R 太沈線による並立字状文 帯形横文	A200	図版19-42				
第26図43	下層	深鉢・胴部		割落痕しい 地文縄文L R? 人沈線による帯幅大きい波状文 帯形横文	A201	図版19-43				
第26図44	下層	深鉢・胴部		地文縄文L R 胴部下帯や丸みを帯び外縁して立ち上げる	A202	図版19-44				
第26図45	下層	深鉢・胴部		地文縄文L R? 2条1組貼付隆帯平行	A203	図版19-45				
発掘番号	層位	部材	石材	長	幅	厚さ	遺存度	特徴	登録番号	写真図版
第27図46	下層	石底	埴貫瓦	34.5	48.5	10.0	30.7	完形	K021	図版33-46

第14表 10トレンチ包含層出土遺物観察表

検出番号	層位	器種	石材	長	幅	厚	重量	遺存数	特徴	登録番号	写真図版
第27図1	Ⅱ層	凹石	閃緑岩	125.0	69.0	32.2	375	完形	両面中央に縦行による窪み 両面とも2方所	K074	
第27図2	Ⅱ層	磨石	閃緑岩	145.9	72.8	63.5	1065	完形	両面と同側面を使用 に曲り状の磨削	K075	
第27図3	Ⅱ層	石皿	安山岩	183.2	173.3	47.5	2345	完形	正面使用面 浅く窪む	K076	

第15表 11トレンチ包含層出土遺物観察表

検出番号	層位	器種・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴					登録番号	写真図版	
第28図1	Ⅰ層	漆鉢・口縁部		地文横糸 L	口唇部部分的に露出状	貼付隆帯による横位渦巻文	A204	図版20-1			
第28図2	Ⅰ層	漆鉢・口縁部		貼付隆帯・沈線	横位渦巻文区別	立体的な横位把手	A205	図版20-2			
第28図3	Ⅰ層	漆鉢・口縁部		地文横糸 L 内周	貼付隆帯・沈線	渦巻文による横位文様区別	A206	図版20-3			
第28図4	Ⅰ層	漆鉢・口縁部		高さのある貼付隆帯・沈線	口唇部受口状		A207	図版20-4			
第28図5	Ⅰ層	漆鉢・口縁部		門縁部文様幅広い	貼付隆帯・沈線	渦巻文	A208	図版20-5			
第28図6	Ⅰ層	漆鉢・胴部		地文横文 R L	垂下する3条1組の貼付隆帯による縦位区別	区別内	A209	図版20-6			
第28図7	Ⅰ層	漆鉢・胴部		地文横文 R L	3条1組の縦位平行沈線区別		A210	図版20-7			
第28図8	Ⅰ層	漆鉢・胴部		地文横文 R L 沈線	横位 Y字 垂下総行		A211	図版20-8			
第28図9	Ⅰ層	漆鉢・胴部		地文横文 R L	2条1組縦位・垂下する総行沈線		A212	図版20-9			
第28図10	Ⅰ層	漆鉢・胴部		地文横文 R L	3条1組高付隆帯・沈線による縦位文様区別		A213	図版20-10			
第28図11	Ⅰ層	灰状土塊		灰帯に隆帯と沈線	渦巻に沈線による渦巻・三角形等による人体・動物を表現		P002	図版20-11			
検出番号	層位	器種	石材	長	幅	厚	重量	遺存数	特徴	登録番号	写真図版
第28図12	Ⅰ層	石棒	安山岩	(76.3)	45.0	43.5	260	基部破片	縁部に凹凸彫刻 各面に自然磨痕残存	K077	

第16表 12トレンチ包含層出土遺物観察表

検出番号	層位	器種・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴					登録番号	写真図版	
第29図1	Ⅰ層	漆鉢・口縁部		成状口縁	形みを有する立体的な成状隆帯	横位成状隆帯	A214	図版20-1			
第29図2	Ⅰ層	漆鉢・胴部		貼付隆帯・沈線	突帯は交互斜交による縦位伏文	2条1組沈線による三角文	A215	図版20-2			
第29図3	Ⅰ層～遺物採取 状プラン上面	漆鉢・胴部		上部：横位貼付隆帯・沈線・斜交文	下部：貼付隆帯・沈線によるバネ ネラ状区文	地文横文 L R	A216	図版20-3			
第29図4	Ⅰ層～遺物採取 状プラン上面	漆鉢・口縁部		口縁部文様幅広い	口唇部下横位凹形刺突文	貼付隆帯・沈線渦巻文 筋形：渦巻文	A217	図版20-4			
第29図5	Ⅰ層	漆鉢・口縁部		貼付隆帯渦巻突起			A218	図版20-5			
第29図6	Ⅰ層～遺物採取 状プラン上面	漆鉢・口縁部		中平溝小し突起			A219	図版20-6			
第29図7	Ⅰ層～遺物採取 状プラン上面	漆鉢・口縁部		凹状突起	横位把手		A220	図版20-7			
第29図8	Ⅰ層	漆鉢・口縁部		地文横文 R L	口縁部：貼付隆帯・沈線による2条1組の弧状文 筋形：横位平行沈線		A221	図版20-8			
第29図9	Ⅰ層～遺物採取 状プラン上面	漆鉢・胴部		地文横文 L R	2条1組貼付隆帯		A222	図版20-9			
第29図10	Ⅰ層	漆鉢・胴部		地文横文 L R	2条1組貼付隆帯		A223	図版20-10			
第29図11	Ⅰ層	漆鉢・胴部		地文横文 L R 横位凹形	貼付隆帯・沈線渦巻文	横位文様区別	A224	図版20-11			
第29図12	Ⅰ層	漆鉢・胴部		地文横文 L R	横位凹形	貼付隆帯・沈線渦巻文	A225	図版20-12			
第29図13	Ⅰ層	漆鉢・胴部下		地文横文 L R	貼付隆帯 直・弧状文	斜交伏文	A226	図版20-13			
第29図14	Ⅰ層～遺物採取 状プラン上面	漆鉢・胴部		地文横文 R L	2条1組縦位貼付隆帯・沈線		A227	図版20-14			
第29図15	Ⅰ層	漆鉢・胴部		地文横文 L R	横位平行沈線		A228	図版20-15			
第29図16	Ⅰ層	漆鉢・胴部		小形上器	地文横文 R L	胴部：横位帯形平行・弧状沈線	A229	図版20-16			
第29図17	Ⅰ層	漆鉢・胴部		地文横文 R L	2条1組縦位貼付隆帯・沈線		A230	図版21-17			
第29図18	Ⅰ層～遺物採取 状プラン上面	漆鉢・胴部		地文横文 L R	2条1組沈線	朝先状渦巻文	A231	図版21-18			
第29図19	Ⅰ層～遺物採取 状プラン上面	漆鉢・口縁部		地文横文 R L	太沈線による縦位扇先長方形区画	横位横文	A232	図版21-19			
第29図20	Ⅰ層	漆鉢・底部		- × × 4.8	胴部下端やや先みを帯び外傾して立ち上がる		A233	図版21-20			
第29図21	Ⅰ層～遺物採取 状プラン上面	漆鉢・底部		- × × 7.8	2条1組縦位沈線	底部刺突文 3方角	A234	図版21-21			
第29図22	Ⅰ層	漆鉢・底部		- × × 8.0	若干上げ沈		A235	図版21-22			
検出番号	層位	器種	石材	長	幅	厚	重量 <td>遺存数 <td>特徴 <td>登録番号 <td>写真図版</td> </td></td></td>	遺存数 <td>特徴 <td>登録番号 <td>写真図版</td> </td></td>	特徴 <td>登録番号 <td>写真図版</td> </td>	登録番号 <td>写真図版</td>	写真図版
第29図23	Ⅰ層	石	多孔質安山岩	147.1	80.5	42.9	615	完形	両面中央に縦行による窪み 両面とも2方所 裏面側の形状変形	K078	

第17表 13トレンチ1号状プラン(SX1)出土遺物観察表

発掘番号	層位	器形・部位	口径×底径×高径	文様・地文の特徴	目録番号	写真図版					
第3001	1・3層	漆鉢・口縁→ 胴部上縁	推33.5×(35.0)×	地文縄文L.R. 口縁部:2条1組横線貼付隆帯 立体的横S字状貼付隆帯 頸部:2条1組横線貼付隆帯 胴部上縁:横線半行波線列 胴部中へ下半:3条1組横線波紋(縦位区画) 区画内単軌行線波紋・渦巻文	A236	図版21-1					
第30012	1層	漆鉢・口縁→ 胴部中位		刻巻波線い 口縁部:平行隆帯付隆帯陶文 胴部上下:平行貼付隆帯陶文(縦帯付)隆帯 胴部下半:2条1組貼付隆帯 渦巻文	A237	図版21-2					
第3003	1層	漆鉢・口縁部		横位立体的貼付隆帯横位横門 横S字文 上縁に横位貼付隆帯文横交Y字状隆帯貼付 以下上縁横位貼付区画	A238	図版22-3					
第3004	1層	漆鉢・口縁部		3と同一個体	A239	図版22-4					
第3005	1層	漆鉢・口縁部		口縁部に沿い横S字状貼付隆帯 平行波線	A240	図版22-5					
第30056	1・3層	漆鉢・口縁部		口縁外周:渦巻区画 口縁内周:横S字渦巻隆帯貼付	A241	図版22-6					
第31017	1層	漆鉢・口縁部		口唇渦巻状突起 横位隆帯上縁 2条1組波紋 曲線文 地文縄文L.R.?	A242	図版22-7					
第31018	1層	漆鉢・口縁部		渦巻波紋把手(突起) 横位押付縄文	A243	図版22-8					
第31019	1層	漆鉢・口縁部		口唇部凹み 横位集合波紋 2条1組波紋・波線 クラック文 横帯孔	A244	図版22-9					
第31019	1・3層	漆鉢・口縁部		横位把手 横帯横位S字状刻巻文	A245	図版22-10					
第31011	1層	漆鉢・口縁部		Y状横位把手 貼付隆帯渦巻文	A246	図版22-11					
第31012	1・3層	漆鉢・口縁部		地文縄文L.R. 波状口縁 波頭部立体的渦巻把手	A247	図版22-12					
第31013	1層	漆鉢・口縁部		波状口縁 口縁部文様横位い 貼付隆帯・波線 横S字渦巻文	A248	図版22-13					
第31014	1層	漆鉢・口縁部		地文縄文L.R. 横位肩付平直 立体的隆帯 二条口縁 横位文様区画 渦巻文 交点山形突起	A249	図版22-14					
第31015	1・3層	漆鉢・口縁→ 胴部	推34.0×(37.5)×	地文縄文L.R. 口縁:貼付隆帯+波線 横位先伏渦巻文 胴部:横文 胴部:2条1組貼付隆帯 縦位区画 区画内渦巻文	A250	図版22-15					
第31016	1・3層	漆鉢・口縁→ 胴部	12.6×(10.6)×	小形土師 地文縄文L.R. 口縁部:2条1組貼付隆帯 区画内貼付波状隆帯	A251	図版22-16					
第31017	1・3層	漆鉢・胴→ 底部	～×(9.0)×5.8	小形土師 口縁部:無し 地文縄文L.R. 胴部:2条1組横位平行波線 胴部:2条1組横位区画 区画内渦巻文	A252	図版22-17					
第32018	1層	漆鉢・胴→ 底部	～×～×14.0	地文縄文L.R. 1・2条1組貼付隆帯+波線 横位文様区画 区画内先伏渦巻文	A253	図版23-18					
第32019	1層	漆鉢・胴→ 底部	～×～×12.8	縦→斜位波紋 高部上げ突 水痕び? (細波線?)	A254	図版23-19					
第32020	1層	漆鉢・口縁部		地文縄文L.R. 1条・2条1組横位隆帯 クラック文	A255	図版23-20					
第32021	1層	漆鉢・口縁部		地文縄文L.R. 貼付隆帯渦巻文 縦位3条1組・横位文様区画 波紋	A256	図版23-21					
第32022	1層	漆鉢・口縁部		横文地文L.R. 立体的横S字状渦巻貼付隆帯 2条1組縦・横位隆帯隆帯	A257	図版23-22					
第32023	1層	漆鉢・口縁部 胴部上半		地文縄文L.R. 口縁部:2条1組横位渦巻文 胴部:3条1組横位平行波線	A258	図版23-23					
第32024	1層	漆鉢・口縁部		地文縄文L.R. 立体的横位渦巻貼付隆帯+波線	A259	図版23-24					
第32025	1・3層	漆鉢・口縁→ 胴部		地文縄文L.R. 口縁部:2条1組貼付隆帯 横位渦巻 横門形文様区画 胴部:横位平行貼付隆帯+波線	A260	図版23-25					
第32026	1層	漆鉢・口縁部		地文縄文L.R. 2条1組の横位貼付隆帯+波線 2条1組横位貼付隆帯	A261	図版23-26					
第32027	1層	波紋?・口縁部		L型凹み波紋 横帯孔	A262	図版23-27					
第32028	1層	漆鉢・口縁部		地文縄文L.R. 貼付隆帯+波線 横位文様区画	A263	図版23-28					
第32029	1層	漆鉢・胴部		貼付隆帯+波線 渦巻文	A264	図版23-29					
第32030	1・3層	漆鉢・胴部		地文縄文L.R. 貼付隆帯 横位・波状文	A265	図版23-30					
第32031	1層	漆鉢・胴部		貼付横位隆帯+刻み口 2条1組貼付隆帯	A266	図版23-31					
第32032	1層	漆鉢・胴部		地文縄文L.R. 胴部:無文 貼付平行・波状文・波線	A267	図版23-32					
第32033	1・3層	漆鉢・胴部		貼付平行・波状隆帯	A268	図版23-33					
第32034	1層	漆鉢・胴部		地文縄文L.R. 横位平行貼付隆帯 横位貼付隆帯	A269	図版23-34					
第32035	1層	漆鉢・胴部		地文縄文L.R. 横位平行貼付隆帯 横位貼付隆帯	A270	図版23-35					
第32036	1・3層	漆鉢・胴部		地文縄文L.R. 2条1組横位貼付隆帯	A271	図版23-36					
第32037	1層	漆鉢・胴部		地文縄文L.R. 横位平行貼付隆帯	A272	図版23-37					
第32038	1・3層	漆鉢・胴部		地文縄文L.R. 横位平行貼付隆帯	A273	図版23-38					
第32039	1層	漆鉢・胴→ 底部		地文縄文L.R. 口縁:2条1組 胴部3条1組横位平行貼付隆帯 胴部:2・3条貼付隆帯 横位区画 区画内渦巻文	A274	図版24-39					
第32040	1層	漆鉢・胴部		地文縄文L.R. 2条1組横位貼付隆帯+波線 横位区画 区画内先伏渦巻文	A275	図版24-40					
第33041	1・3層	漆鉢・胴部		横位貼付平行隆帯波状貼付隆帯+波線	A276	図版24-41					
第33042	1・3層	漆鉢・胴部		横位貼付隆帯陶文形文+波線	A277	図版24-42					
第33043	1・3層	漆鉢・胴→ 胴部上縁		地文縄文L.R. 横位平行波線 横位文様区画	A278	図版24-43					
第33043		横帯十文字+横文?		手押	F004	図版24 (写真資料)					
持込番号	層位	器種	石材	長	幅	厚	重量	透光度	特 徴	持込番号	写真図版
第33044	1層	石 籠	珪質頁岩	90.2	33.5	0.7	36.4	無 形	縁石 片部から両面にかけて後周に得ると考えられる光沢顕著	K002	図版33-44
第33045	1層	ステレイドパ	珪質頁岩	53.5	26.1	4.8	8.9	定 形	縁石 つまみ部の括弧深い	K025	図版33-45
第33046	1・3層	石 籠	珪質頁岩	50.2	29.5	0.7	13.9	定 形	縁石	K024	図版33-46
第33047	1層	石 籠	珪質頁岩	46.8	60.6	9.4	20.2	無 形	縁石	K023	図版33-47
第33048	1・3層	ステレイドパ	珪質頁岩	35.8	(53.2)	7.0	11.3	左端欠損	横形石籠に類似するがつまみ部の作風なし	K026	図版33-48

洋図番号	層位	器種	石材	長	幅	厚	重量	遺存度	特徴	登録番号	写真図版
第33図49	1・3層	カサビ形石器	珉質頁岩	31.1	19.7	6.5	5.0	完形	下辺に二次加工	K027	図版33-49
第33図50	1・3層	スクレイパー	珉質頁岩	40.7	17.6	6.5	5.0	完形	右側縁に二次加工	K028	図版33-50
第33図51	1・3層	石鏃	珉質頁岩	31.2	36.7	8.0	13.1	完形	下辺が厚く 下縁中央は鋭状を呈する	K029	図版33-51
第33図52	1・3層	石鏃	珉質頁岩	(25.2)	12.2	2.8	1.0	上縁欠損	尖鋭状を呈する	K030	図版33-52
第33図53	1・3層	カサビ形石器	珉質頁岩	37.1	29.4	8.0	7.7	完形	上面中央に鋭状による突起 両側縁に微細な磨痕	K031	図版33-53
第33図54	1層	凹石	安山岩	105.0	83.2	49.8	590	完形	上面中央に鋭状による突起 両側とも2ヶ所 表面磨痕	K079	

第18表 13トレンチ包含層出土遺物観察表

洋図番号	層位	器形・部位	口径×高さ×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版
第34図1	1～1層	深鉢・口縁一部	径19.5×(12.0)×-	口縁部: 彫曲状文 渦巻突起 横位筋付縁区画刻み 横位筋付平行筋帯 縦位筋付文 底縁比底・文り研突による渦巻状文 渦巻文 刷跡: 施文刷文L上	A279	図版24-1
第34図2	1～3層	深鉢・口縁一部		口縁部: 横位筋付縁帯・渦巻文 口縁部: 渦巻小突起 クラック文 筋部: 2・4条横位・縦位筋付縁帯	A280	図版24-2
第34図3	1～1層	深鉢・口縁一部		地文刷文L上 口縁部: 彫付縁帯・沈線 横S字渦巻文 渦巻帯 立体的 筋部: 無文 胴上部: 横位筋付縁帯	A281	図版24-3
第34図4	1～3層	深鉢・口縁部		地文刷文L上 彫付縁帯・沈線 渦巻文?	A282	図版24-4
第34図5	1～3層	深鉢・口縁部		横位筋付縁帯・横位筋部 区画内彫付縁帯	A283	図版24-5
第34図6	1～1層	深鉢・口縁一部		地文刷文L上 L上縁: 受山状 明み 横位筋付縁帯・沈線 胴部: 横位筋付縁帯同状沈線 刷位筋部	A284	図版24-6
第34図7	1～1層	深鉢・口縁部		地文刷文L上 L上縁部文様縮減 二重L上縁内渦巻文 渦巻帯小突起 口縁部: 横位筋S字彫付縁帯	A285	図版24-7
第34図8	1～1層	深鉢・口縁部		地文刷文L上 L上縁部文様縮減 内面L上縁部: 彫付渦巻縁帯・沈線	A286	図版24-8
第34図9	1～1層	深鉢・口縁部		渦巻帯空想部	A287	図版24-9
第34図10	1～1層	深鉢・口縁部		流状口縁・横位筋手 把手上彫付縁帯渦巻文 刷位筋刻み	A288	図版24-10
第34図11	1～1層	深鉢・口縁一部		地文刷文L上 彫付縁帯縁帯・沈線による横位渦巻文区画 筋部: 横位筋沈線	A289	図版25-11
第34図12	1～1層	深鉢・口縁部		地文刷文R上 彫付縁帯・沈線 横位筋区画区	A290	図版25-12
第34図13	1～1層	深鉢・口縁一部		地文刷文L上 R 流状口縁 L上縁部: 沈線渦巻文 胴部: 横位筋付縁帯 刷跡: 強流沈線	A291	図版25-13
第34図14	1～1層	深鉢・口縁部		地文刷文L上 彫付縁帯・沈線 横位渦巻文	A292	図版25-14
第34図15	1～1層	深鉢・口縁部		地文刷文L上 横位筋付縁帯・沈線 横位筋区画区	A293	図版25-15
第34図16	1～3層	深鉢・口縁部		地文刷文L上 R 2条1重彫付縁付縁帯	A294	図版25-16
第34図17	1～1層	深鉢・口縁部		地文刷文R上 L 2条1重彫付縁付縁帯 横位筋区画 渦巻文	A295	図版25-17
第34図18	1・3層	深鉢・胴部		地文刷文R上 L 2・3条1重彫付縁付縁帯 渦巻文	A296	図版25-18
第34図19	1・3層	深鉢・胴部		地文刷文R上 L 2・3条1重彫付縁付縁帯・沈線 横位筋区画 区画内渦巻文	A297	図版25-19
第34図20	1～3層	深鉢・胴部		地文刷文R上 L 彫付縁帯・沈線 横位筋区画	A298	図版25-20
第34図21	1～2層	深鉢・胴部		地文刷文R上 L 沈線による渦巻文	A299	図版25-21
第34図22	1～1層	深鉢・口縁一部		地文刷文L上 R 2・3条1重彫付縁付縁帯・沈線 パネル状文様区画 渦巻文 刷先文	A300	図版25-22
第34図23	1～1層	深鉢・胴部		地文刷文L上 R 流状筋によるパネル状渦巻文	A301	図版25-23
第34図24	1～3層	深鉢・胴部		地文刷文L上 R 流状筋による横何字文	A302	図版25-24
第34図25	1～3層	深鉢・胴部		地文刷文L上 R 縦流線による渦巻文 垂下する彫付縁線	A303	図版25-25
第34図26	1～1層	深鉢・胴下半一部		地文刷文L上 R 縦流線による渦巻文 流部側代償	A304	図版25-26
第34図27	1～3層	深鉢・胴部		地文刷文L上 R 流状筋による渦巻文 底部側代償	A305	図版25-27
第34図28	1～1層	深鉢・口縁一部		小形上縁 地文刷文L上 流線による文様区画	A306	図版25-28
第34図29	1～1層	流鉢・口縁一部		流状口縁 口縁内部に3条1組の彫付縁帯による渦巻文	A307	図版25-29
第34図30	1～3層	流鉢・口縁一部		口縁彫状 彫付縁帯・沈線 渦巻文	A308	図版25-30

洋図番号	層位	器種	石材	長	幅	厚	重量	遺存度	特徴	登録番号	写真図版
第36図31	1～3層	石鏃	珉質頁岩	66.3	30.4	9.8	29.9	完形	板型	K032	図版34-31
第36図32	1～3層	石鏃	珉質頁岩	50.0	29.0	4.0	7.3	完形	板型	K033	図版34-32
第36図33	1～1層	スクレイパー	珉質頁岩	46.9	36.2	4.8	9.6	完形	両側縁に二次加工	K034	図版34-33
第36図34	1～1層	スクレイパー	珉質頁岩	39.9	65.2	10.5	13.7	完形	下辺に二次加工 内側縁に微細な磨痕	K035	図版34-34
第36図35	1～1層	スクレイパー	頁岩	68.0	50.5	11.5	41.2	完形	両側縁に二次加工 下辺に微細な磨痕	K036	図版34-35
第36図36	1～1層	スクレイパー	珉質頁岩	24.0	41.0	16.0	11.8	完形	尖鋭状の下縁に二次加工・微細な磨痕	K037	図版34-36
第36図37	1～1層	横位筋付縁帯のある沈片	珉質頁岩	46.5	54.0	13.4	29.0	完形	下辺に微細な磨痕	K038	図版34-37
第36図38	1～1層	スクレイパー	安山岩	57.0	43.9	12.0	36.2	完形	片面に凹状・横位筋付縁帯 下辺に強い突起・両側縁は鋭い 持ち上辺を磨き片削二次加工	K039	図版34-38
第36図39	1～3層	磨石	閃緑岩	70.0	83.1	20.6	160	完形	上下面に鋭打痕 下辺に引線状突起	K080	

第19表 15トレンチ包含層出土遺物観察表

標記番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径		文様・地文の特徴				登録番号	写真図版	
			口径	器高	文様	地文	特徴				
第37図1	I層	深鉢・口縁部			小形十器	2条1組単位貼付帯による斜状渦巻文			A300	図版26-1	
第37図2	I層	深鉢・口縁部 胴部			2条1組貼付帯	による横位平行旋帯	渦巻文		A310	図版26-2	
標記番号	層位	器種	石材	長	幅	厚	重量	通孔径	特徴	登録番号	写真図版
第37図3	I層	磁石	珪化木	(143.4)	46.4	28.0	165	上部欠損	棒状礫素材 下端敲打部	K081	

第20表 17トレンチ包含層出土遺物観察表

標記番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径		文様・地文の特徴				登録番号	写真図版
			口径	器高	文様	地文	特徴			
第37図1	I層	深鉢・口縁部			波状口縁	内外面・口唇部に渦巻文			A311	図版26-1
第37図2	I層	深鉢・胴・胴部			地文渦文L.R	胴部：3条単位平行沈線	胴部：沈線渦巻文		A312	図版26-2
第37図3	I層	深鉢・胴部			地文渦文L.R	2条1組単位貼付帯			A313	図版26-3

第21表 18トレンチ包含層出土遺物観察表

標記番号	層位	器種	石材	長	幅	厚	重量	通孔径	特徴	登録番号	写真図版
第37図1	I層	スクレイパー	珪質頁岩	6.5	37.5	7.2	15.4	完形	右側縁に抉り 左側縁の一部 に磨研肌層痕	K040	図版33-1
第37図2	I層	磨石	安山岩	97.3	91.8	72.3	825	完形	両面を使用	K082	

第三章 第5次調査

第5次調査区から発見された遺構は、掘立柱建物跡1棟と土坑28基である(第40図)。第5次調査は第1章第3節「調査の経過」で述べたように、最終的に連続した調査区となったため、1区・2区を合わせた一つの調査区として扱うこととする。また、土坑はSK1~35まで番号を付してあるが、SK3・4・6~9の6基はSK5周辺の二次堆積土、SK24はSK23と重複する木根痕であったため欠番とした。

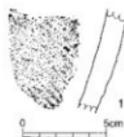
第1節 掘立柱建物跡

1号掘立柱建物跡(SB1)(第38図、図版12)

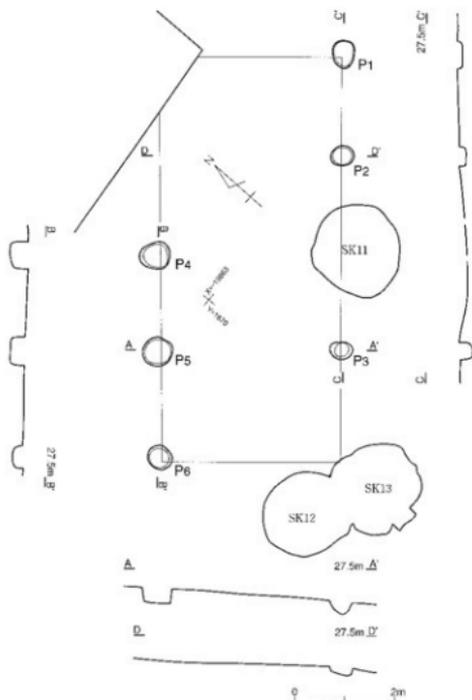
調査区北側の中央A・B-5・6区に位置し、一部は調査区外へ延びる。SK11・13と重複するが、新旧関係は掴みきれなかった。しかし、本遺構を構成する柱穴の一つが位置すると考えられる付近で観察したSK11の土層断面には、木遺構に伴うような柱穴は確認されなかった。柱穴配置の平面形態は長方形を呈する。規模は長軸約8.4m、短軸約3.7mを測る。主軸方位はN-41°-Eである。柱穴はP1~P6が検出された。P2-P3間とP3南西側の柱穴は、SK11・13との切り合い部分である。P4北東側の柱穴は削平のため消失したと考えられ、さらに北東側の本遺構北端に該当する柱穴は調査区外に位置すると考えられる。各柱穴の堆積土は黄褐色シルト粒子・ブロックを含む暗褐色(10YR3/3)で、土坑の堆積土に類似するものであった。P4から縄文時代中期の土器小破片1点が出土した。本遺構の時期については、1層直下が遺構確認面となることに加え、本遺構の確認が調査後半で土坑との切り合い関係を意識的に把握できなかったこともあり、慎重を期し時期不明としておきたい。

出土遺物(第39図、第22表、図版26)

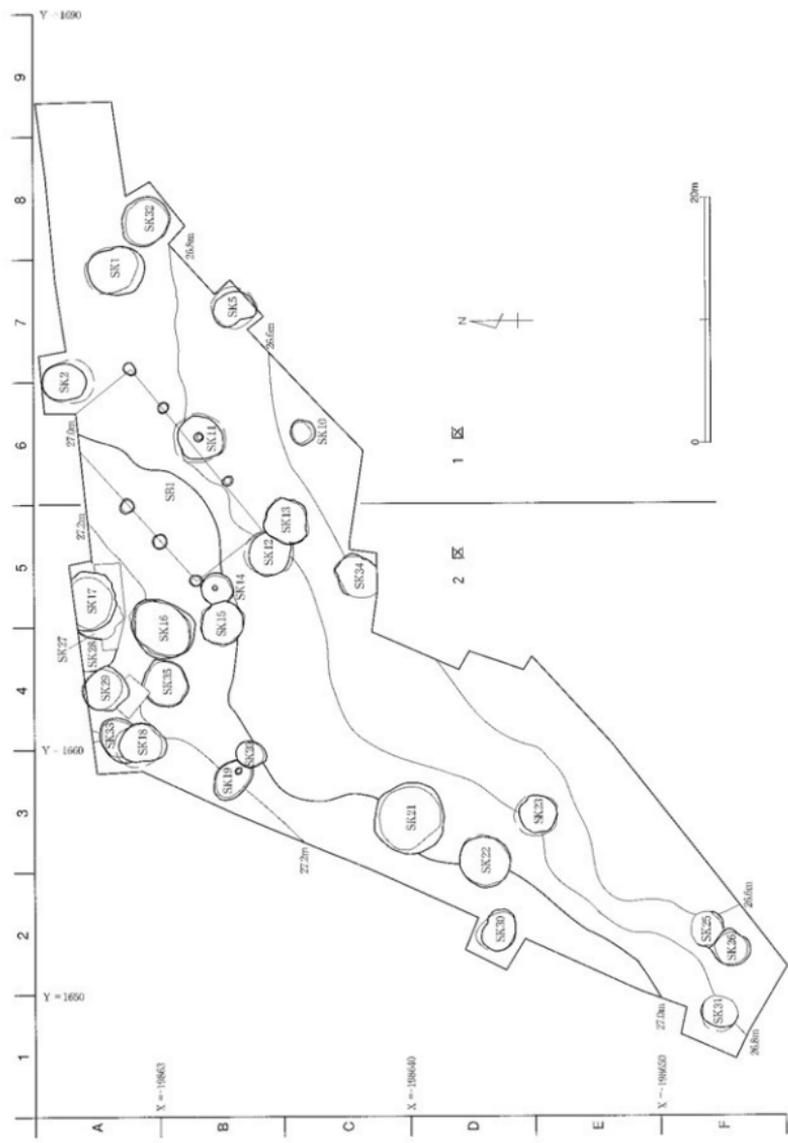
1はP4から出土した縄文時代中期の土器破片である。



第39図 1号掘立柱建物跡(SB1)出土遺物(1/3)



第38図 1号掘立柱建物跡(SB1)平面図・断面図(1/100)



第40回 第5次調査区遺構配置図 (1/200)

第2節 土 坑

1号土坑 (SK1) (第41図、図版7)

調査区北東側のA-7・8区に位置する。平面形は開口部、坑底とも不整形円形を呈する。壁は崩落により開く箇所があるが、内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約2.3×1.9m、坑底約2.2×1.9m、深度約84cmを測る。堆積土から縄文時代中期の土器小破片がわずかに出土している。

出土遺物 (第47図、図版26)

土器は縄文時代中期中葉の大木8b式が出土している。

2号土坑 (SK2) (第41図、第23表、図版7)

調査区北壁中央に近いA-6・7区に位置する。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は崩落により垂直をなす箇所があるが、内傾して立ち上がる断面逆台形を呈したフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.7×1.5m、坑底約2.1×1.7m、深度約80cmを測る。堆積土から縄文時代中期の土器小破片がわずかに出土している。

5号土坑 (SK5) (第41図、図版7)

調査区北側の南東壁中央、B-7区に位置する。土坑中央に調査区壁面があたり、その断面形態は上端に徳利状の括れを持ち、下半が内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。平面形は開口部が不整形円形（確認面での形状で、上層断面の掘り込み面よりも下位）、坑底が略円形を呈する。規模は開口部約1.7×1.2m、坑底約1.7m、深度1.3mを測る。堆積土から縄文時代中期の土器・石器がわずかに出土している。

出土遺物 (第47図、第24表、図版26)

土器はいずれも縄文時代中期のもので、1は大木8b式の口縁部である。

石器はスクレイパー1点が出土している。

10号土坑 (SK10) (第41図、図版7)

調査区北側の南東壁寄り、C-6区に位置する。平面形は開口部、坑底とも不整形円形を呈する。壁はやや開き気味に立ち上がる土坑である。規模は開口部約1m、坑底約85cm、深度約54cmを測る。堆積土からは角礫とともに縄文時代中期の土器破片がわずかに出土している。

出土遺物 (第47図、第25表、図版26)

土器はいずれも縄文時代中期のもので、1は大木8b式の口縁部である。

11号土坑 (SK11) (第42図、図版8)

調査区北側の中央寄り、B-6区に位置する。SB1と重複するが、新旧関係は掴みきれなかった。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.9×1.7m、坑底約2.1×2m、深度約1.04mを測る。坑底中央には径約35cm（底径約24cm）、深度約13cmを測る小ピットがある。堆積土から縄文時代中期の土器小破片がわずかに出土している。

出土遺物 (第47図、第26表)

1は縄文時代中期の大木8b式である。

12号土坑 (SK12) (第42図、図版8)

調査区北側の中央寄り、B・C-5区に位置する。SB1・SK13と重複するが、SB1との新旧関係は掴みきれなかった。SK13との重複関係は古→新の順でSK13→本遺構となる。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は崩落により開く箇所があるが、内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.8×1.7m、坑底約2m、深度約60cmを測る。堆積土からは縄文時代中期の上器小破片1点が出土したにすぎないが、北東側壁際の坑底直上からは同時期の人形把手破片が出土している。

出土遺物 (第47図、第27表、図版26)

1は縄文時代中期の大木8a～8b式の人形把手である。

13号土坑 (SK13) (第42図、図版8)

調査区北側の中央寄り、B・C-5・6区に位置する。SK12と重複し、新旧関係は本遺構(古)→SK12(新)となる。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は崩落により開く箇所もあるが、内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.8×1.7m、坑底約1.8m、深度約57cmを測る。出土遺物はない。

14号土坑 (SK14) (第42図、図版8)

調査区北側の中央寄り、B-5区に位置する。SK15と重複し、新旧関係は本遺構(古)→SK15(新)となる。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は崩落により垂直になる箇所があるが、内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.4×1.3m、坑底約1.1×1.2m、深度約58cmを測る。坑底中央には径約24cm(底径約15cm)、深度約8cmの小ビットがある。出土遺物はない。

15号土坑 (SK15) (第42図、図版8)

調査区北側の西寄り、B-4・5区に位置する。SK14と重複し、新旧関係はSK14(古)→本遺構(新)となる。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は崩落により垂直になる箇所があるが、内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約2×1.6m、坑底約1.7m、深度約68cmを測る。堆積土から縄文時代中期の土器小破片がわずかに出土している。

16号土坑 (SK16) (第43図、図版8・9)

調査区北側の北西寄り、A・B-4・5区に位置する。平面形は開口部、坑底とも不整形円形を呈する。壁は崩落により上半部が開き、垂直になる箇所もあるが、下半は内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約2.8×2.3m、坑底約2.7×2m、深度約77cmを測る。堆積土から縄文時代中期の上器破片がわずかに出土している。

出土遺物 (第47図、第28表、図版26)

1は縄文時代中期の大木8b式土器である。

17号土坑 (SK17) (第43図、図版9)

調査区北側の西寄、A-5区に位置する。SK27と重複し、新旧関係は本遺構(古)→SK27(新)となる。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は崩落により開くが、下端部に内傾した箇所が残されたフラスコ状土坑である。規模は開口部約2.5×2.4m、坑底約2.1×2m、深度約1.2mを測る。堆積土から縄文土器の小破片がわずかに出土している。

18号土坑 (SK18) (第67図、図版9)

調査区北側の北西端、A・B-3・4区に位置する。SK33と重複し、新旧関係は本遺構(古)→SK33(新)となる。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は崩落により開く箇所があるが、内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.9×1.6m、坑底約1.9×1.8m、深度約66cmを測る。堆積土から縄文土器の小破片がわずかに出土している。

出土遺物 (第57図、第29表、図版26)

1・2は縄文時代中期の大木8b式土器である。

19号土坑 (SK19) (第66図、図版9)

調査区北側の西壁寄り、B-3区に位置する。SK20と重複し、新旧関係はSK20(古)→本遺構(新)となる。平面形は開口部、坑底とも長楕円形を呈する。壁は外傾して立ち上がる土坑である。規模は開口部約1.9×1.3m、坑底約1.7×1.2m、深度約20cmを測る。坑底の南東側には径約30×24cm(底面約22×15cm)、深度約17cmを測る小ピットがある。出土遺物はない。

20号土坑 (SK20) (第43図、図版9)

調査区北側の西壁寄り、B-3・4区に位置する。SK19と重複し、新旧関係は本遺構(古)→SK19(新)となる。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は崩落により垂直となる箇所があるが、内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.3×1m、坑底約1.1m、深度約53cmを測る。出土遺物はない。

21号土坑 (SK21) (第44図、図版9)

調査区南側の北寄り、C・D-3区に位置する。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は崩落により上半が開くが、下半は内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約2.9m、坑底2.6×2.4m、深度約1.2mを測る。坑底の一部に、礫層の一部が露出した箇所が認められた。堆積土下層からは、縄文時代中期の大形の深鉢形土器1個体分を中心とする大形破片が北西側にまとまって、また石器も出土している。

出土遺物 (第48・49図、第30表、図版27)

土器はいずれも縄文時代中期の大木8a～8b式で、1は復元完形土器である(第49図)。

石器は10点出土した。内訳は敲石1点(4)、凹石6点(5～10)、磨石3点(11～13)である(第48図)。

22号土坑 (SK22) (第44図、図版10)

調査区南側の北寄り、D-2・3区に位置する。平面形は開口部、坑底とも円形を呈する。壁は崩落により垂直となるが、内傾して立ち上がる箇所を残すフラスコ状土坑である。規模は開口部約2.1×2m、坑底約2.2×1.9m、深度約80cmを測る。出土遺物はない。

23号土坑 (SK23) (第45図、図版10)

調査区南側の中央寄り、D・E-3区に位置する。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は内傾して立ち上がる断面逆台形を呈したフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.6×1.5m、坑底約1.8×1.7m、深度約64cmを測る。出土遺物はない。

25号土坑 (SK25) (第45図、図版10)

調査区南側の南端寄り、F-2区に位置する。SK26と重複し、新旧関係はSK26(古)→本遺構(新)となる。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は崩落により開く箇所もあるが、内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.5m、坑底約1.4×1.3m、深度約43cmを測る。坑底は礫層を掘り込んでいる。堆積土上～中層からは縄文中期の土器の大形破片、石器が出土している。

出土遺物 (第50図、第31表、図版28)

土器は縄文時代中期の大木8a～8b式が出土している。

石器は5点出土した。内訳は凹石2点(7・8)、磨石2点(9・10)、石皿1点(11)である。

26号土坑 (SK26) (第45図、図版10)

調査区南側の南端、F-2区に位置する。SK25と重複し、新旧関係は本遺構(古)→SK25(新)となる。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は垂直ないしやや開くが、一部に内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.5m、坑底約1.3m、深度約54cmを測る。坑底は礫層を掘り込んでいる。出土遺物はない。

27号土坑 (SK27) (第43図、図版9)

調査区北壁の西寄り、A-4・5区に位置する。SK17・28と重複し、新旧関係はSK28(古)→SK17→本遺構(新)となる。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は内傾して立ち上がる断面逆台形を呈したフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.6m、坑底約1.9m、深度約83cmを測る。出土遺物はない。

28号土坑 (SK28) (第43図、図版9)

調査区北壁の西寄り、A-4区に位置する。SK27・29と重複し、新旧関係は本遺構(古)→SK27・29(新)となる。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈すると思われる。壁は開き気味に立ち上がる。壁の遺存が悪いが、坑底の形状や規模から、フラスコ状土坑の坑底部分が残存したものと考えられる。規模は推定坑底約2.2m、深度約38cmを測る。出土遺物はない。

29号土坑 (SK29) (第43図、図版9～11)

調査区北壁の北西端寄り、A-4区に位置する。SK28と重複し、新旧関係はSK28(古)→本遺構(新)となる。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は崩落により垂直ないし開く箇所があるが、内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.8×1.6m、坑底約1.6×1.5m、深度約89cmを測る。出土遺物はない。

30号土坑 (SK30) (第45図、図版11)

調査区南側の北寄り、西壁D-2区に位置する。平面形は開口部、坑底とも不整形円形を呈する。壁は崩落により開く箇所があるが、内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.7×1.3m、坑底約1.7×1.4m、深度約66cmを測る。堆積土から縄文時代中期の土器小破片がわずかに出土している。

出土遺物 (第51図、第32表、図版28)

土器はいずれも縄文時代中期のもので、1・2は大木8a～8b式である。

31号土坑 (SK31) (第45図、図版11)

調査区南側の南西端、F-1区に位置する。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は内傾して立ち上が

るフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.5m、坑底約1.5m、深度約59cmを測る。坑底は礫層を掘り込んでいる。堆積1下層からは縄文時代中期の深鉢形土器1個体分の大型破片が、中央よりやや北西側にまとまって出土している。

出土遺物 (第51図、第33表、図版29)

土器はいずれも縄文時代中期のもので、1は大木8b式の復元完形土器である。

32号土坑 (S K 32) (第45図、図版11)

調査区北側の南東壁北東、A・B-8区に位置する。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁はやや開き気味に立ち上がる土坑であるが、坑底の形状や規模から本来はフラスコ状土坑であったと推測される。規模は開口部約2.1×1.9m、坑底約1.8×1.7m、深度約50cmを測る。出土遺物はない。

33号土坑 (S K 33) (第44図、図版12)

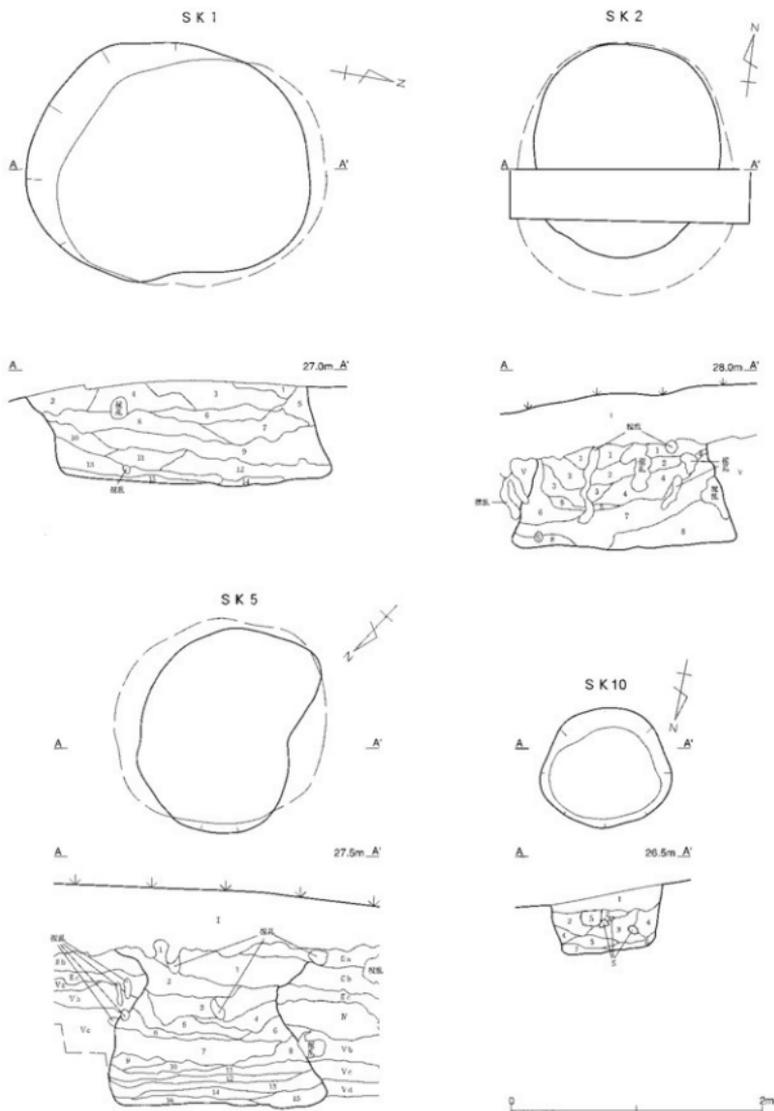
調査区北側の北西端、A-3・4区に位置する。S K 18と重複し、新旧関係はS K 18(古)→木遣構(新)となる。平面形は開口部、坑底とも不整形円形を呈する。壁は垂直ないし開き気味に立ち上がる土坑であるが、坑底の形状や規模から本来はフラスコ状土坑であったと推測される。規模は推定開口部約2×1.5m、推定坑底約1.6×1.4m、深度約45cmを測る。出土遺物はない。

34号土坑 (S K 34) (第46図、図版12)

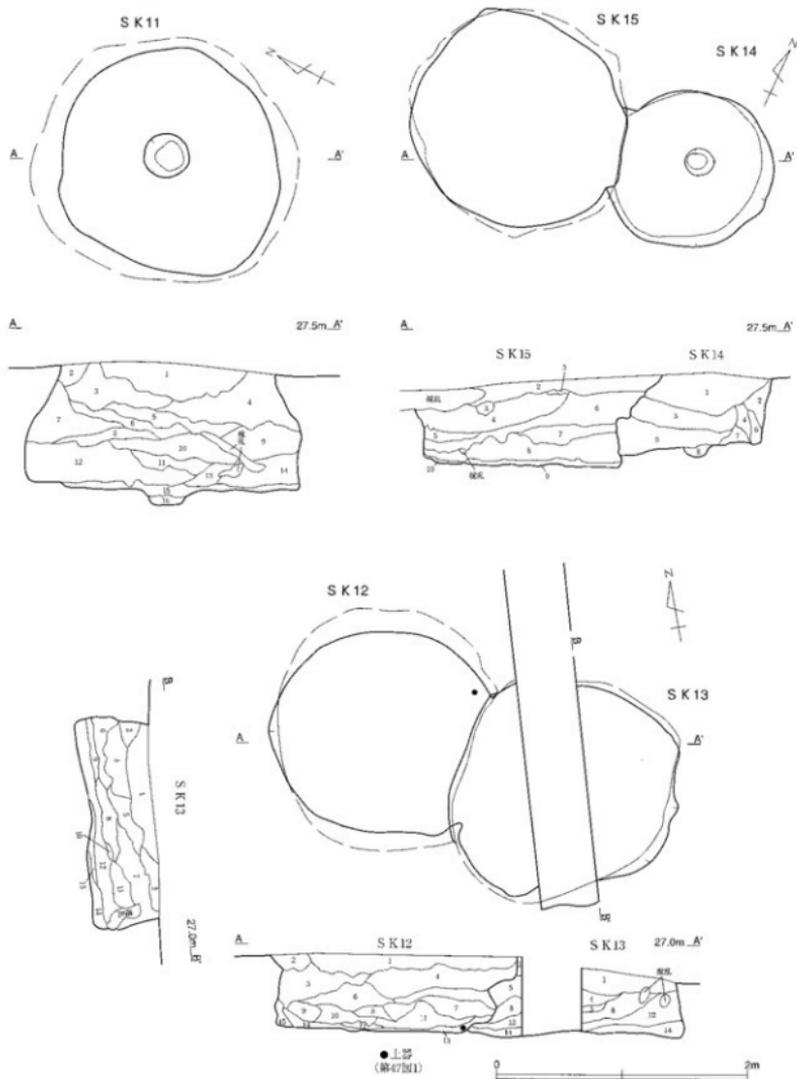
調査区北側の中央南壁、C-5区に位置する。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈すると考えられる。壁は内傾して立ち上がるフラスコ状土坑である。規模は開口部約1.8m、坑底約1.7m、深度約57cmを測る。出土遺物はない。

35号土坑 (S K 35) (第46図、図版12)

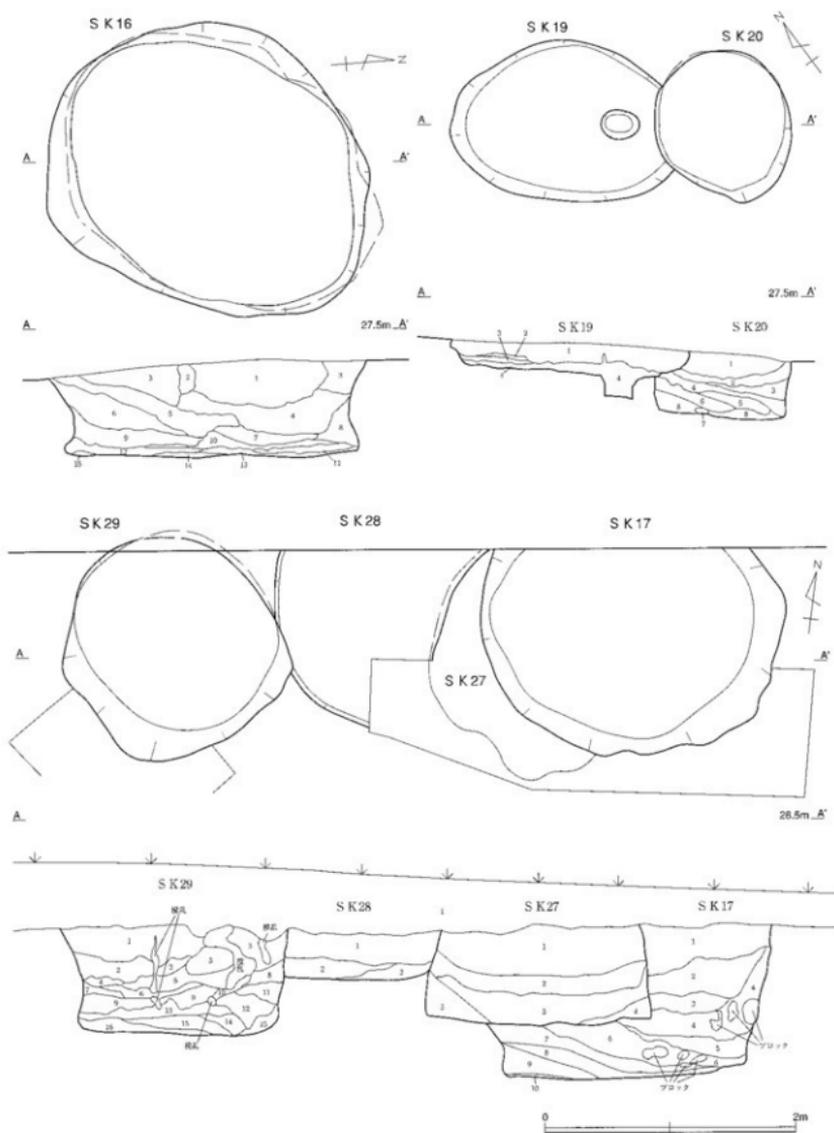
調査区北側の北西寄り、A・B-4区に位置する。平面形は開口部、坑底とも略円形を呈する。壁は開き気味に立ち上がる土坑である。坑底の形状や規模から、フラスコ状土坑の坑底部分が残存したものと考えられる。規模は開口部約2×1.8m、坑底約1.8×1.7m、深度約22cmを測る。出土遺物はない。



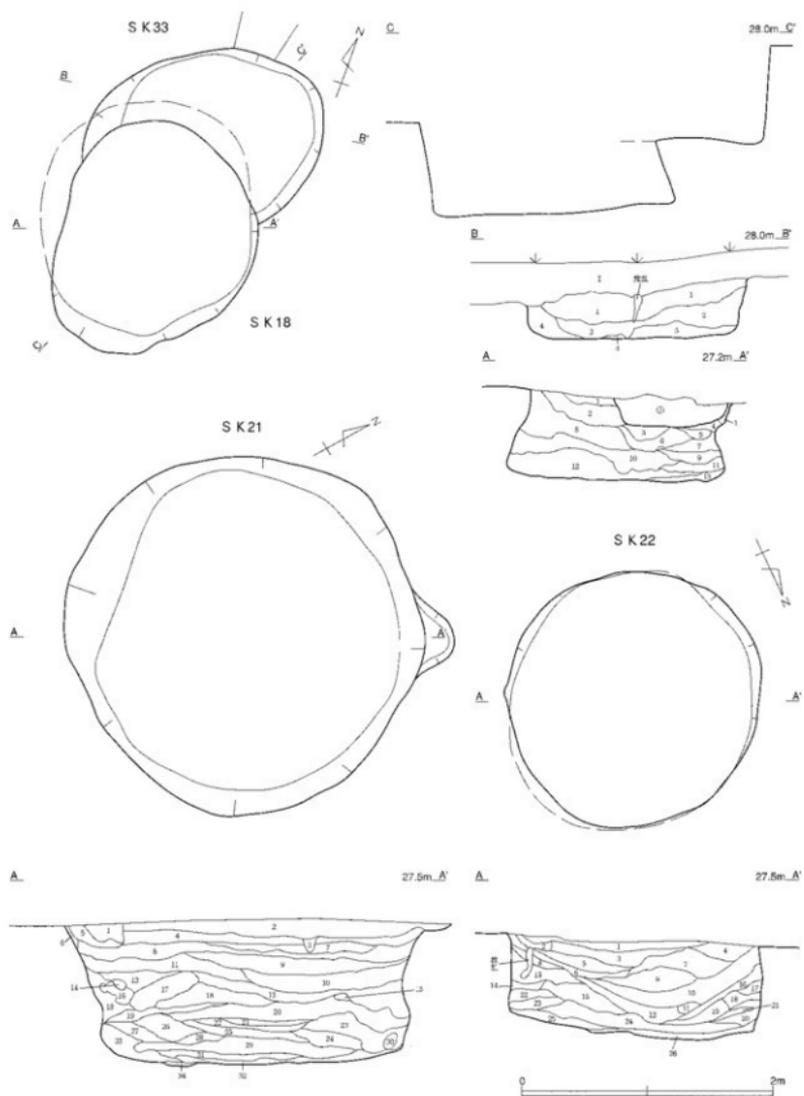
第41图 1·2·5·10号上坑 (SK 1·2·5·10) 平面图·上层断面图 (1/40)



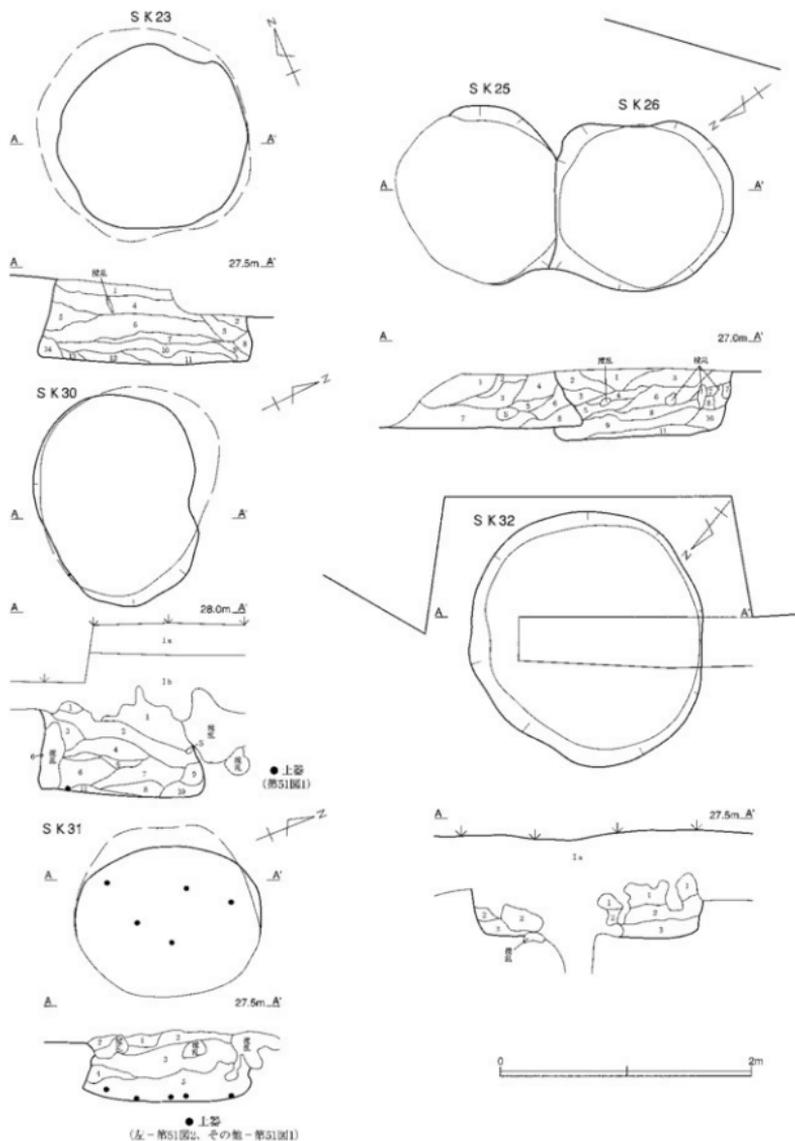
第42图 11~15号土坑 (SK 11~15) 平面图·土层断面图 (1/40)



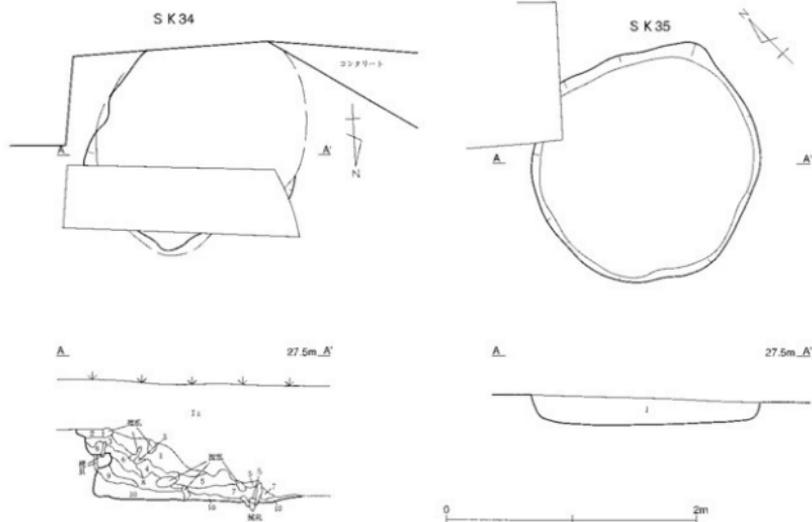
第43图 16·17·19·20·27~29号土坑(SK 16·17·19·20·27~29)平面图·土层断面图(1/40)



第44图 18·21·22·33号土坑(SK 18·21·22·33)平面图·土层断面图(1/40)



第45圖 23・25・26・30～32号土坑 (S K 23・25・26・30～32) 平面圖・土層断面圖 (1/40)



第46図 34・35号土坑 (SK34・35) 平面図・土層断面図 (1/40)

土壌土層説明 (第41～46図)

1号土坑 (SK1) 土層説明

- 1層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性ややあり。
- 2層 土にぶい黄褐色 (10YR5/4) 締まりあり、粘性ややあり。
- 3層 土にぶい黄褐色 (10YR4/3) 締まりあり、粘性弱い。
- 4層 褐色 (10YR4/4) 締まり、粘性あり。
- 5層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/8) の小ブロックを含む。
- 6層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性弱い。
- 7層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。
- 8層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性なし。
- 9層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
- 10層 黄褐色 (10YR5/6) 締まり弱く、粘性ややあり。
- 11層 褐色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。
- 12層 褐色砂質 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
- 13層 黄褐色砂質 (10YR5/6) 締まりなく、粘性弱い。
- 14層 土にぶい黄褐色砂質 (10YR4/3) 締まり弱く、粘性ややあり。
- 15層 褐色砂質 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。

2号土坑 (SK2) 土層説明

- 1層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり、粘性弱い。
- 2層 褐色 (10YR4/6) 締まりあり、粘性強い。
- 3層 褐色 (10YR4/6) 2層に類似するが黄褐色 (10YR5/6) のブロックを多量に含む。
- 4層 土にぶい黄褐色 (10YR4/3) 締まり・粘性あり。明黄褐色 (10YR6/6) のブロックを含む。
- 5層 土にぶい黄褐色 (10YR4/3) 4層に類似するが明黄褐色 (10YR6/6) のブロックは少ない。
- 6層 褐色シルト (10YR4/4) 締まりなし、粘性ややあり。
- 7層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まりあり、粘性ややあり。
- 8層 黄褐色 (10YR5/8) 締まり・粘性あり。明黄褐色 (10YR6/6) のブロックを少量含む。

5号土坑 (SK5) 土層説明

- 1層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりややあり、粘性弱い。
- 2層 暗褐色 (10YR3/4) 1層に類似するが締まりやや増し、ややシルト質である。
- 3層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性ややあり。

4号土坑 (SK4) 土層説明

- 4層 褐色シルト (10YR4/6) 締まりあり、粘性なし。
- 5層 褐色 (10YR4/6) 4層に類似するが黄褐色のブロックを含む。
- 6層 黄褐色砂質シルト (10YR5/6) 締まり・粘性強い。
- 7層 褐色砂質 (10YR4/6) 締まり・粘性なし。
- 8層 褐色砂質 (10YR4/6) 7層に類似するが黄褐色 (10YR5/8) の粘質土ブロックを含む。
- 9層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性強い。暗褐色 (10YR3/3) のブロックを含む。
- 10層 褐色 (10YR4/6) 締まりあり、粘性ややあり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを多量に含む。
- 11層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性ややあり。暗褐色 (10YR3/4)、黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
- 12層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性弱い。
- 13層 黄褐色 (10YR5/8) 締まりあり、粘性ややあり。
- 14層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性弱い。暗褐色のブロック少量含む。
- 15層 褐色 (10YR4/6) 14層に類似するが、暗褐色のブロックを含まない。
- 16層 褐色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。黄褐色 (10YR5/8) のブロックを多量に含む。

10号土坑 (SK10) 土層説明

- 1層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR3/6) のブロックを少量含む。
- 2層 暗褐色 (10YR3/4) 1層に類似するが黄褐色 (10YR5/6) のブロックをやや多く含む。
- 3層 土にぶい黄褐色シルト (10YR4/3) 締まりややあり、粘性弱い。
- 4層 黄褐色砂質 (10YR5/6) 締まり・粘性弱い。
- 5層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性ややあり。黄褐色 (10YR3/6) のブロックを含む。
- 6層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/8) のブロックを少量含む。
- 7層 土にぶい黄褐色 (10YR4/3) 締まりあり、粘性強い。

11号土坑 (SK11) 土層説明

- 1層 褐色 (10YR4/4) 締まりややあり、粘性強い。種3mmの棕色スコリアを微量含む。
- 2層 褐色シルト (10YR4/4) 締まりなし、粘性ややあり。褐色 (10YR4/6) のブロックを含む。
- 3層 褐色シルト (10YR4/6) 締まり弱く、粘性なし。
- 4層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まり弱く、粘性ややあり。
- 5層 褐色シルト (10YR4/6) 締まり・粘性弱い。明黄褐色 (10YR6/6) のブ

- ロックを産出含む。
- 6層 褐色 (10YR4/4) 締まりなし、粘性ややあり。
 - 7層 褐色砂質シルト (10YR4/4) 締まり・粘性なし。部分的に粘土質を含む。
 - 8層 褐色 (10YR4/4) 粘性あるが、締まり弱く、粘性あり。黄褐色 (10YR 5/6) のブロックを含む。
 - 9層 褐色砂質 (10YR4/6) 締まり・粘性弱い。
 - 10層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり、粘性ややあり。
 - 11層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性ややあり、黄褐色のブロックを産出含む。
 - 12層 褐色 (10YR4/6) 締まりややあり、粘性あり。明黄褐色の粘質ブロックをやや多く含む。
 - 13層 褐色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。
 - 14層 黄褐色粘質 (10YR2/6) 締まり・粘性強い。
 - 15層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり弱く、粘性あり。
 - 16層 褐色 (10YR4/6) 締まりややあり、粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。

- 12号土坑 (S K 12) 土層説明
- 1層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり・粘性ややあり。褐色 (10YR4/6) のブロックを含む。
 - 2層 褐色シルト (10YR4/4) 締まり・粘性ややあり。
 - 3層 褐色シルト (10YR4/6) 締まりあり、粘性弱い。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
 - 4層 暗褐色シルト (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。
 - 5層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり・粘性あり。褐色 (10YR4/6) のブロックを少量含む。
 - 6層 暗褐色シルト (10YR4/4) 締まり・粘性弱い。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。
 - 7層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり、粘性やや強い。やや砂質の黄褐色 (10YR5/6) のブロックを多量に含む。
 - 8層 暗褐色シルト (10YR3/4) 締まりややあり、粘性弱い。褐色 (10YR4/4) のブロックを少量含む。
 - 9層 黄褐色砂質 (10YR5/6) ブロック、締まりなく、粘性弱い。
 - 10層 暗褐色粘質 (10YR3/4) 締まり・粘性あり。
 - 11層 褐色シルト (10YR4/6) 締まり・粘性弱い。
 - 12層 褐色 (10YR4/4) 締まりなく、粘性ややあり。暗褐色 (10YR3/4) のブロックを産出含む。
 - 13層 褐色粘質 (10YR4/4) 締まり・粘性強い。
 - 14層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。
 - 15層 褐色 (10YR4/6) 締まりなく、粘性強い。暗褐色 (10YR3/4)、褐色 (10YR4/4) のブロックを多量に含む。

- 13号土坑 (S K 13) 土層説明
- 1層 褐色 (10YR4/6) 締まりややあり、粘性弱い。
 - 2層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まり・粘性あり。褐色 (10YR4/6) のブロックを含む。
 - 3層 褐色 (10YR4/6) のブロック、締まり・粘性弱い。
 - 4層 褐色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性ややあり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。
 - 5層 黄褐色 (10YR5/6) 締まり・粘性あり。
 - 6層 褐色シルト (10YR4/6) 締まり・粘性あり。
 - 7層 褐色 (10YR4/6) 締まり弱く、粘性ややあり。
 - 8層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まりあり、粘性ややあり。
 - 9層 黄褐色 (10YR5/8) 締まりややあり、粘性弱い。褐色 (10YR4/6) のブロックを少量含む。
 - 10層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性弱い。黄褐色 (10YR5/8) のブロックを少量含む。
 - 11層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まり・粘性弱い。褐色 (10YR4/6) のブロックを含む。
 - 12層 黄褐色シルト (10YR5/8) 締まり・粘性あり。
 - 13層 褐色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。
 - 14層 黄褐色砂質 (10YR5/8) 締まり弱く、粘性あり。

- 14号土坑 (S K 14) 土層説明
- 1層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性ややあり。
 - 2層 褐色砂質シルト (10YR4/6) 締まり・粘性なし。部分的に粘土質を含む。
 - 3層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性ややあり。
 - 4層 褐色砂質シルト (10YR4/6) 締まり・粘性なし。
 - 5層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり、粘性ややあり。
 - 6層 黄褐色砂質シルト (10YR5/6) 締まり弱く、粘性ややあり。
 - 7層 暗褐色シルト (10YR4/4) 締まり・粘性なし。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
 - 8層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり・粘性強い。

- 15号土坑 (S K 15) 土層説明
- 1層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性ややあり。黄褐色 (10YR5/8) のブロックを少量含む。
 - 2層 灰黄褐色 (10YR7/3) 締まり・粘性やや強い。
 - 3層 黄褐色 (10YR5/6) 締まり・粘性あり。
 - 4層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりやや弱く、粘性あり。褐色 (10YR4/4)、黄褐色 (10YR5/8) のブロックをやや多く含む。
 - 5層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まり・粘性やや弱い。
 - 6層 褐色シルト (10YR4/4) 締まり弱く、粘性ややあり。黄褐色 (10YR5/8) のブロックを多量に含む。
 - 7層 黄褐色砂質 (10YR5/6) 締まり・粘性弱い。暗褐色 (10YR3/4) のブロック

- を含み、部分的に粘土質を含む。
- 8層 褐色砂質シルト (10YR4/6) 締まり・粘性弱い。
 - 9層 暗褐色粘質 (10YR3/4) 締まり・粘性強い。褐色 (10YR4/4) のブロックを少量含む。
 - 10層 褐色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性ややあり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。

- 16号土坑 (S K 16) 土層説明
- 1層 暗褐色 (10YR3/3) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
 - 2層 褐色シルト (10YR4/6) のブロック、締まり弱く、粘性ややあり。暗褐色 (10YR3/3) のブロックを少量含む。
 - 3層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まり・粘性弱い。
 - 4層 黄褐色砂質 (10YR4/4) 締まり・粘性弱い。暗褐色 (10YR3/3)、黄褐色 (10YR5/6) をやや多く含む。
 - 5層 褐色砂質 (10YR4/4) 締まり・粘性弱い。暗褐色 (10YR3/3) のブロックを少量含む。
 - 6層 黄褐色砂質 (10YR5/6) 締まり・粘性なし。
 - 7層 褐色砂質 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。暗褐色 (10YR3/4) のブロックを少量含む。
 - 8層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まりやや弱く、粘性あり。
 - 9層 黄褐色砂質 (10YR5/6) 締まり・粘性なし。部分的に粘土質のブロックを含む。
 - 10層 暗褐色 (10YR2/4) 締まり・粘性あり。
 - 11層 暗褐色シルト (10YR5/8) 締まり・粘性弱い。
 - 12層 黄褐色 (10YR5/6) 締まり・粘性あり。
 - 13層 灰黄褐色砂質 (10YR5/6) 締まり弱く、粘性あり。
 - 14層 黄褐色 (10YR5/6) 締まり・粘性あり。
 - 15層 黄褐色 (10YR5/6) 締まり弱く、粘性あり。

- 17号土坑 (S K 17) 土層説明
- 1層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり、粘性ややあり。
 - 2層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性あり。
 - 3層 褐色 (10YR4/4) 3層に類似するが締まり・粘性弱い。
 - 4層 褐色シルト (10YR4/6) 締まり・粘性弱い。褐色 (10YR4/4)、黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
 - 5層 褐色シルト (10YR4/4) 締まり・粘性弱い。黄褐色 (10YR5/6) を産出含む。
 - 6層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり、粘性強い。褐色 (10YR4/4)、黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
 - 7層 暗褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性弱い。
 - 8層 褐色 (10YR4/4) 7層に類似するが暗褐色 (10YR3/4) を含まない。
 - 9層 黄褐色砂質 (10YR5/8) 締まり・粘性なし。
 - 10層 黄褐色 (10YR5/6) 9層に類似するが色調軟く、粘性増す。

- 18号土坑 (S K 18)・33号土坑 (S K 33) 土層説明
- (1) 暗褐色 (10YR3/4) S K 33の堆積より5層に对此される層。
- 1層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり、粘性ややあり。
 - 2層 暗褐色 (10YR3/3) 締まりあり、粘性やや強い。酸化鉄のブロック、明黄褐色 (10YR6/6) のブロックを含む。
 - 3層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性やや強い。
 - 4層 黄褐色 (10YR5/8) 締まりややあり、粘性なし。ラミナ状に黒褐色 (10YR2/2) を部分的に含む。
 - 5層 灰黄褐色 (10YR4/3) 締まり・粘性やや強い。褐色 (10YR4/6) のブロックを含む。
 - 6層 褐色 (10YR4/6) 締まりややあり、粘性なし。
 - 7層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性やや強い。明黄褐色 (10YR6/6) のブロックを含む。
 - 8層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性を含む。酸化鉄を含む。
 - 9層 灰黄褐色砂質 (10YR4/3) 締まり・粘性弱い。
 - 10層 灰黄褐色 (10YR4/3) 締まり・粘性強い。酸化鉄認められる。
 - 11層 褐色砂質 (10YR4/4) 締まり・粘性弱い。
 - 12層 暗褐色粘質 (10YR3/2) 締まり・粘性強い。明黄褐色 (10YR6/6) のブロックを少量含む。
 - 13層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まりは弱く、粘性強い。

- 19号土坑 (S K 19) 土層説明
- 1層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
 - 2層 暗褐色 (10YR3/3) 締まりあり、粘性ややあり。
 - 3層 褐色シルト (10YR4/4) 締まり・粘性弱い。黄褐色のブロックをやや多く含む。
 - 4層 暗褐色粘質 (10YR2/3) 締まり・粘性強い。

- 20号土坑 (S K 20) 土層説明
- 1層 灰黄褐色 (10YR4/3) 締まり・粘性あり。炭化体粒状、黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
 - 2層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性やや弱く、黄褐色 (10YR5/6) のブロックを多量に含む。
 - 3層 灰黄褐色 (10YR4/3) 締まり弱く、粘性ややあり。黄褐色のブロックを少量含む。
 - 4層 灰黄褐色 (10YR4/4) 3層に類似するが、締まりとさらに弱く、色調濃い。
 - 5層 灰黄褐色シルト (10YR5/4) 締まり弱く、粘性あり。
 - 6層 黒褐色 (10YR2/2) 締まりあり、粘性強い。

- 7層 褐色砂質 (10YR4/4) ブロック。締まり・粘性弱い。
- 8層 暗褐色粘質 (10YR3/3) 締まり・粘性強い。
- 21号土坑 (S K 21) 土層説明
- 1層 暗褐色 (10YR2/3) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/8) のブロックを含む。
- 2層 黒褐色 (10YR2/2) 締まりあり、粘性ややあり。黄褐色 (10YR5/8) をフナナ状に含む。
- 3層 暗褐色シルト (10YR5/8) 締まり・粘性弱い。
- 4層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり、粘性ややあり。黄褐色 (10YR5/8) を単位の大まなフナナで含む。
- 5層 褐色 (10YR4/6) 締まり弱く、粘性ややあり。
- 6層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まり弱く、粘性ややあり。
- 7層 暗褐色 (10YR3/3) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/8) のブロックを含む。
- 8層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性やや強い。黄褐色 (10YR5/8)、明黄褐色 (10YR3/6) のブロックを含む。
- 9層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まりあり、粘性ややあり。黒褐色 (10YR 3/2) のブロックを含む。
- 10層 におい黄褐色 (10YR4/3) 締まりあり、粘性ややあり。黒褐色 (10YR 5/8) のブロックを多量に含む。
- 11層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり、粘性強い。黄褐色 (10YR5/8) のブロックを多量に含む。
- 12層 暗褐色 (10YR3/3) 粘性強いが、締まりあり、粘性強い。黄褐色 (10 YR5/8) のブロックをやや多く含む。
- 13層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性あり。黒褐色 (10YR2/2)、黄褐色 (10 YR5/8) のブロックを多量に含む。
- 14層 黄褐色 (10YR4/6) ブロック。締まり弱く、粘性あり。
- 15層 黒褐色 (10YR2/3) ブロック。締まりあり、粘性強い。褐色 (10YR4/6) のブロックを少量含む。
- 16層 におい黄褐色 (10YR4/3) ブロック。締まり・粘性やや強い。褐色 (10 YR4/6) のブロックを少量含む。
- 17層 黄褐色シルト (10YR5/6) ブロック。締まり弱く、粘性あり。
- 18層 褐色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。
- 19層 暗褐色シルト (10YR3/3) 締まり弱く、粘性あり。黄褐色 (10YR5/6)、黒褐色 (10YR2/3) のブロックを含む。
- 20層 褐色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性やや強い。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを多量に含む。
- 21層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性ややあり。黄褐色 (10YR5/6)、黒褐色 (10YR2/3) を含む。
- 22層 褐色シルト (10YR4/6) 締まり弱く、粘性あり。黄褐色 (10YR5/8) のブロックを少量含む。
- 23層 黄褐色粘質シルト (10YR5/6) 締まりなし、粘性弱い。
- 24層 暗褐色 (10YR3/3) 締まりあり、粘性やや強い。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。
- 25層 褐色土 (10YR4/6) 締まり・粘性弱い。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
- 26層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まり弱く、粘性ややあり。
- 27層 褐色シルト (10YR4/6) 締まり・粘性強い。
- 28層 黒褐色 (10YR2/2) 締まり弱く、粘性あり。褐色 (10YR4/6) をフナナ状に少量含む。
- 29層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性弱い。明黄褐色 (10YR7/6)、黒褐色 (10 YR3/2) 黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
- 30層 暗褐色 (10YR3/4) ブロック。締まり・粘性ややあり。黄褐色 (10YR 5/6)、黒褐色 (10YR2/3) のブロックを含む。
- 31層 黄褐色 (10YR5/8) 締まり・粘性弱い。
- 32層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり弱く、粘性あり。褐色 (10YR4/4) のブロックをやや多く含む。
- 33層 黄褐色 (10YR5/8) 締まり・粘性弱い。
- 34層 明黄褐色シルト (10YR6/8) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/8) のブロックを含む。

- 22号土坑 (S K 22) 土層説明
- 1層 褐色 (10YR4/6) 締まりあり、粘性ややあり。明黄褐色土ブロックをフナナ状に多量含む。
- 2層 におい黄褐色砂質 (10YR6/6) 締まりややあり、粘性弱い。炭化物粒子を少量含む。
- 3層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性ややあり。褐色 (10YR4/6) のブロックを多量に含む。
- 4層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
- 5層 黄褐色 (10YR5/6) 締まり・粘性あり。褐色 (10YR4/6) のブロックを多量に含む。
- 6層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性ややあり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
- 7層 黄褐色 (10YR5/8) 締まり・粘性あり。褐色 (10YR4/6) を含む。
- 8層 におい黄褐色 (10YR4/3) 締まり弱く、粘性あり。
- 9層 褐色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。褐色 (10YR4/6) のブロックを少量含む。
- 10層 褐色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。
- 11層 黄褐色 (10YR5/6) ブロック。締まり・粘性あり。
- 12層 褐色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性ややあり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。
- 13層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性ややあり。部分的に粘土化認められる。
- 14層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。

- 15層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性ともにややあり。
- 16層 黒褐色 (10YR2/3) 締まり・粘性あり。褐色 (10YR4/4) のブロックを含む。
- 17層 褐色 (10YR4/6) 締まり弱く、粘性やや強い。
- 18層 におい褐色 (10YR3/3) 締まりあり、粘性強い。炭化物粒子を少量含む。
- 19層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性やや強い。
- 20層 褐色砂質 (10YR4/6) 締まり弱く、粘性あり。
- 21層 褐色砂質 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性ややあり。
- 22層 黄褐色砂質 (10YR5/6) 締まり・粘性弱い。
- 23層 黄褐色 (10YR5/8) 締まり・粘性ややあり。
- 24層 黄褐色 (10YR5/6) 締まり・粘性ややあり。
- 25層 黄褐色シルト (10YR4/6) 締まり弱く、粘性あり。
- 26層 褐色 (10YR4/6) 締まり弱く、粘性ややあり。

- 22号土坑 (S K 23) 土層説明
- 1層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性強い。黄褐色のブロックを少量含む。
- 2層 黄褐色 (10YR5/6) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。
- 3層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性あり。
- 4層 黄褐色粘質シルト (10YR5/6) 締まりあり、粘性弱い。
- 5層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。
- 6層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まり・粘性弱い。暗褐色 (10YR3/4)、褐色 (10YR4/6) のブロックを含む。
- 7層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックをやや多く含む。
- 8層 褐色 (10YR4/6) 締まりあり、粘性強く、黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。
- 9層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性強い。黄褐色のブロックを含む。
- 10層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まりややあり、粘性弱い。
- 11層 褐色粘質 (10YR4/6) 粘性、締まり・粘性やや強い。
- 12層 暗褐色シルト (10YR4/6) 締まり弱く、粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。
- 13層 黄褐色シルト (10YR5/6) 締まり弱く、粘性あり。
- 14層 褐色シルト (10YR4/6) 締まり・粘性やや強い。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。

- 25号土坑 (S K 25) 土層説明
- 1層 褐色 (10YR4/6) 黄褐色ブロック主体。天井部剥落。
- 2層 暗褐色 (10YR3/3) 締まり・粘性あり。炭化物粒子を少量含む。
- 3層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり。黄褐色ブロックを多量に含む。
- 4層 褐色 (10YR3/3) 締まりあり。
- 5層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり。黄褐色ブロック多量。炭化物粒子を微量含む。
- 6層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり。炭化物粒子を微量含む。
- 7層 におい黄褐色 (10YR4/3) 締まり・粘性あり。黄褐色ブロック少量。炭化物粒子を微量含む。
- 8層 黒褐色 (10YR2/3) 締まりあり。炭化物粒子を少量含む。

- 26号土坑 (S K 26) 土層説明
- 1層 暗褐色 (10YR3/3) 締まりあり、粘性弱い。
- 2層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり、粘性強い。黄褐色ブロックを少量含む。
- 3層 暗褐色 (10YR3/3) 締まりあり、粘性弱い。黄褐色ブロック少量。炭化物粒子を微量含む。
- 4層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性弱い。黄褐色粘土を多量に含む。
- 5層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりやや弱く、粘性弱い。黄褐色粘土を少量含む。
- 6層 におい黄褐色 (10YR4/3) 締まりあり、粘性弱い。黄褐色ブロック少量を含む。
- 7層 暗褐色 (10YR3/3) 締まりあり、粘性なし。黄褐色粘微砂を含む。
- 8層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性なし。黄褐色ブロックを多量に含む。
- 9層 におい黄褐色 (10YR4/3) 締まりあり、粘性弱い。黄褐色粘土を多量に含む。
- 10層 におい黄褐色 (10YR4/3) 5層に類似するが黄褐色ブロックを多量に含む。

- 27号土坑 (S K 27) 土層説明
- 1層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり・粘性あり。
- 2層 褐色 (10YR4/4) 粘性ややあり、締まりあり、粘性ややあり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。
- 3層 褐色 (10YR4/4) 5層に類似するが締まり・粘性強くなる。
- 4層 褐色シルト (10YR4/4) 締まり・粘性ややあり。
- 5層 黄褐色砂質 (10YR5/6) 締まり・粘性強くなる。

- 28号土坑 (S K 28) 土層説明
- 1層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり・粘性あり。
- 2層 暗褐色 (10YR3/3) 1層に類似するが色調明るく、黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。
- 3層 黄褐色 (10YR5/8) 締まり・粘性強い。暗褐色 (10YR3/4) のブロックを多量に含む。

- 29号土坑 (S K 29) 土層説明
- 1層 黒褐色 (10YR2/3) 締まり・粘性あり。
- 2層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性にやや強い。暗褐色 (10YR3/4) のブロックを含む。
- 3層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり・粘性ややあり。

4層 暗褐色 (10YR3/4) 3層に類似するが粘性やや増し、黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。

5層 暗褐色 (10YR3/4) 4層に類似するが黄褐色 (10YR5/6) のブロックを多量に含む。

6層 黄褐色 (10YR5/6) 締まり・粘性やや強い。暗褐色 (10YR3/4)、褐色 (10YR4/6) のブロックを多量に含む。

7層 暗褐色 (10YR3/4) 4層に類似するが色調暗く、黄褐色 (10YR5/6) のブロックが減る。

8層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性やや強い。暗褐色 (10YR3/4) のブロックを多量に含む。

9層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性やや強い。

10層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり・粘性あり。

11層 黄褐色 (10YR5/6) 締まりあり、粘性弱い。

12層 黄褐色 (10YR5/6) 11層に類似するが明黄褐色 (10YR6/6) のブロックを少量含む。

13層 黄褐色シルト (10YR5/8) 締まりややあり、粘性弱い。褐色 (10YR4/6) のブロックを少量含む。

14層 褐色シルト (10YR4/4) 締まり・粘性高い。

15層 褐色 (10YR4/6) 14層に類似するが色調やや暗い。

16層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり、粘性ややあり。褐色 (10YR4/6) のブロックを多量に含む。

30号土坑 (S K 30) 土層説明

1層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりあり、粘性ややあり。褐色 (10YR4/6)、黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。

2層 近い黄褐色 (10YR4/6) 締まりあり、粘性ややあり。黄褐色 (10YR5/6) の小ブロックを少量含む。

3層 褐色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性あり。黄褐色 (10YR5/6)、褐色 (10YR4/6) のブロックをやや多く含む。

4層 褐色 (10YR4/6) 3層に類似するが黄褐色 (10YR5/6)、褐色 (10YR4/6) のブロックを多量に含む。

5層 黄褐色 (10YR5/6) 締まり・粘性あり。暗褐色 (10YR3/4)、褐色 (10YR4/6) のブロックを含む。

6層 褐色 (10YR4/6) 締まり弱く、粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。

7層 褐色 (10YR4/6) 6層に類似するが黄褐色上のブロックを多量に含む。

8層 黄褐色 (10YR5/6) 締まり・粘性あり。

9層 暗褐色粘質 (10YR3/2) 締まりあり、粘性強い。

10層 黄褐色シルト (10YR5/8) 締まり・粘性ややあり。褐色 (10YR4/6) のブロックを含む。

31号土坑 (S K 31) 土層説明

1層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり・粘性あり。褐色 (10YR4/4) のブロックを含む。

2層 黄褐色 (10YR5/6) 締まりあり、粘性弱い。褐色 (10YR4/6) のブロックを少量含む。

3層 褐色 (10YR4/6) 締まり弱く、粘性ややあり。

4層 褐色 (10YR4/6) 3層に類似するが暗褐色 (10YR3/4) のブロックを含む。

5層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性あり。暗褐色 (10YR3/4) のブロックを少量含む。

32号土坑 (S K 32) 土層説明

1層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性あり。

2層 褐色 (10YR4/6) 1層に類似するが締まり増す。

3層 黄褐色 (10YR5/6) 締まりあり、粘性ややあり。

33号土坑 (S K 33) 土層説明

1層 褐色 (10YR4/6) 締まり・粘性あり。

2層 褐色 (10YR4/6) 1層に類似するが黄褐色 (10YR5/6) のブロックを含む。

3層 褐色 (10YR4/4) 締まり弱く、粘性ややあり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを多量に含む。

4層 暗褐色 (10YR3/4) 締まりやや弱く、粘性あり。黄褐色 (10YR5/6) のブロックを少量含む。

5層 暗褐色 (10YR3/4) 4層に類似するが色調明るく、黄褐色 (10YR5/6) のブロックが増加する。

34号土坑 (S K 34) 土層説明

1層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性弱い。黄褐色粘土・小ブロックを少量含む。

2層 褐色 (10YR4/6) 締まりあり、粘性弱い。黄褐色シルトブロック主体。堅固層土。

3層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性弱い。黄褐色シルトブロックを多量に含む。

4層 褐色 (10YR4/6) 締まりあり、粘性弱い。黄褐色シルトブロックを多量に含む。堅固層土。

5層 褐色 (10YR4/4) 粘性弱く、締まりあり。黄褐色粘土・小ブロックを多量に含む。

6層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性弱い。黄褐色粘土・小ブロックを少量含む。

7層 褐色 (10YR4/4) 6層に類似するが黄褐色粘土・小ブロックを少量含む。

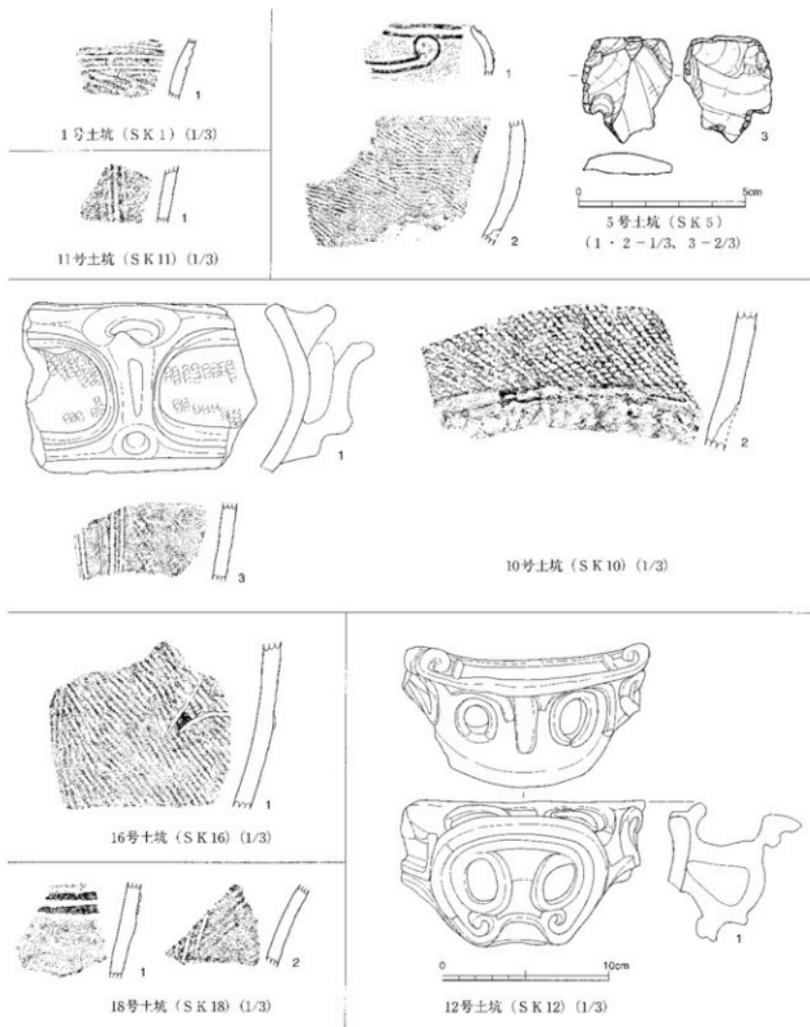
8層 暗褐色 (10YR3/4) 締まり弱い。黄褐色粘土・小ブロックを少量含む。

9層 褐色 (10YR4/4) 締まりあり、粘性弱い。黄褐色シルトブロックを多量に含む。大骨層土。

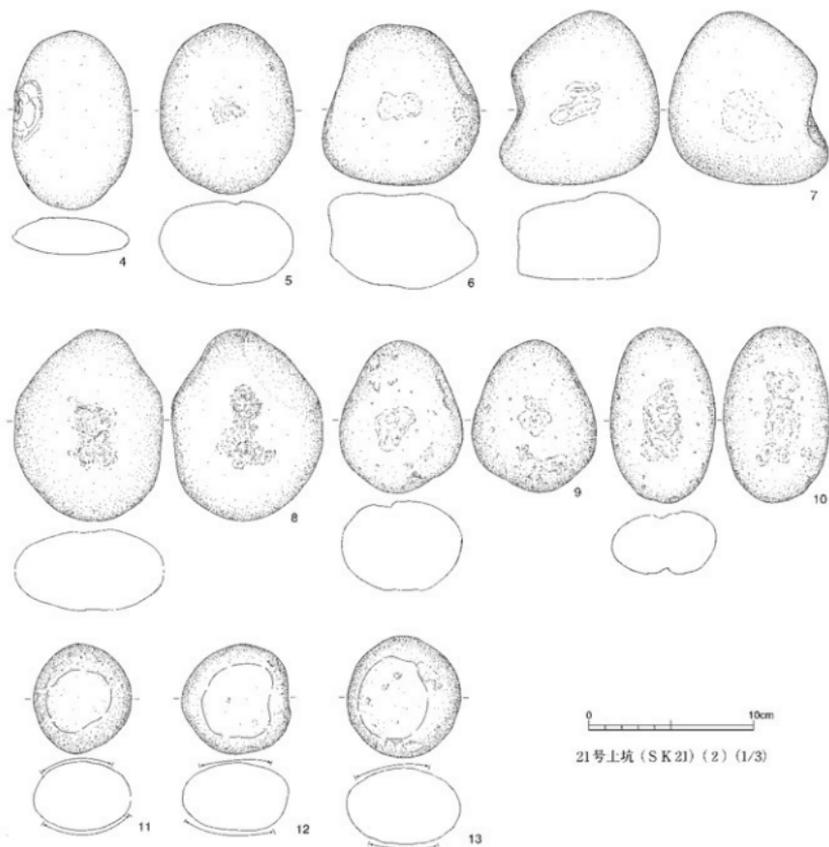
10層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性あり。黄褐色粘土・小ブロックを少量含む。

35号土坑 (S K 35) 土層説明

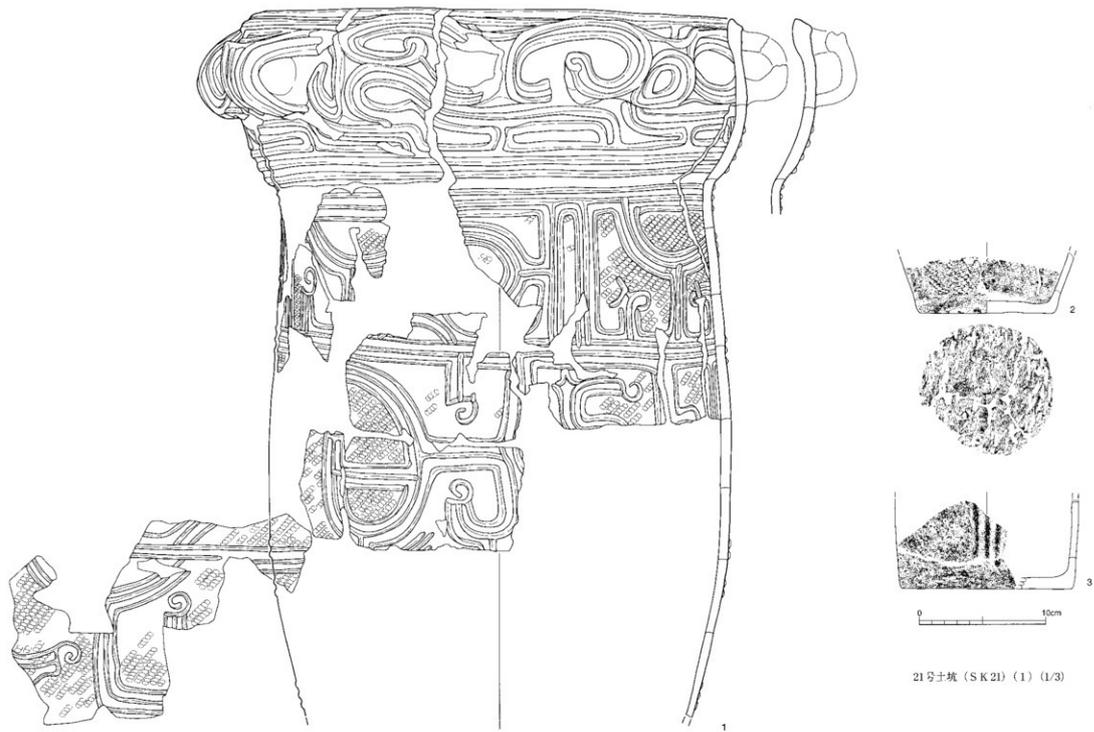
1層 褐色 (10YR4/4) 締まり・粘性なし。黄褐色シルトブロック・稜石を多量に含む。



第47图 1·5·10~12·16·18号土坑 (SK 1·5·10~12·16·18) 出土遗物

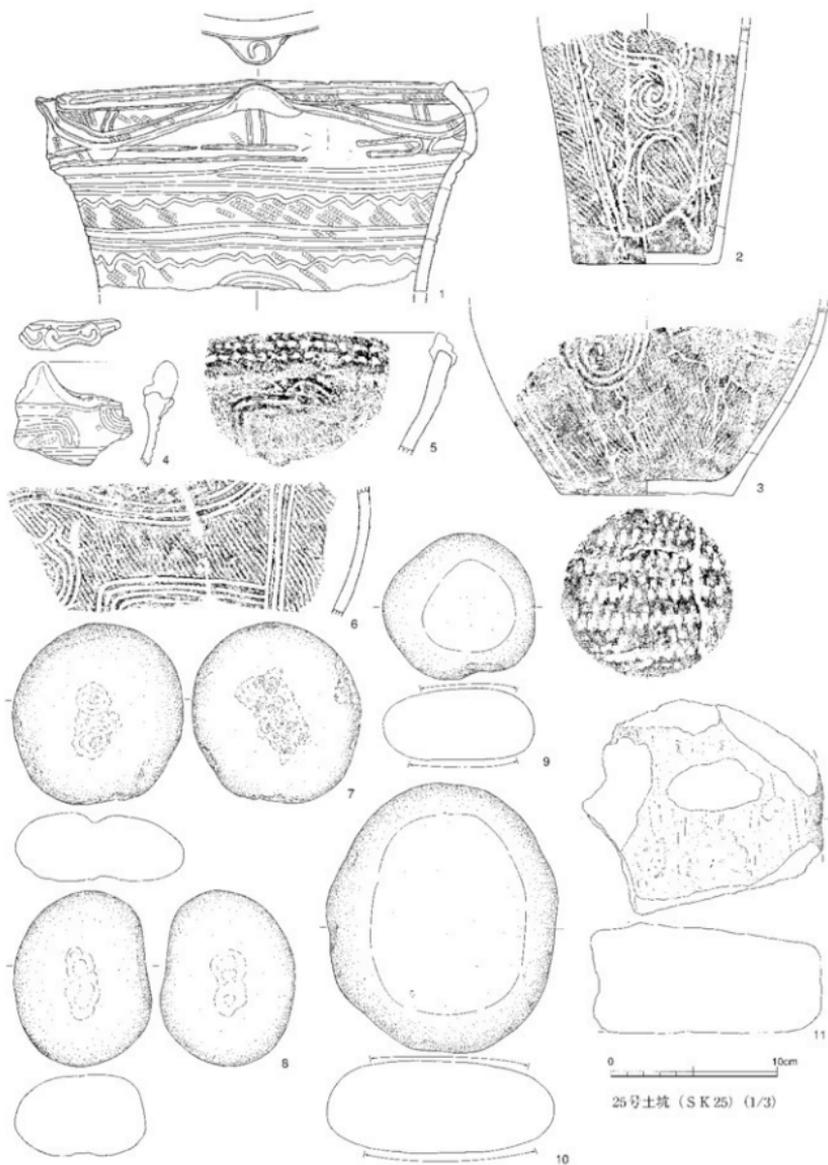


第48图 21号土坑 (SK 21) 出土遗物 (2)



21号土坑 (SK 21) 出土器物 (1) (1/3)

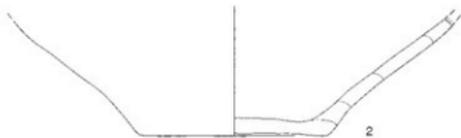
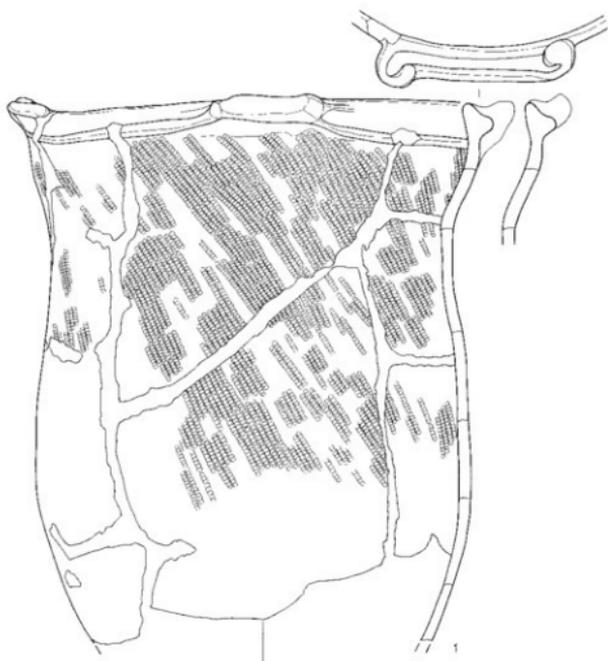
第49图 21号土坑 (SK 21) 出土器物 (1)



第50图 25号土坑 (SK 25) 出土遗物



30号十坑 (S K 30) (1/3)



31号十坑 (S K 31) (1/3)



第51图 30・31号十坑 (S K 30・31) 出土遺物

第3節 包含層出土遺物

包含層からは少量の土器・石器が出土した。そのほとんどは調査区東側に設定した深掘り区周辺のⅡ層からの出土である（第52図、第34表、図版29・35）。

土器 縄文時代前期後半の土器と考えられる1以外は、縄文時代中期の大木8b式を中心とする土器で、一部に9・10式（10）がある。

石器 包含層からは5点の石器が出土し、内訳はスクレイパー2点（11・12）、凹石3点（13～15）である。



第52図 包含層出土遺物

第5次調査出土遺物観察表

第22表 1号掘立柱建物跡(SB1)ピット4出土遺物観察表

土器 法量: cm, (): 残存値, 推定値
石器 大きさ: mm, 重量: g, (): 残存値

検出番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版
第22図1	中層	深鉢・胴部		地文縄文L.R	A314	図版26-1

第23表 1号土坑(SK1)出土遺物観察表

検出番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版
第23図1	中層	深鉢・胴部		地文縄文L.R 横位平行沈線	A315	図版26-1

第24表 5号土坑(SK5)出土遺物観察表

検出番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版					
第24図1	上層	深鉢・口縁部		地文縄文R.L 2条1組貼付隆帯による渦巻	A316	図版26-1					
第24図2	上層	深鉢・胴部		地文捺糸R.L	A317	図版26-2					
検出番号	層位	器形	石材	長	幅	厚	重量	遺存状態	特徴	登録番号	写真図版
第24図3	上~中層	ステレタイプ	結實頁岩	32.5	27.2	6.3	6.5	完形	下部に二次面I	K041	図版34-3

第25表 10号土坑(SK10)出土遺物観察表

検出番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版
第25図1	上層	深鉢・口縁部		地文縄文R.L 2条1組貼付隆帯・沈線の横状把手 把手上部に孔あり	A318	図版26-1
第25図2	上層	深鉢・胴部		地文縄文R.L	A319	図版26-2
第25図3	上層	深鉢・胴部		地文縄文R.L 複数の沈線並下 凹柄縄文	A320	図版26-3

第26表 11号土坑(SK11)出土遺物観察表

検出番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版
第26図1	上層	深鉢・胴部		地文縄文L.R 3条1組沈線並下	A321	図版26-1

第27表 12号土坑(SK12)出土遺物観察表

検出番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版
第27図1	坑底直上	深鉢・口縁部		断面状の立体的中空記号 破片形状を調整?	A322	図版26-1

第28表 16号土坑(SK16)出土遺物観察表

検出番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版
第28図1	上層	深鉢・胴部		地文縄文R.L 貼付隆帯+沈線 例先文 別添	A323	図版26-1

第29表 18号土坑(SK18)出土遺物観察表

検出番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版
第29図1	中層	深鉢・胴部		2条1組貼付隆帯 曲線文	A324	図版26-1
第29図2		深鉢・胴部		地文縄文L.R 3条1組沈線並下	A325	図版26-2

第30表 21号土坑(SK21)出土遺物観察表

検出番号	層位	器形・部位	口径×器高×底径	文様・地文の特徴	登録番号	写真図版					
第30図1	下層	深鉢・胴下部 欠損	37.0(56.0)×-	口縁部: 貼付隆帯+沈線 横位渦巻状把手 頸部: 把手から連続する貼付隆帯・アラシ文 胴部: 地文縄文L.R 3条1組貼付隆帯によるパネル状曲面文・渦巻文 1条貼付隆帯の小渦巻文	A326	図版27-1					
第30図2	中層	深鉢・底部	-×44×11.0	地文縄文R.L 意匠継代直 内面横位渦巻帯・底面内面同心円状渦巻帯	A327	図版27-2					
第30図3	下層	深鉢・底部	-×7.0×(13.7)	地文縄文不明 3条1組の縦位貼付隆帯	A328	図版27-3					
検出番号	層位	器形	石材	長	幅	厚	重量	遺存状態	特徴	登録番号	写真図版
第30図4	下層	磨石	閃綠岩	109.1	72.1	22.5	275	完形	左側面に割離痕	K083	
第30図5	下層	磨石	閃綠岩	103.5	80.9	51.0	375	完形	正面中央に鋭い磨打痕	K084	
第30図6	下層	磨石	閃綠岩	98.1	95.4	58.0	665	完形	正面中央に鋭い磨打痕	K085	
第30図7	下層	磨石	閃綠岩	105.8	95.9	53.1	769	完形	両面中央に鋭い磨打痕	K086	
第30図8	下層	磨石	閃綠岩	117.0	98.8	49.2	700	完形	両面中央に磨打による窪み 両面とも2方所	K087	図版34-8
第30図9	下層	磨石	歩孔貫穿出岩	93.0	74.5	54.4	435	完形	両面中央に磨打による窪み	K088	図版34-9
第30図10	下層	磨石	閃綠岩	107.5	63.0	38.0	335	完形	両面中央に磨打による窪み 両面とも複数の窪みが連続	K089	図版34-10
第30図11	下層	磨石	閃綠岩	67.8	59.2	42.0	175	完形	両面を使用	K090	図版34-11
第30図12	下層	磨石	閃綠岩	67.3	64.9	41.9	250	完形	両面を使用	K091	図版34-12
第30図13	下層	磨石	閃綠岩	75.0	68.8	47.0	310	完形	両面を使用	K092	図版34-13

第31表 25号土坑 (SK25) 出土遺物観察表

探検番号	層位	部形・部位	口径×器高×底径	文種・地文の特徴				登録番号	写真図版		
第50図1	中層	深鉢・胴下部欠損	23.2×(13.0)×-	地文縄文R.L. 1. 口縁部: 2条1組貼付隆帯による2条彫凹文文 区画内中央に縦位の2条1組貼付隆帯 交点位置に1条の彫付隆帯を付つ突起・交点下に小突起それぞれ4単位 頸部: 上下端に3条1組横位紋線 その下位に1条の波状紋線 胴部: 2条1組波線曲線文 1条総行沈線垂下				A329	図版28-1		
第50図2	中層	深鉢・胴部下半	-×(14.6)×8.7	地文縄文R.L. 3条1組波線曲線文・曲線文・縦位 2条1組曲線文・垂下 1条縦位総行沈線				A330	図版28-2		
第50図3	中層	深鉢・胴部下半	-×(11.4)×10.4	地文縄文R.L. 3条1組波線曲線文・垂下 底面網代文				A331	図版28-3		
第50図4	中層	深鉢・口縁部		縄文縄文L.L. 上面に貼付隆帯曲線文を付つ突起 3条1組のクランク文・口縁部文様上下に横位沈線区画				A332	図版28-4		
第50図5	中層	深鉢・口縁部		口縁部上端に2条の横位突起文 以下3条1組貼付隆帯+沈線クランク文・曲線文・地文縄文不明 別番				A333	図版28-5		
第50図6	中層	深鉢・胴部		地文縄文L.L. 3条1組の波線曲線文 3~4条1組沈線のパネル状区画				A334	図版28-6		
探検番号	層位	器種	石材	長	幅	厚	重量	遺存度	特徴	登録番号	写真図版
第50図7	中層	凹石	閃緑岩	111.0	103.8	41.9	630	完形	両面に敲打による窪み 両面とも2方所連結 左側縁の一部に取付痕	K063	図版35-7
第50図8	中層	凹石	閃緑岩	108.1	82.3	49.2	615	完形	両面に敲打による窪み 両面とも2方所連結	K064	図版35-8
第50図9	中層	凹石	閃緑岩	90.0	90.4	44.0	545	完形	両面を使用	K065	図版35-9
第50図10	中層	凹石	閃緑岩	165.0	138.2	56.2	2095	完形	両面を使用 扁平な比較大形 縦線材 小形扁平石黒色	K066	図版35-10
第50図11	中層	石皿	閃緑岩	(131.7)	(143.4)	(67.9)	1570	破片	人形扁平石黒色	K067	図版35-11

第32表 30号土坑 (SK30) 出土遺物観察表

探検番号	層位	部形・部位	口径×器高×底径	文種・地文の特徴				登録番号	写真図版
第51図1	上層	深鉢・口縁部		太沈線による渦巻文把手				A335	図版28-1
第51図2	下層	深鉢・胴部		横位貼付隆帯上に粗い明目目+沈線 太沈線による横位三角文				A336	図版28-2
第51図3	下層	深鉢・胴部		地文縄文R.L. 1条の沈線による曲線文				A337	図版28-3

第33表 31号土坑 (SK31) 出土遺物観察表

探検番号	層位	部形・部位	口径×器高×底径	文種・地文の特徴				登録番号	写真図版
第51図1	下層	深鉢・胴下部欠損	23.0×33.8×-	地文縄文R.L. 口縁上位に1条の横位貼付隆帯 S字状突起・小突起各2単位				A338	図版29-1
第51図2	下層	浅鉢・底部	-×7.0×11.0	やや上げ底				A339	図版29-2

第34表 包含層出土遺物観察表

探検番号	層位	部形・部位	口径×器高×底径	文種・地文の特徴				登録番号	写真図版		
第52図1	II層	深鉢・口縁部		垂直半縦竹管による2条1組の細沈線 口縁部上端に横位平行・以下変形文				A340	図版29-1		
第52図2	II層	深鉢・口縁部		口縁上位に横位貼付太隆帯 以下太沈線による矢羽横状文				A341	図版29-2		
第52図3	II層	深鉢・口縁部		太隆帯+太沈線曲線文 太隆帯帯凹区画文				A342	図版29-3		
第52図4	II層	深鉢・口縁部		屈折した口縁上端に横位口縁部文様 太沈線による横位曲線文 孔を穿つ突起				A343	図版29-4		
第52図5	II層	深鉢・口縁部		屈折した口縁部上端に横位沈線による縦巻文突起				A344	図版29-5		
第52図6	II層	深鉢・口縁部		屈折した口縁上端に横位口縁部文様 太沈線による横位渦巻文突起				A345	図版29-6		
第52図7	II層	深鉢・胴部		地文縄文L.L. 2条1組の貼付隆帯渦巻文				A346	図版29-7		
第52図8	II層	深鉢・胴部		地文縄文L.L. ? 1条の貼付隆帯+沈線による平行・曲線文 曲線渦巻文				A347	図版29-8		
第52図9	II層	深鉢・胴部		地文縄文L.L. 1条の貼付隆帯垂下				A348	図版29-9		
第52図10	II層	浅鉢・底部		別番により地文縄文不明 3条1組沈線の曲線文				A349	図版29-10		
探検番号	層位	器種	石材	長	幅	厚	重量	遺存度	特徴	登録番号	写真図版
第52図11	II層	スクレイパー	珪質頁岩	63.9	45.9	10.8	37.3	ほぼ完形	右側縁中央部に鋭い抉り	K012	図版35-11
第52図12	II層	スクレイパー	珪質頁岩	(44.0)	21.2	5.0	6.1	上部欠損	左側縁下位に鋭い抉り	K043	図版35-12
第52図13	II層	凹石	礫岩	112.5	96.5	58.2		完形	両面中央に敲打による窪み 正面には数個の浅打痕あり 縦線面は古い窪み	K088	図版35-13
第52図14	I層	凹石	閃緑岩	(105.2)	83.5	44.0	550	ほぼ完形	両面中央に敲打による窪み 両面とも2方所	K099	図版35-14
第52図15	II層	凹石	閃緑岩	95.7	81.5	37.0	415	完形	両面中央に敲打による窪み	K100	図版35-15

第Ⅳ章 まとめ

今回の調査は、都市計画街路富沢山田線建設に先立つ調査として実施した。

確認調査は、建設予定地内約7,000㎡の全域に10×3mの確認調査区20ヵ所、600㎡を設定し、遺構の確認を行ったものであった。遺構・遺物包含層の有無を確認することに目的があったため、予定地内における上野遺跡のおよその輪郭を掴むことはできたが、将来行われる本調査に委ねる部分が多いことは報告したとおりである。

第5次調査は、確認調査の結果を受け、建設予定地内の東端域410㎡を調査したものであり、上野遺跡南東端の台地縁辺域における様相の一部が把握された。いずれも限られた条件・範囲内での調査ではあったが、今回の建設予定地内に縄文時代中期中葉～後葉の連続する集落跡が展開することが判明した。古くから注目されてきた上野遺跡について、過去の調査資料とともに、今後行われる上野遺跡の調査・研究に活用が期待される新たな資料を提示することができたと考えている。

本章では、確認調査と第5次調査に分け、それぞれの調査成果及び問題点について述べてまとめにかえるものとする。

第1節 確認調査

遺構密度は6・7トレンチが最も高く、トレンチ全体が遺構堆積土となる状況が認められた。住居跡は6・7・10トレンチから検出でき、出土遺物も多い。2～4・10・11・14～22トレンチからは、土坑状プランが確認できた。2・19～22トレンチでは、これらがフラスコ状土坑となることを確認した。19～22トレンチは確認調査後に本調査を行った区域である。

出土した縄文土器は、縄文時代中期の大木7b～9・10式の連続する土器型式となっている。それはこれまでに行われた調査報告と一致するが、トレンチによって若干の時期差を見出すことができる。大木8b式は建設予定地内の全域から出土しており、本遺跡の主体時期を示す。大木8a式以前は11トレンチ以東を中心として、西端域に近い2トレンチに認められる。12・13トレンチにおいて大木7b式が出土しており、この区域が建設予定地内の中では最も古い段階に属す。一方、大木9・10式は2～12トレンチから出土し、大木8a式以前の空白域に集中する。こうしたことから、今回調査した建設予定地内における縄文時代中期集落跡の遺構分布には、時期的変遷を伴う消長関係の存在が想定される。

出土土器から見た建設予定地内における古→新の変遷は、東側主体→全域→西側主体という連続的な分布推移が認められる。これは必ずしも遺構年代を示したものではないが、建設予定地内における上野遺跡の時期・変遷の一端を窺わせるものと考えられる。7トレンチの南東へ約150mの地点付近にあたる1976年（第1次）調査区からは住居跡8軒が発見され、出土した土器は大木8b～10式とされている（結城 1989、玉眞 1995）。これは今回の調査において認められた時期別の分布推移と整合するものと考えられる。

遺跡全体の石器組成は、凹石・磨石が圧倒的に多く、磨石との組み合わせが考えられる石皿も一定量出土している。凹石・磨石に次いで、石匙や二次加工・微細刻痕のある刮片を含むスクレイパー類が非常に多く見られる。それに対し、石斧類は打製石斧が1点出土したのみで、石縁に至っては検出されなかった。こうした石器組成の偏りは今回の調査が遺構確認調査であったことに起因する可能性もあるため、スクレイパー類、凹石・磨石類の卓越傾向を指摘するとともにおきたい。

なお、5・10・12・13トレンチからは9世紀以降の赤土器・ロクロ土器の完形品・破片、7トレンチからは

須器破片が少量出土している。各トレンチで観察された土層堆積の状態から、古代の遺物包含層が残されている可能性は低いと考えられるが、希薄ながらも当該期遺構の存在を考慮する必要もある。

第2節 第5次調査

第5次調査で検出した遺構は、掘立柱建物跡1棟と土坑28基である。これらの遺構分布は調査区北西部に集中し、土坑の分布は其中でも北側に密度が高く、南側ほど散漫に分布している。土坑群はフラスコ状土坑を主体とするもので、底面付近が残存すると考えられるものを含めると26基ある。坑底に小ピットを持つフラスコ状土坑は2基見られたが、溝を持つものは認められなかった。また、堆積土中よりまとまった土器が出土したものは3基あり（SK21・25・31）、底面直上から1点の大形把手が出土したものが1基ある（SK21）。これらの土坑の時期は出土遺物から縄文時代中期中葉に位置づけが考えられる。

掘立柱建物跡は一部で土坑との切り合いが見られたものの、その密集域に隣接した比較的希望な土坑分布域に位置する。しかし、その年代的な位置づけは保留した。

検出した土坑28基中、フラスコ状土坑は22基（SK1・2・5・11～18・20～23・25～27・29～31・34）、フラスコ状土坑の残存と考えられる浅い土坑は4基（SK28・32・33・35）、それ以外の土坑は2基（SK10・19）である。土坑は調査区北側に多く、フラスコ状を呈さない土坑はすべて調査区北側に分布している。調査区北西端は特に土坑が集中する区域で、最も著しい重複は4基（SK17・27～29）1ヵ所、その周辺に2基の重複土坑が4ヵ所（SK12・13、14・15、18・33、19・20）見られる。南側は7基のフラスコ状土坑が散漫に分布し、2基の重複が1ヵ所（SK25・26）認められるにすぎず、全体的に見ても重複は多い状態ではない。

フラスコ状土坑には大・中・小の規模差があり、大形のもの3基と少ない（SK1・16・21）。その分布は散漫で、1ヵ所に集中する傾向は認められない。フラスコ状土坑の坑底は平坦で、その中央に小ピットを持つものはSK11・14の2基がある。SK14はSK15と重複し、坑底に小ピットを持たないSK15よりも新しい。小ピットはフラスコ状を呈さないSK19にも認められる。フラスコ状土坑の堆積土は壁の崩落・流入によると推測できる堆積状態を観察され、有機質を含んだ薄い黒褐色シルト質粘土が坑底のほか堆積土中・上層に認められるものもあった。開口部は不整形のものや坑底とあまり変わらない規模のものがある。こうしたことは本来の掘り込みよりも下位での遺構確認となることのほか、堆積土の堆積状態や断面形態のあり方を考慮すれば、壁の崩落に伴う開口部の変形が推測される。中でも調査区壁面において断面観察できたSK5は、壁の崩落のない断面形態を残すものと考えられた。

SK21・25・31からは、復元可能な深鉢形の大形土器破片がまとまって出土した。いずれも坑底より浮いた位置からの出土で、埋没過程にある土坑内に一括廃棄されたものと考えられ、SK21・31はその初期段階で行われている。SK21からは胴部上半以上が接合・復元された大形の深鉢形土器が出土し、胴下部破片を欠落する状態であった。逆にSK25からは胴下部のみの接合・復元された深鉢形土器が出土している。SK12の壁寄りからは、大形把手部の破片が坑底直上から出土した。他に少量の土器破片が出土した土坑もあるが、いずれも混在遺物と考えられる。これらの土器は縄文時代中期の大木8・8b式で、前後の型式を含まない。包含層出土遺物も大木8・8b式主体だが、遺物量は少ない。

土器が出土した土坑は、SK5・21・25である。SK5は埋没中に混入したものと考えられるが、SK21・25は多量の大形土器破片とともに凹石・磨石の完形品、石皿の破片が出土している。本調査区となった22トレンチと包含層出土土器を含めても出土総点数は23点と少なく、その内訳も凹石・磨石17点、スクレイパー類3点、石皿1点、剝片2点となる。

今次（第5次）調査での遺構分布のあり方は、22基のフラスコ状土坑が発見されている近隣の第4次調査（結城1989）と一致するものであり、住居跡群の周辺域にフラスコ状土坑が分布する様相の一端を示すものと考えられる。一方、今回の調査区よりも狭い調査面積（100㎡）であった第4次調査の出土遺物量は多く、石器組成も多様であったのに対し、今次本調査区から出土した遺物は量が少なく、石器組成を検討するまでにはいたらなかった。

参考文献

- 伊東信雄 1950 『仙臺市内の古代遺跡』『仙臺市史 3 別編 1』仙臺市史編纂委員会
金森安孝・工藤哲司・千葉 仁 1986 『仙臺市文化財調査報告書第88集 昭和60年度 上野遺跡 市道1文字線関係調査略報』仙臺市教育委員会
主浜光朗 1995 『上野遺跡』『仙臺市史 特別編 2 考古資料』仙臺市史編さん委員会
仙臺市教育委員会 1995 『仙臺市太白区文化財分布地図』
仙臺市史編さん委員会 1995 『仙臺市史 特別編 2 考古資料』
松本彦七郎 1930 「陸前國名取郡西多賀村の三石器時代乃至後遺蹟（二）（完）」『考古学雑誌』第20巻第4号 考古学会
結城敏一 1989 『仙臺市文化財調査報告書第127集 上野遺跡-電力鉄塔関係発掘調査報告書-』仙臺市教育委員会

圖 版



遺跡近景 (1トレンチから東を望む)



遺跡近景 (6トレンチから西を望む)



遺跡近景 (15トレンチ周辺から東を望む)

図版 2



1 トレンチ全景 (北から)



2 トレンチ全景 (南から)



2 トレンチ1号土坑 (SK1) (北西から)



3 トレンチ全景 (北から)



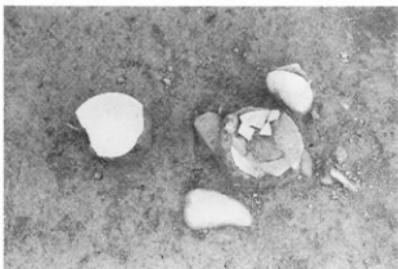
4 トレンチ全景 (南から)



5 トレンチ全景 (北から)



5 トレンチ縄文土器出土状態 (西から)



5 トレンチ須恵器及び土師器坏出土状態 (西から)



6トレンチ全景 (南から)



6トレンチ1・2号埋設土器 (SX1・2) 及び
1号配石状遺構 (SX3) 検出状況 (北東から)



6トレンチ1・2号埋設土器 (SX1・2) 検出状況
(南東から)



6トレンチ1号住居跡 (S11) 複式が上面検出状況
(南東から)



7トレンチ全景 (南東から)



7トレンチ1号住居跡 (S11) 複式が検出状態
(南東から)



7トレンチ1号住居跡 (S11) 複式が検出状態
(南から)

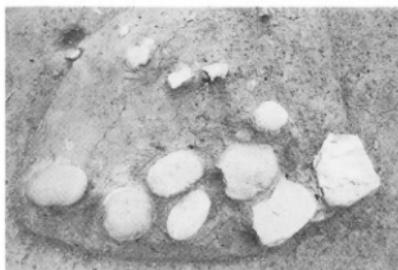


7トレンチ1・2号埋設土器 (SX1・2) 及び
周辺遺物検出状態 (北西から)

図版 4



7トレンチ2号住居跡 (SI 2) 炉跡検出状態
(南西から)



7トレンチ2号住居跡 (SI 2) 石器出土状態 (北から)



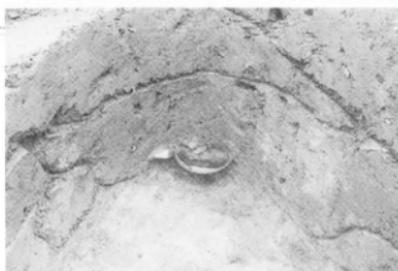
10トレンチ全景 (南から)



10トレンチ1号住居跡 (SI 1) 土層断面 (北東から)



10トレンチ1号住居跡 (SI 1) 縄文土器・石器出土
状態 (東から)



10トレンチ土器器環出土状態 (北東から)



11トレンチ全景 (南東から)



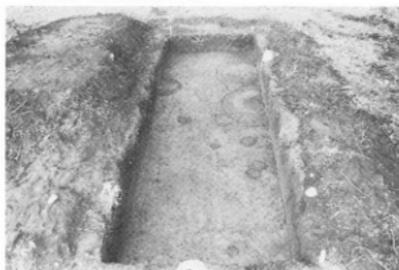
12トレンチ全景 (南西から)



13トレンチ全景 (北から)



13トレンチ1号溝状プラン (S X 1) 南側遺物出土状態 (北から)



14トレンチ全景 (南から)



14トレンチ土坑状プラン検出状態 (西から)



15トレンチ全景 (南から)



16トレンチ全景 (南から)



17トレンチ全景 (北から)



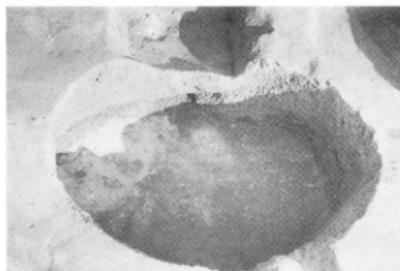
18トレンチ全景 (南から)



第5次調査区全景（西から）



第5次調査区北側遺構集中部（西から）



1号土坑 (SK1) 全景 (西から)



2号土坑 (SK2) 全景 (北から)



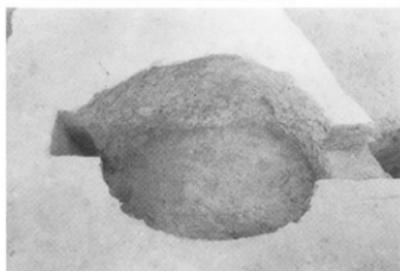
1号土坑 (SK1) 土層断面 (東から)



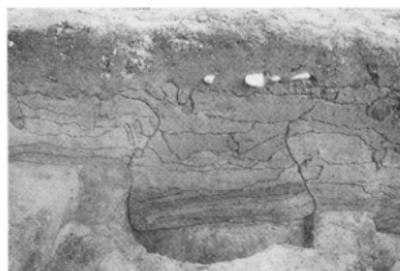
2号土坑 (SK2) 土層断面 (南から)



5号土坑 (SK5) 全景 (北西から)



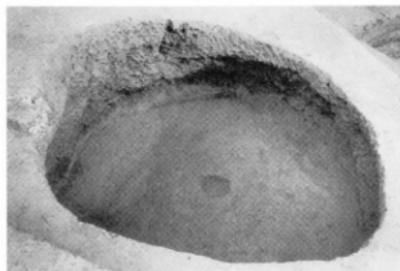
10号土坑 (SK10) 全景 (南から)



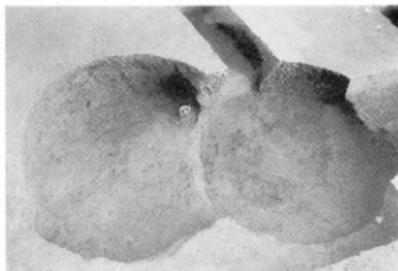
5号土坑 (SK5) 土層断面 (北西から)



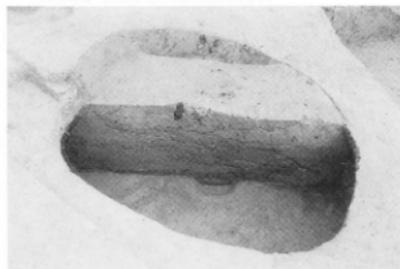
10号土坑 (SK10) 土層断面 (北から)



11号土坑 (SK11) 全景 (南西から)



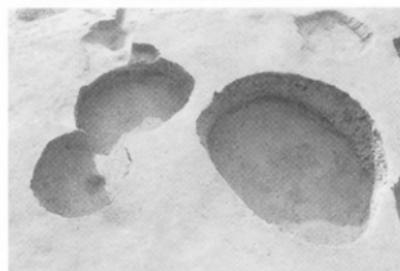
12・13号土坑 (SK12・13) 全景 (南西から)



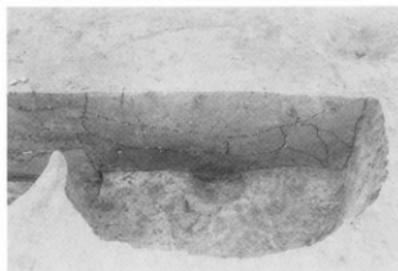
11号土坑 (SK11) 土層断面 (南西から)



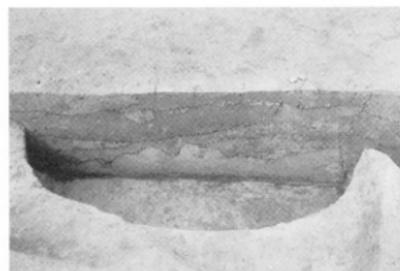
12号土坑 (SK12) 大形把手出土状態 (南西から)



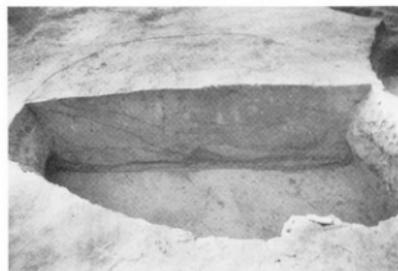
14~16号土坑 (SK14~16) 全景 (北東から)



14号土坑 (SK14) 土層断面 (南東から)



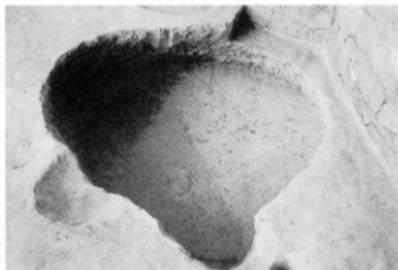
15号土坑 (SK15) 土層断面 (南東から)



16号土坑 (SK16) 土層断面 (東から)



16~18・27~29・33号土坑 (SK16~18・27~29・33)
全景 (南東から)



18号土坑 (SK18) 全景 (東から)



17・27号土坑 (SK17・27) 土層断面 (南から)



18・33号土坑 (SK18・33) 土層断面 (南から)



19・20号土坑 (SK19・20) 土層断面 (北東から)



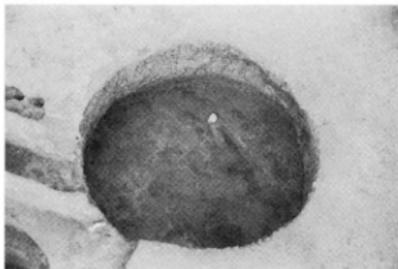
21号土坑 (SK21) 全景及び遺物出土状態 (北東から)



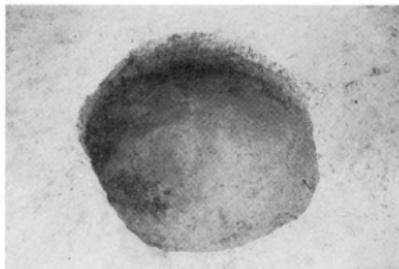
21号土坑 (SK21) 土器・石器出土状態 (東から)



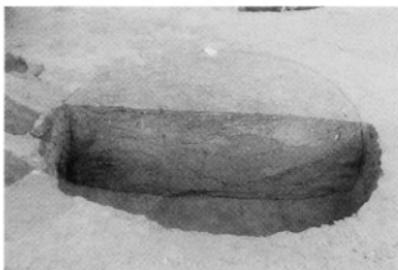
21号土坑 (SK21) 土層断面 (南東から)



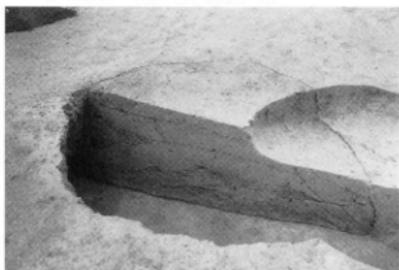
22号土坑 (SK22) 全景 (北東から)



23号土坑 (SK23) 全景 (南東から)



22号土坑 (SK22) 土層断面 (北東から)



23号土坑 (SK23) 土層断面 (南から)



25・26号土坑 (SK25・26) 全景及び遺物出土状態 (北東から)



25号土坑 (SK25) 土器・石器出土状態 (西から)



25・26号土坑 (SK25・26) 土層断面 (北西から)



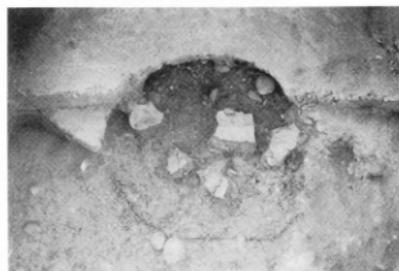
29号土坑 (SK29) 全景 (南西から)



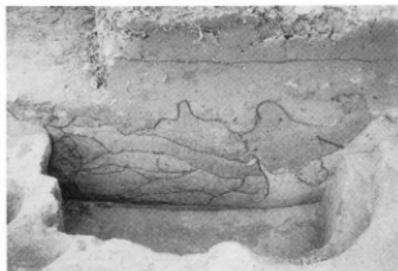
29号土坑 (S K 29) 土層断面 (南から)



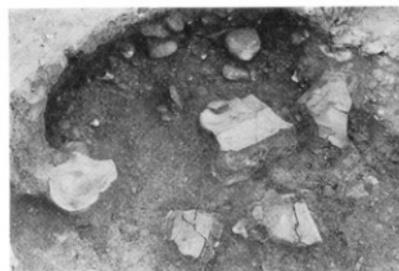
30号土坑 (S K 30) 全景 (南東から)



31号土坑 (S K 31) 全景及び遺物出土状態 (南東から)



30号土坑 (S K 30) 土層断面 (南東から)



31号土坑 (S K 31) 土器出土状態 (南から)



32号土坑 (S K 32) 全景 (北西から)



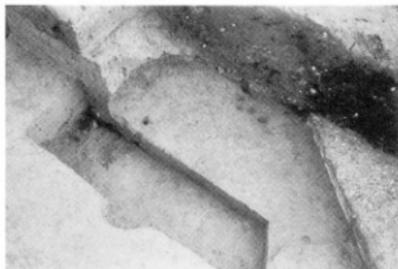
31号土坑 (S K 31) 全景 (南東から)



32号土坑 (S K 32) 土層断面 (北西から)



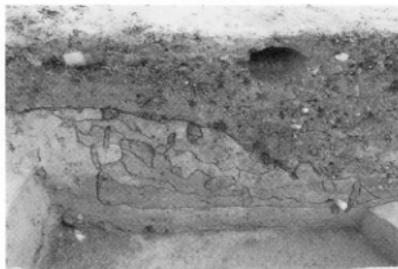
33号土坑 (S K 33) 北側全景 (南東から)



34号土坑 (S K 34) 全景 (北西から)



33号土坑 (S K 33) 土層断面 (南から)



34号土坑 (S K 34) 土層断面 (北から)



35号土坑 (S K 35) 全景 (西から)



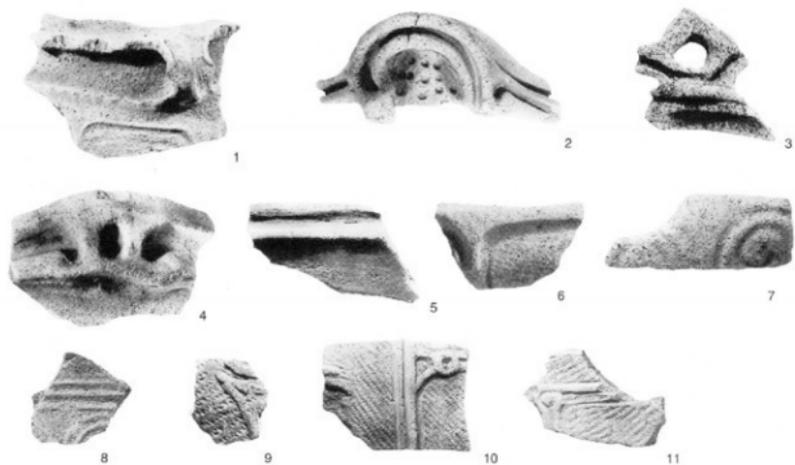
1号孤立柱建物跡 (S B 1) 全景 (北東から)



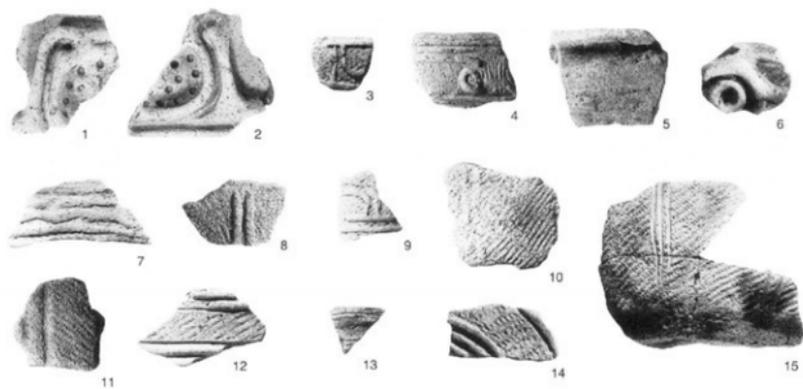
第5次調査1区南東壁土層断面 (西から)



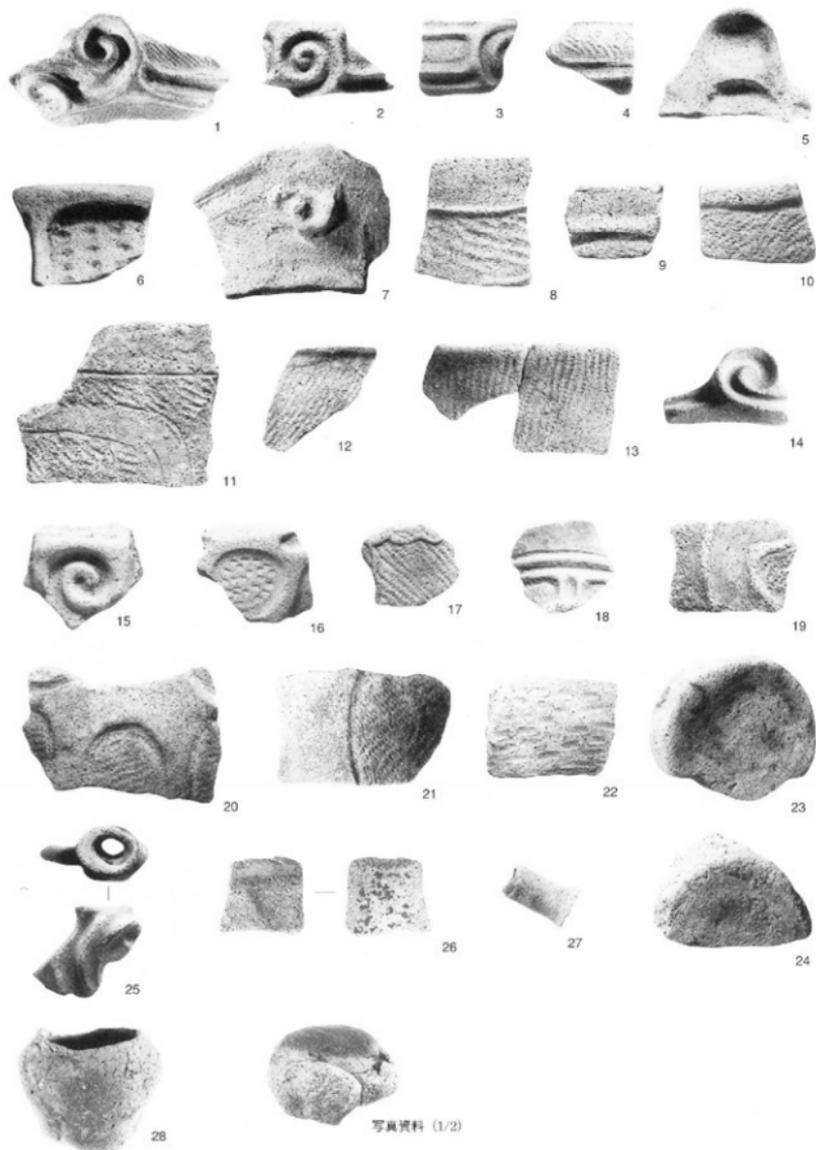
第5次調査風景 (南西から)

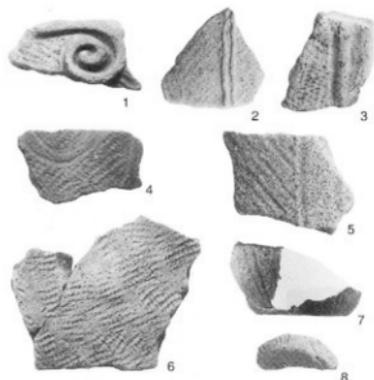


2トレンチ1号土坑 (SK1) 出土土器

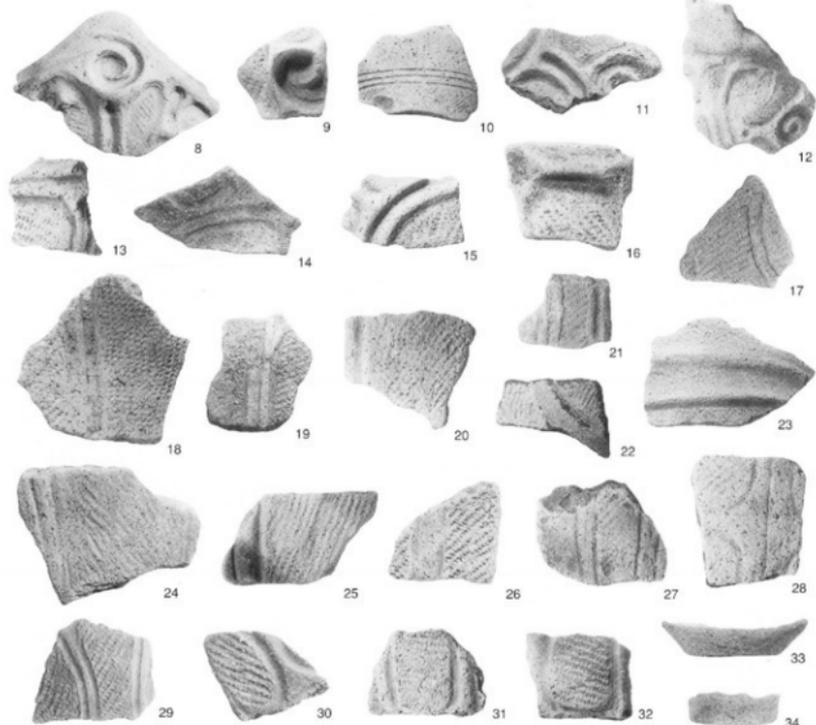
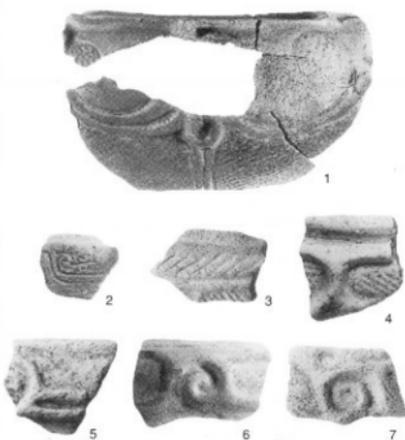


2トレンチ包含層出土土器



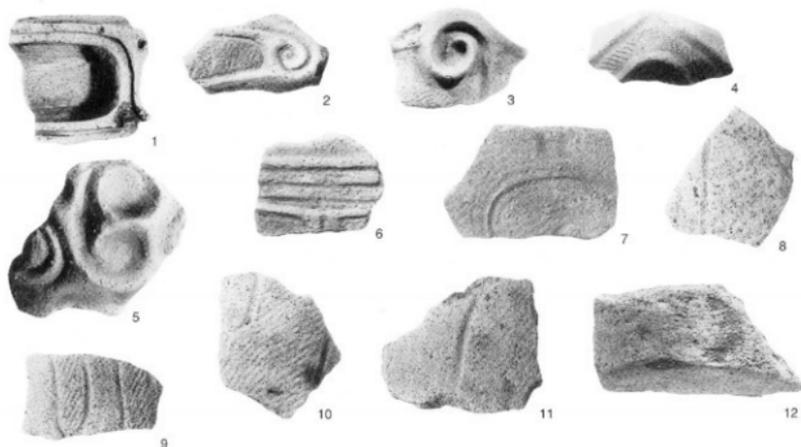


6トレンチ1号住居跡 (SI1) 出土土器

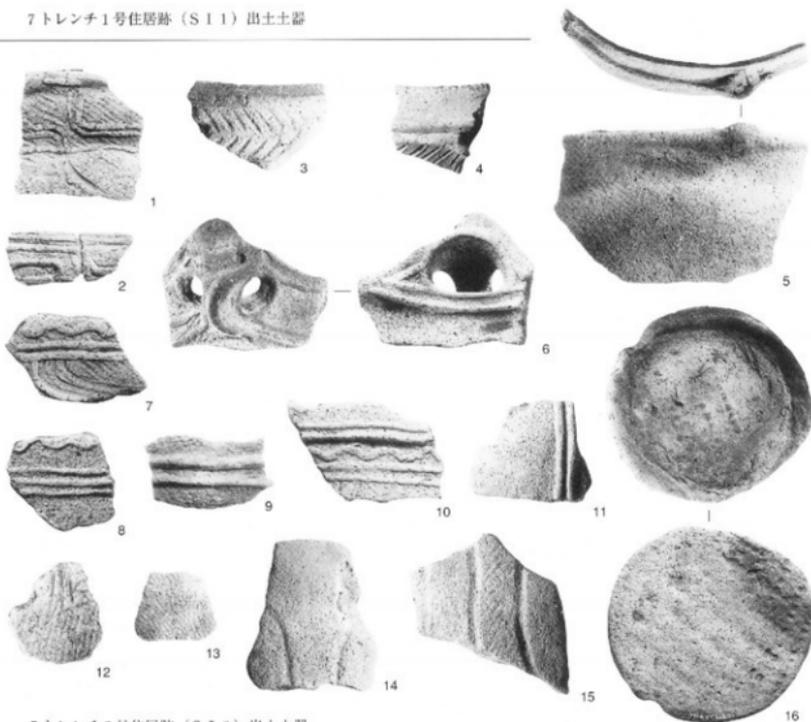


6トレンチ包含層出土土器

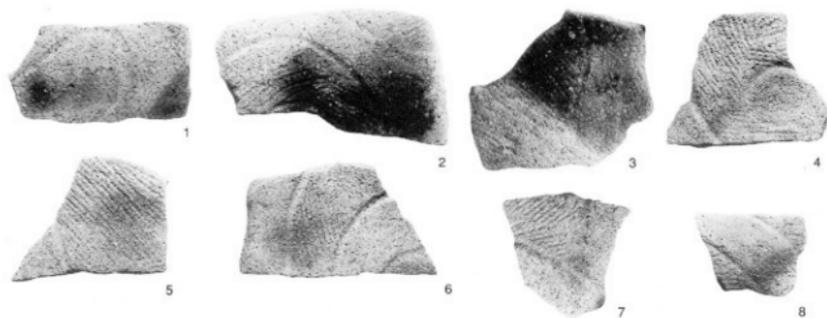
図版 16



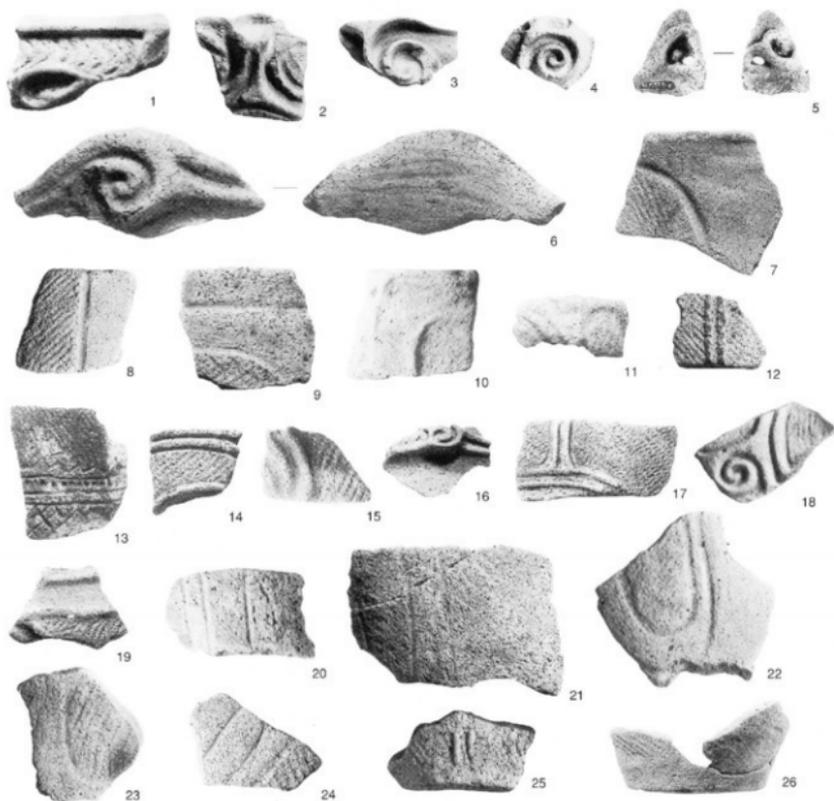
7トレンチ1号住居跡 (S11) 出土土器



7トレンチ2号住居跡 (S12) 出土土器



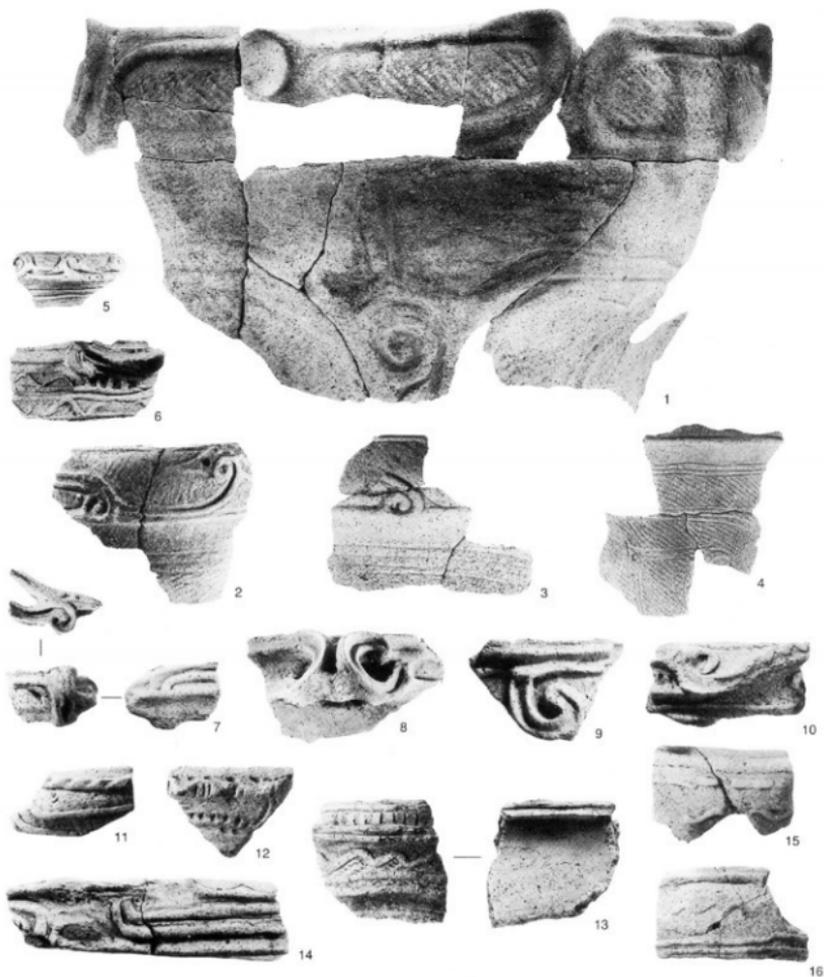
7トレンチ1号埋設土器(SX1)出土土器



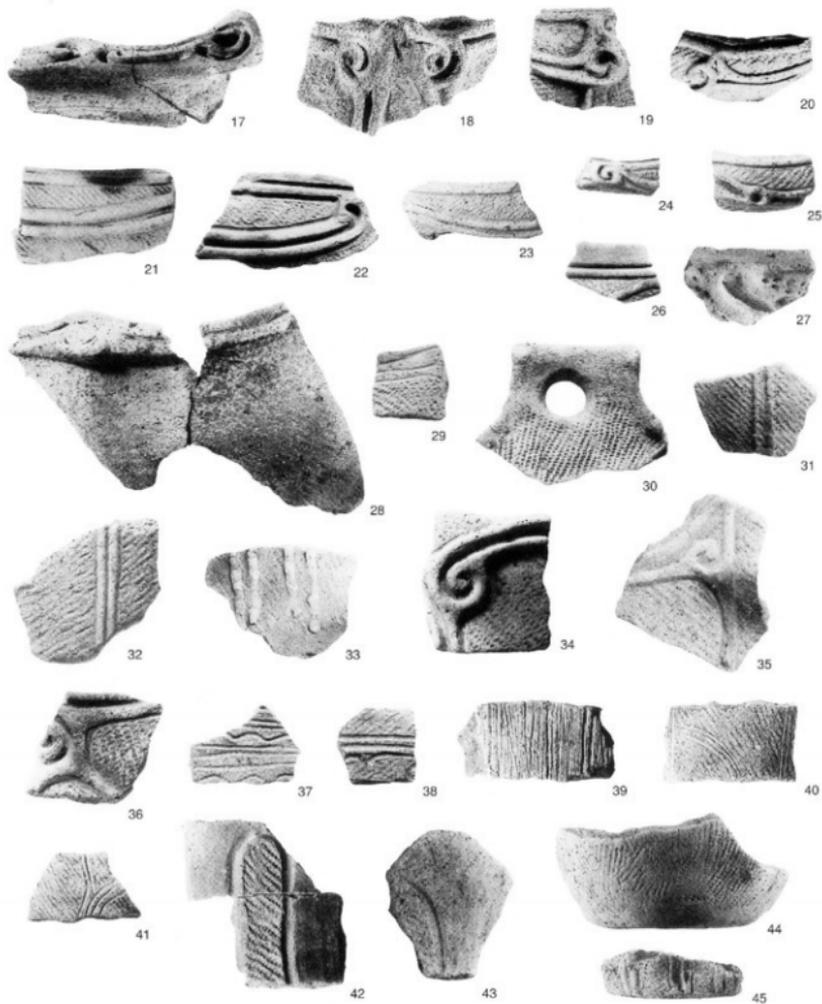
7トレンチ包含層出土土器



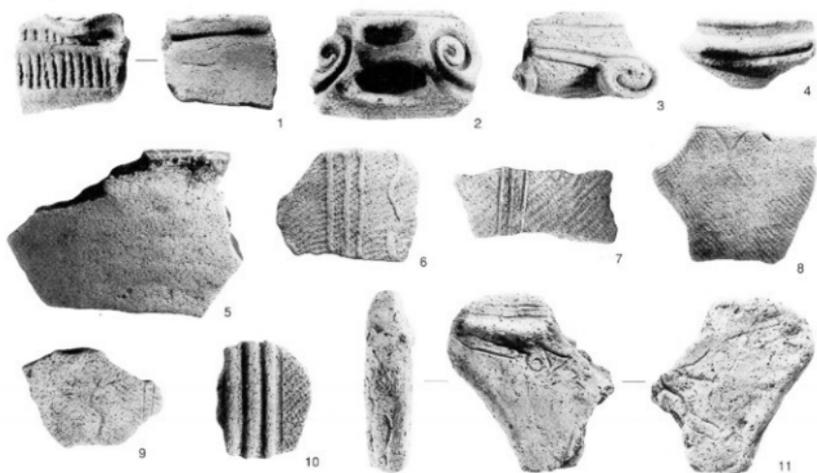
7トレンチ包含層出土土製品(2)



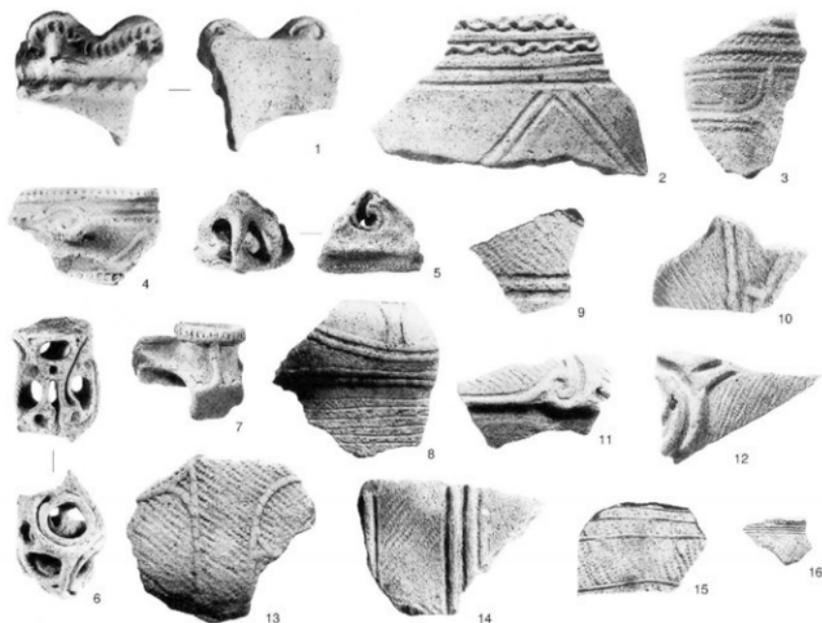
10トレンチ1号住居跡(S11)出土土器(1)



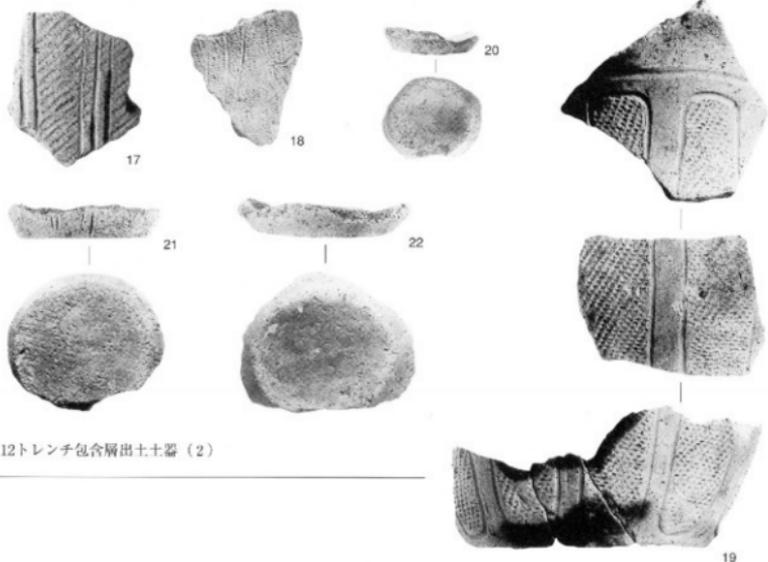
10トレンチ1号住居跡 (S11) 出土土器 (2)



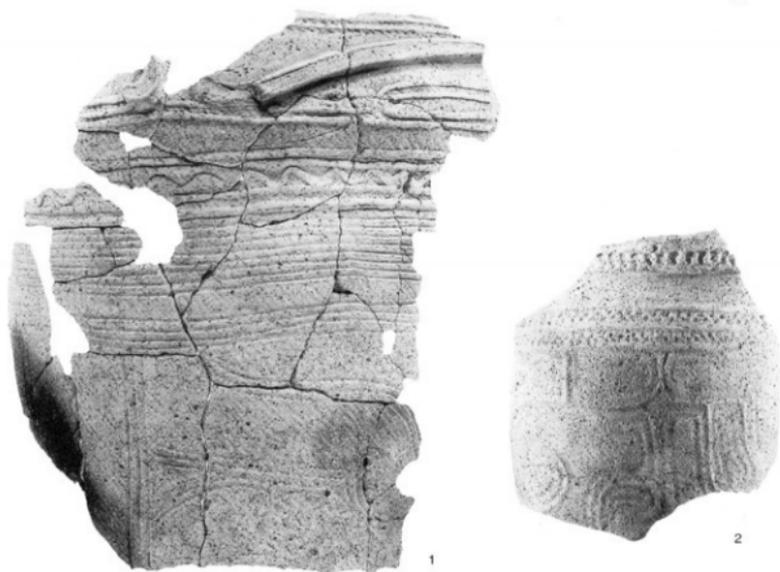
11トレンチ包含層出土土器・土製品



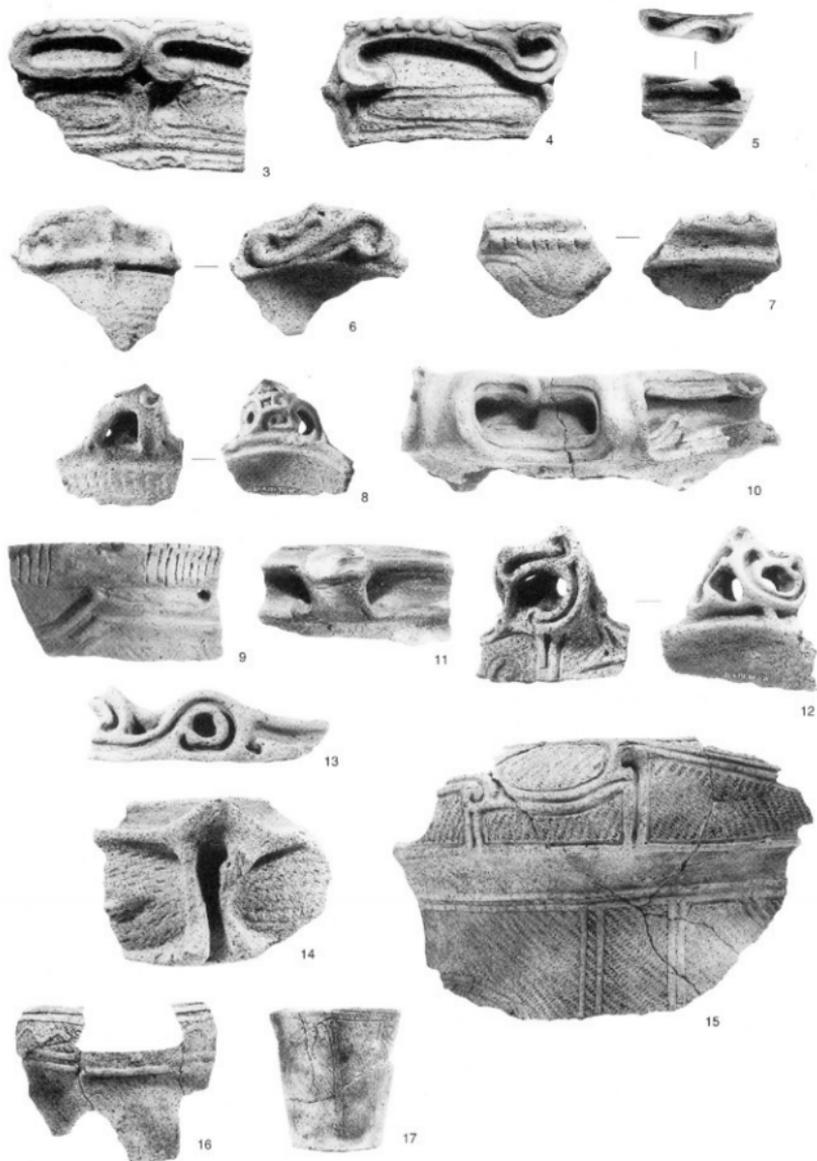
12トレンチ包含層出土土器 (1)



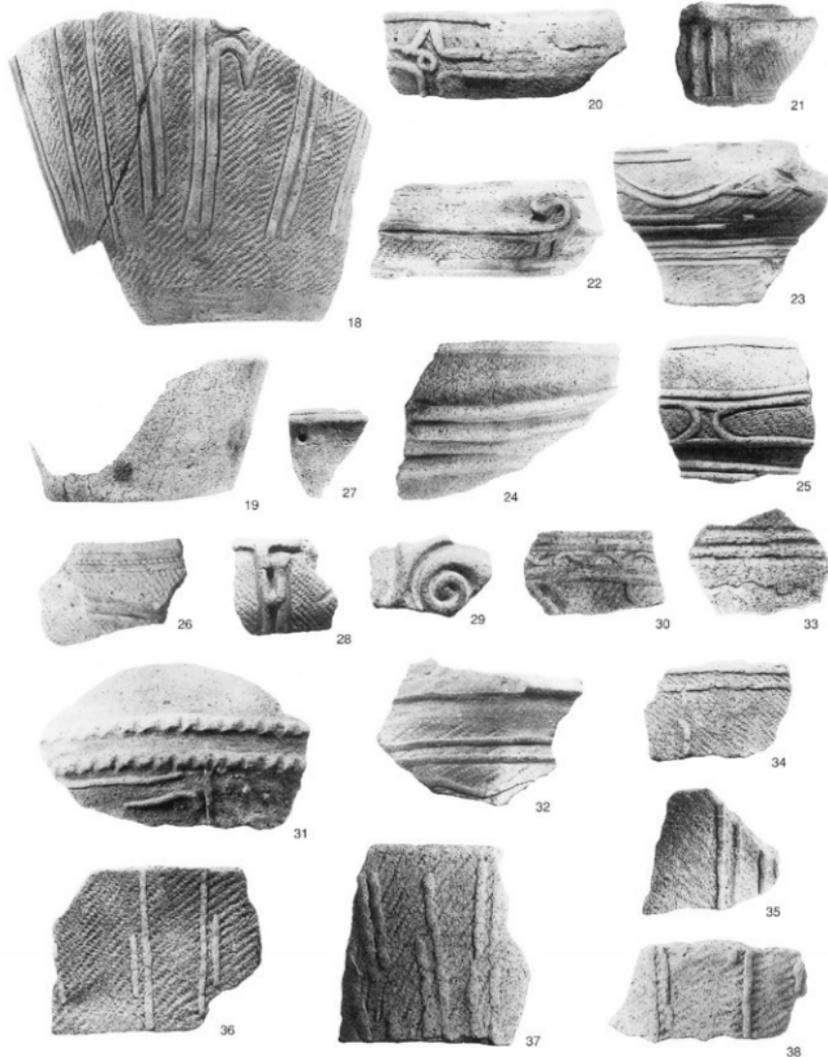
12トレンチ包含層出土土器 (2)



13トレンチ1号溝状プラン (SX1) 出土土器 (1)



13トレンチ1号溝状プラン(SX1)出土土器(2)

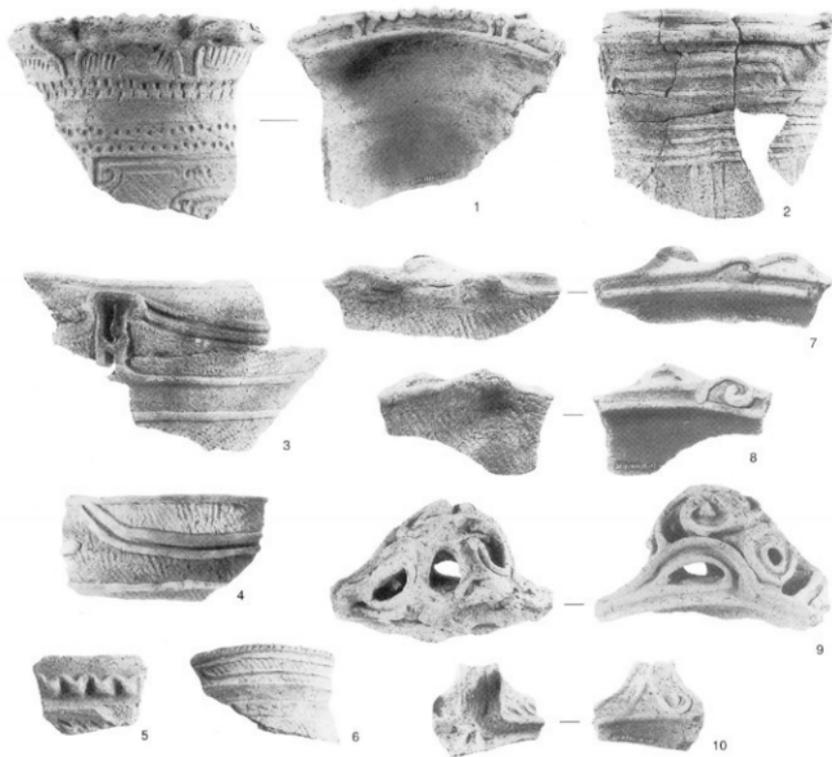


13トレンチ1号溝状プラン (S X 1) 出土土器 (3)

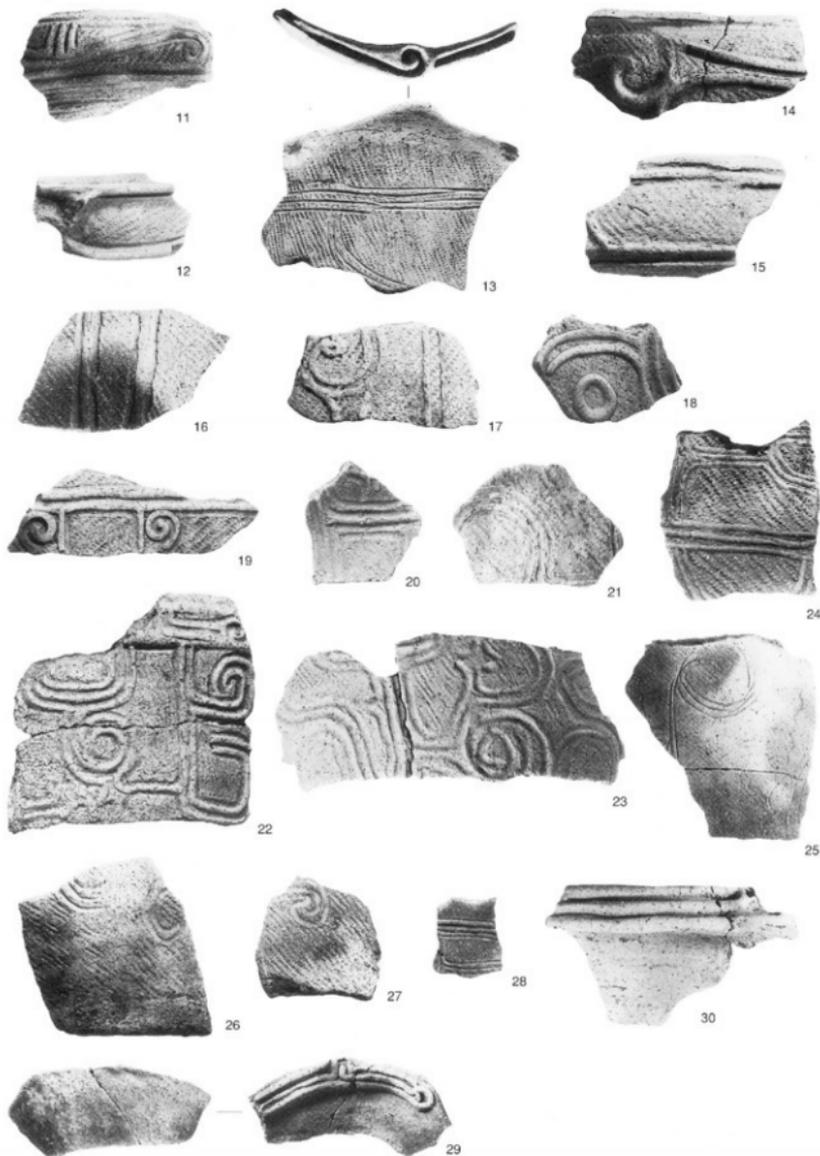


13トレンチ1号溝状プラン (SX1) 出土土器 (4)

写真資料 (1/2)



13トレンチ包含層出土土器 (1)



13トレンチ包含層出土土器(2)



15トレンチ包含層出土土器



1号掘立柱建物跡 (SB1) 出土土器



17トレンチ包含層出土土器



1
(SK1)



1
(SK11)



1
(SK5)



2
(SK5)



1
(SK10)



2
(SK10)



3
(SK10)



1
(SK16)



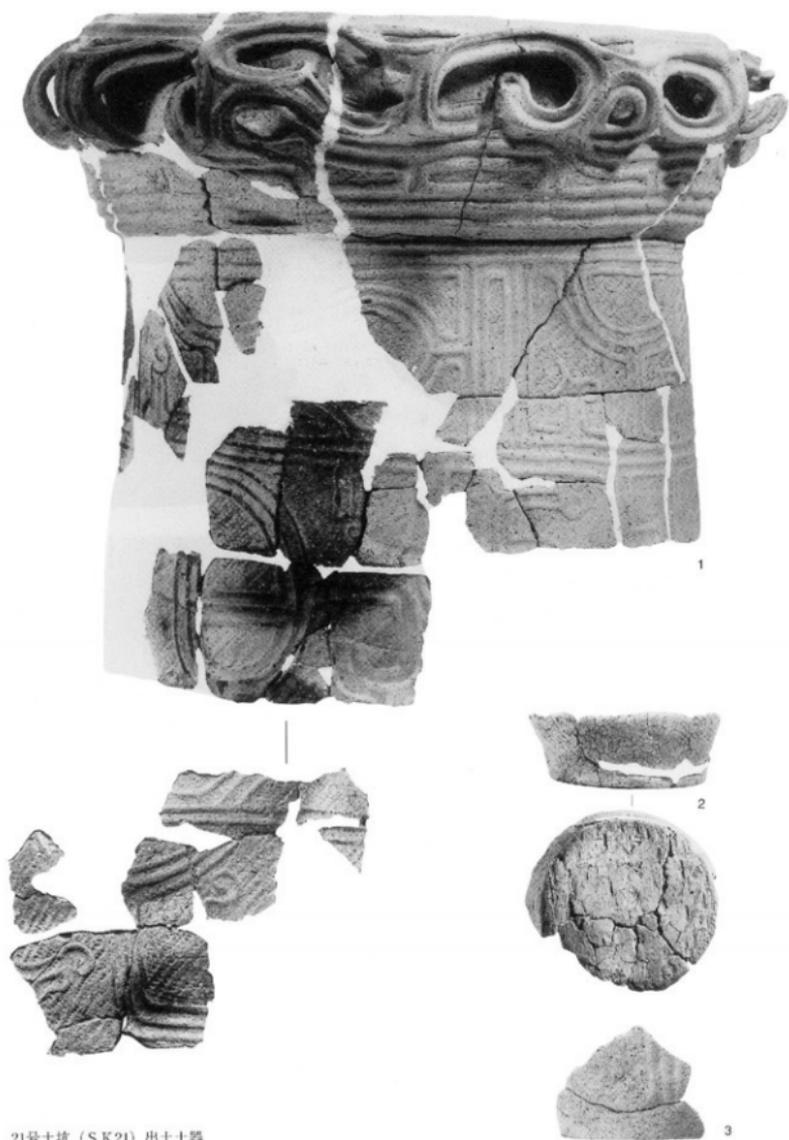
1
(SK12)



1
(SK18)



2
(SK18)



21号土坑 (SK21) 出土土器



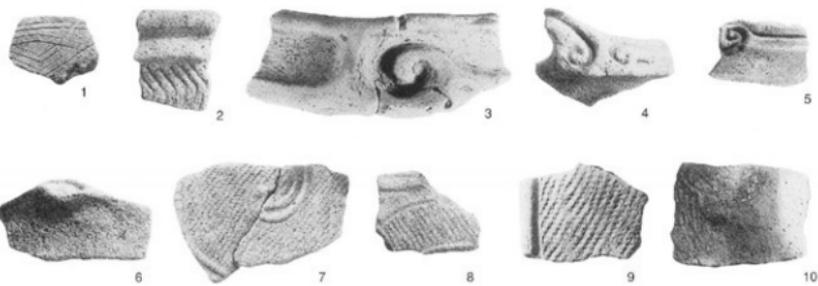
25号土坑 (SK25) 出土土器



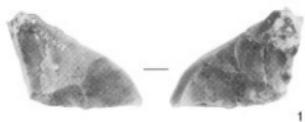
30号土坑 (SK30) 出土土器



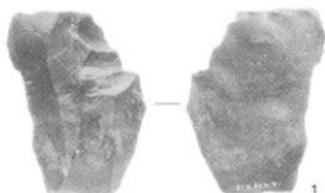
31号土坑 (SK31) 出土土器



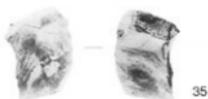
包含層出土土器



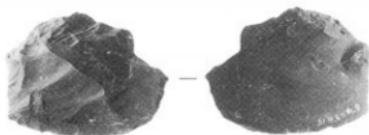
1 トレンチ包含層出土石器



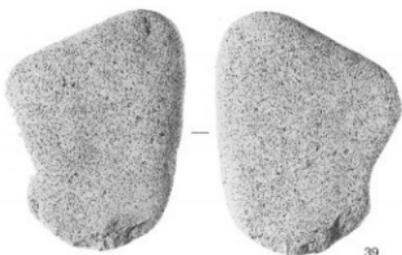
4 トレンチ包含層出土石器



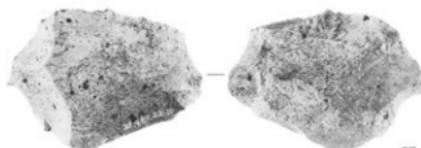
35



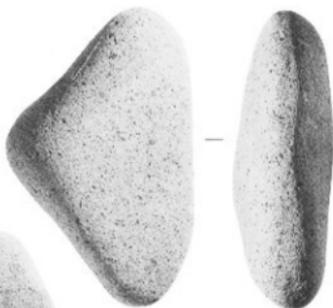
36



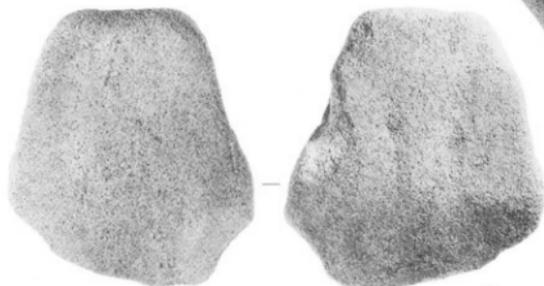
39



37

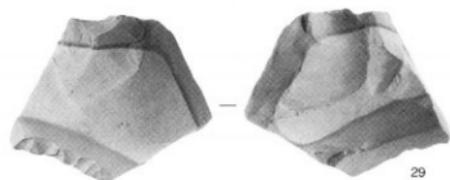


47

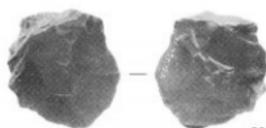


51

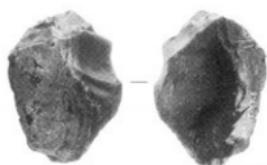
6 トレンチ包含層出土石器



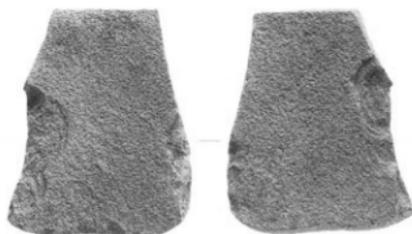
29



30



31



32

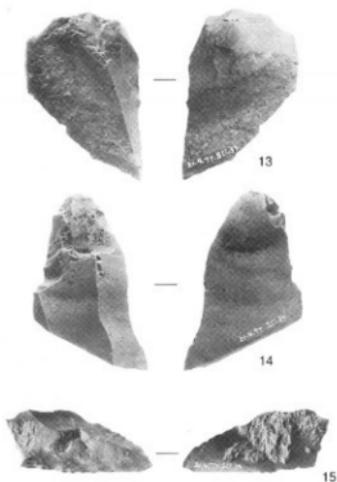


35

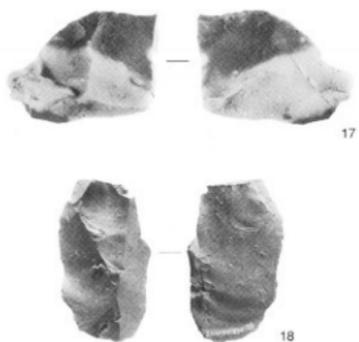


36

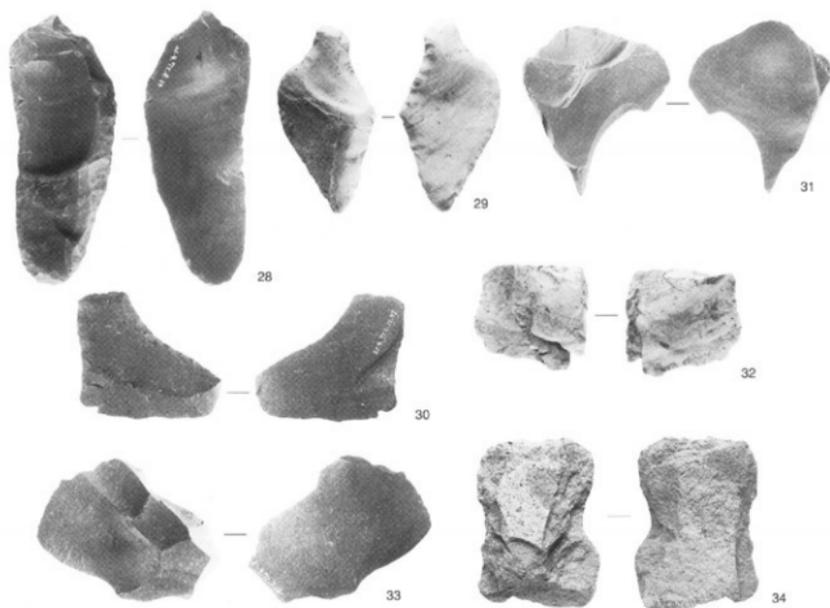
5 トレンチ包含層出土石器



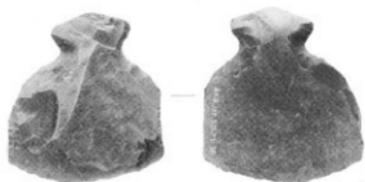
7トレンチ1号住居跡 (S11) 出土石器



7トレンチ2号住居跡 (S12) 出土石器



7トレンチ包含層出土石器



46

10トレンチ1号住居跡 (S I 1) 出土石器

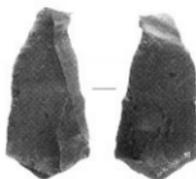


1

18トレンチ包含層出土石器



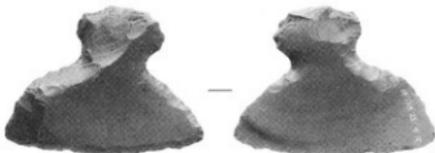
44



45



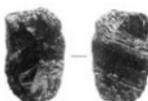
46



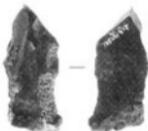
47



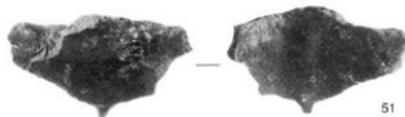
48



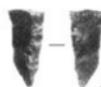
49



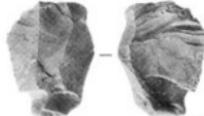
50



51



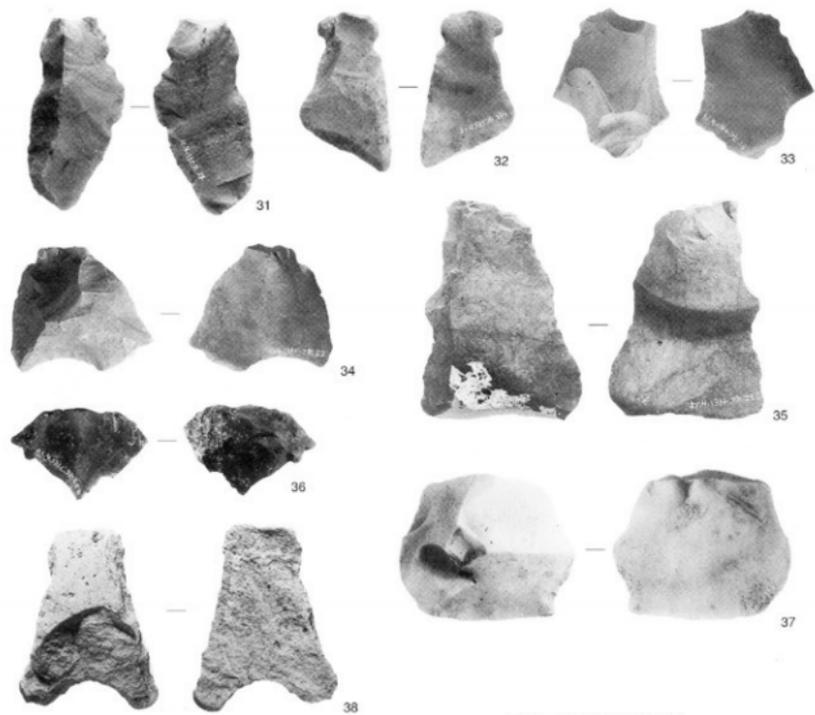
52



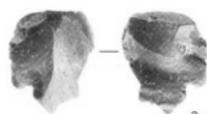
53

13トレンチ1号溝状プラン (S X 1) 出土石器

図版 34



13トレンチ包含層出土石器



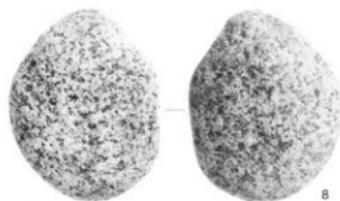
3

5号土坑 (SK5) 出土石器



9

10



8



11

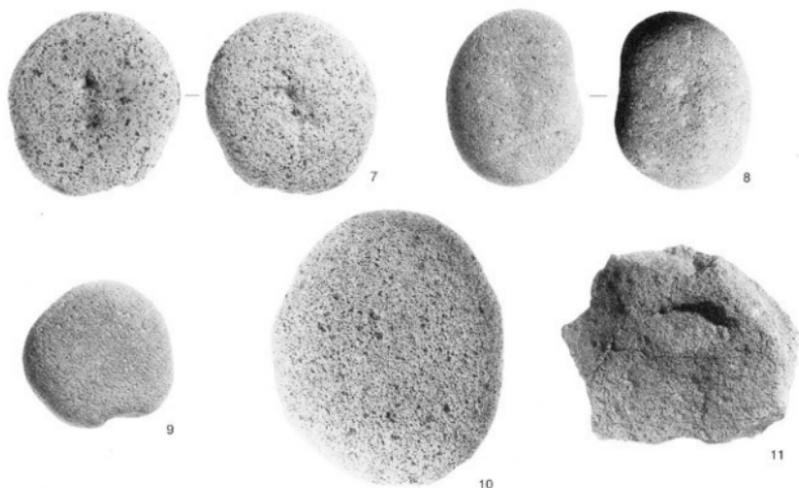


12

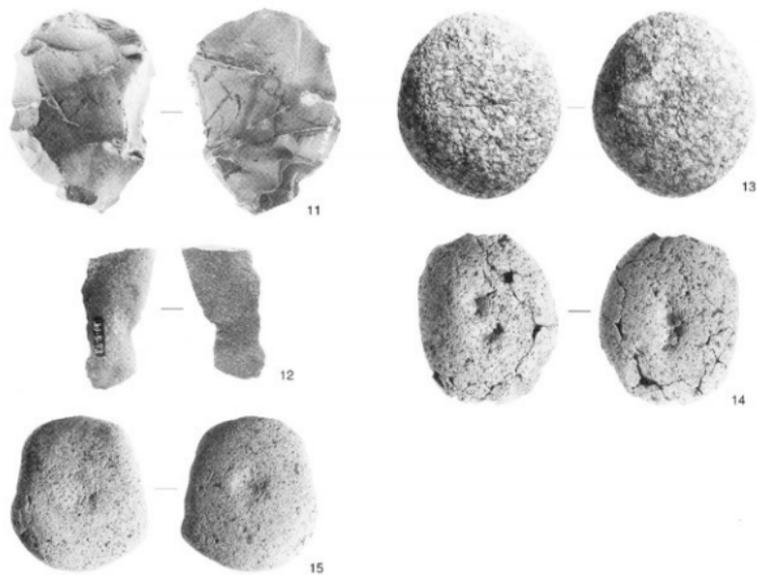


13

21号土坑 (SK21) 出土石器



25号土坑 (SK25) 出土石器



包含层出土石器

報告書抄録

ふりがな	うわのいせき							
書名	上野遺跡							
副書名	平成15年度確認調査・第5次発掘調査報告書							
シリーズ名	仙台市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第278集							
編著者名	仙台市教育委員会 工藤信一郎・下川文化財研究所 中山 豊							
編集・発行機関	仙台市教育委員会							
所在地	〒900-8671 宮城県仙台市青葉区国分町3-7-1 Ⅲ022-214-8894							
発行年月日	西暦2004年3月31日							
所収遺跡名	所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因	
上野 確認調査	宮城県仙台市 太白区富田 字上野西・上野中 地内	041009	仙台市	38°	140°	20031027	600	都市計画街路 建設に伴う事 前調査
			C-108	12'	51'	20031219		
上野 第5次調査	宮城県仙台市 太白区富田 字上野中地内	041009	仙台市	38°	140°	20031126	410	
			C-108	12'	51'	20040120		
01002	宮城県 01002	38°	04'					
01002	宮城県 01002	37°	09'					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
上野 確認調査	集落跡	縄文時代中期	竪穴住居跡 堀設土器 土坑 配石 遺構プラン	4軒 4基 多数 1ヶ所 多数	土器・石器・土偶	フラスコ状土 坑を伴う集落 跡		
上野 第5次調査	集落跡	縄文時代中期	土坑 掘立柱建物跡	28基 1棟	土器・石器 土器	フラスコ状土 坑を中心とす る集落縁辺域		

仙台市文化財調査報告書第278集

上野遺跡

—平成15年度確認調査・第5次発掘調査報告書—

発行日 2004年3月

発行 仙台市教育委員会
仙台市青葉区国分町三丁目7-1
文化財課 022 (214) 8893-4

印刷 有限会社 平電子印刷所
いわき市平北白土字西ノ内13
0246 (23) 9051

